

2019-2020 年度

日本語・日本文化研修留学生 修了レポート集

2020 年9月

お茶の水女子大学国際教育センター

日本語・日本文化研修留学生修了レポート集刊行にあたって

日本語・日本文化研修生（日研生）のみなさんがお茶の水女子大学で学んだ成果の集大成である『日本語・日本文化研修留学生修了レポート集』が取りまとめられました。

ここに掲載されている 6 報の修了レポートのタイトル、著者、出身国は以下のとおりです。「人間の潜んでいる無意識の優越感と同情—『鼻』を中心に—」（朴 加琳さん、韓国）、「日本のスポーツ・アニメの女性キャラクターの地位—2000 年代以降に放送されたアニメの分析を通して—」（チョ ソネさん、韓国）、「日本人とタイ人の若者における一人称の使用—女性の使用傾向を中心に—」（アサワヴェットウット ジャイサイさん、タイ）、「日本映画の小説化—意義と分析—」（カテーナ エロイーザさん、イタリア）、「日本語の形容詞の敬語表現—ベトナム人日本語学習者の使用状況について—」（ダオ ティ トウエットさん、ベトナム）、「四季の国における季節文化—日本の季節文化の起源と現状—」（サフタ アナマリア カロリナさん、ルーマニア）。

韓国、タイ、イタリア、ベトナム、ルーマニアから来日なされた 6 名の日研生の手になる 6 報の修了レポートのテーマは、日本の近代文学に表されている心的葛藤の研究、現代日本のアニメ文化のジェンダー分析、ジェンダー視点から見た日本語とタイ語の比較研究、日本アニメ映画のノベライゼーションに関する考察、ベトナム人日本語学習者における形容詞の敬語の誤用に関する研究、日本人の四季と季節文化に関する意識調査と、多岐に亘っています。一方、すべてのレポートが、各研究テーマに相応しいかたちで、テキスト分析、アンケート調査、インタビュー調査、観察調査、等々の手法を複数併用して調査研究を実施し、先入観や偏見に惑わされることなく、データとエヴィデンスに基づく実証的かつ多面的な日本語・日本文化の研究として進められていることは、極めて高く評価されるべきことです。

今回の日研生のみなさんの滞日期間の後半は、新型コロナウイルスのパンデミック化に伴う各種の行動規制と感染への不安を抱えながらの学びの日々であったと拝察いたします。しかしながら、そうしたマイナス要因の影響を全く感じさせないように、日研生のみなさんは大変に優れた研究成果を挙げられ、日本語・日本文化に関する理解を深化なさいました。こうした日研生のみなさんの研鑽の努力と力量に心底感服し、衷心から称賛申し上げたいと思います。同時に、近い将来、日研生のみなさんがさまざまな分野において出身各国と日本を結び、国際的に活躍なさる姿を目にする日が訪れることを願って止みません。

末筆ながら、日研生のかたがたの研修プログラムの中核としてご尽力を賜った櫻井勇介先生に深謝申し上げるとともに、日本語・日本事情関連の授業をご提供くださった菅生早千江先生（現・目白大学）、松田デレク先生、萩原章子先生、豊富なご経験に基づいて常に全体的な視野からご指導くださった森山新先生と西川朋美先生、煩雑な事務手続きを支えてくださった国際課のみなさまと国際教育センター教務補佐・AA のみなさま、そして本学の国際交流ご担当の理事・副学長である佐々木泰子先生をはじめ、関係各位にはこの場を借りて改めて御礼申し上げたいと思います。

出身国

名 前	出 身 国
朴 加琳 (パク カリム)	韓国
チョ ソネ	韓国
アサワヴェットウット ジャイサイ	タイ
カテーナ エロイーザ	イタリア
ダオ ティ トウエット	ベトナム
サフタ アナマリア カロリナ	ルーマニア

目 次

第 I 部 修了レポート

- 1 人間の潜んでいる無意識の優越感と同情
—『鼻』を中心に— 1
朴 加琳 (パク カリム) 〈韓国〉
- 2 日本のスポーツ・アニメの女性キャラクターの地位
—2000 年代以降に放送されたアニメの分析を通して— 11
チョ ソネ 〈韓国〉
- 3 日本人とタイ人の若者における一人称の使用
—女性の使用傾向を中心に— 21
アサワヴェットウット ジャイサイ 〈タイ〉
- 4 日本映画の小説化—意義と分析— 31
カテーナ エロイーザ 〈イタリア〉
- 5 日本語の形容詞の敬語表現
—ベトナム人日本語学習者の使用状況について— 45
ダオ ティ トウエット 〈ベトナム〉
- 6 四季の国における季節文化
—日本の季節文化の起源と現状— 57
サフタ アナマリア カロリナ 〈ルーマニア〉

目 次

第Ⅱ部 修了報告会 発表資料

- 1 人間の潜んでいる無意識の優越感と同情
—『鼻』を中心に— 69
朴 加琳 (パク カリム) 〈韓国〉
- 2 日本のスポーツ・アニメの女性キャラクターの地位
—2000年代以降に放送されたアニメの分析を通して— 73
チョ ソネ 〈韓国〉
- 3 日本人とタイ人の若者における一人称の使用
—女性の使用傾向を中心に— 75
アサワヴェットウット ジャイサイ 〈タイ〉
- 4 日本映画の小説化—意義と分析— 77
カテーナ エロイーザ 〈イタリア〉
- 5 日本語の形容詞の敬語表現
—ベトナム人日本語学習者の使用状況について— 79
ダオ ティ トウエット 〈ベトナム〉
- 6 四季の国における季節文化
—日本の季節文化の起源と現状— 81
サフタ アナマリア カロリナ 〈ルーマニア〉

第 I 部 修了レポート

人間の潜んでいる無意識の優越感と同情

— 『鼻』 を中心に —

朴 加琳

1. はじめに

芥川龍之介の『鼻』は、第四次『新思潮』の創刊号のために書かれた作品で、1916年（大正5年）に発表された短編小説である。『鼻』は、平安時代の説話集である『今昔物語集』巻二十八「池尾禪珍内供鼻語第二十」と、13世紀前半に成立した説話集である『宇治拾遺物語』巻二「鼻長き僧の事」から材料を得ている。『鼻』の初出本文の末尾でその典拠について芥川は、「禪智内供は、禪珍内供とも云はれてゐる、出所は今昔（宇治拾遺にもある）である、しかしこの小説の中にある事実がそのまま出てゐるわけではない」というように『今昔物語』と『宇治拾遺物語』を明記した（管 1994 p.117 を参考）。

『鼻』は、池の尾という地域で知らない者がいないほどに有名な、細長い鼻を持つ内供という僧侶にまつわる話である。池の尾の町の者に笑いの種にされ、基本的な日常生活も一人では難しい。この内供は自分の細長い鼻詰めの鼻がコンプレックスである。そのため、人々の前では気にしないふりをしながらも、一人でいるときに鏡に向かい、様々な角度から顔を映してみるなど、鼻を実際以上に短く見せるための工夫を惜しまない。コンプレックスである細長い鼻を人並みに短くするため、弟子僧侶の助けを得て、鼻の治療を行う。こうして人並みの鼻を持つようになった内供は、もうこれ以上笑いの種にならないはずだと思うが、他人からの笑いは日に日に増していくばかりだった。内供は自尊心を深く傷つけられ、短くなった自分の鼻を恨むようになった。ある日、内供は鼻がむずがゆい感覚を感じる。翌日、内供の鼻は元通りに、細長い形に戻っていた。内供はもう、自分を笑う者はいないはずだと思うという小説である。

本研究で扱う芥川龍之介の『鼻』の中で、主人公である「内供」は長い鼻による陰口と人々の笑いに苦しむ。弟子の協力を得て自分の長い鼻を治療したが、内供の予想と異なり、日々笑う人が増えるばかりであった。その結果、内供は短くなった鼻を恨むようになった。このように、内供の心理は繊細に書かれているものの、「池の尾の町の者」の心理的な研究はまだ進んでいない。そのため、本研究では、同情と優越感を主に扱い研究を進めたい。まず、優越感とは「自分が他人よりすぐれているという感情」と定義される（goo 辞書）。同情は「他人の身の上になって、その感情をともにすること。特に他人の不幸や苦悩を、自分のことのように思いやっていたわること」と定義される（goo 辞書）。人々は自分より不幸な人に同情するが、その反面、自分はその不幸な人より優れていると思いたがる傾向がある。本研究では、その傾向を中心に、作品の登場人物である「池の尾の町の者」の言動を分析したい。また、作品内にとどまらず、現実の人も優越感と同情を同時に抱くことができるのかを研究したい。

2. 先行研究

小野 (2008) は、『「鼻」論—かうなれば、もう誰も晒ふものはない—』で、主人公である内供の様相を「鼻が長いとき」、「鼻の治療」、「人並みの鼻」、「再び長い鼻」の四つの段階で分析し、内供が独り相撲をしていると述べている。内供の鼻が長いときの「人々」は、内供の長い鼻に対する実際的な不便を述べているが、内供は「人々」の意図を深読みし、自尊心に傷をつけられる。このときの「人々」は、内供の意図の深読みにより生まれた仮想他者であり、この深読みにより、内供は独り相撲をすることになる。また、鼻を治療し、人並みの鼻を持つようになってから内供を実際に笑う「人々」は実在する他者である。下法師たちは内供の鼻を見て吹き出し、中童子は内供の真似をする。池の尾の侍は前より一層可笑しそうな顔をして内供の鼻をじろじろと見る。このように人々は直接的に内供の鼻を笑う。最後に、再び鼻が長くなった内供にとって、「人々」が再び仮想他者となる。新たな現実の意地悪い他者に向き合い、内供は自分の短い鼻を笑った他者が「長い鼻の自分」はもう笑わないはずだと思いながら、独り相撲へと復帰するのであると小野は分析している。

また、菅 (1994) は、『「鼻」論—孤立した人間への同情の虚実—』で、芥川が『今昔物語』と『宇治拾遺物語』以外に、ロシアの作家であるゴーゴリの『The nose』に影響されたのではないかと、という疑問点を提示している。ゴーゴリの『The nose』は、1836年発表された短編小説だ。ある日、八等官のコワリョーフは自分の鼻がなくなったことに気づく。コワリョーフは戸惑いながらも、新聞社に広告を掲載してもらおうとするが、一笑に付されてしまう。コワリョーフは無事、鼻を見つけ、病院に駆け込むが、治療を拒否される。そうして、ある日、コワリョーフは突然自分の鼻が元通り自分の顔に付いていることに気づく。菅 (1994) は、芥川の『鼻』とゴーゴリの『The nose』の関連性を探る目的を担っている。菅は、様々な学者の意見を引用し、芥川の『鼻』や『羅生門』、『芋粥』の登場人物と「ロシア文学の〈虐げられた人々〉の系譜」との関係性を提示する。芥川は、作中人物の造形にとりわけ動物的イメージを多用する。その例としては、「鴉」「猿」「墓」のような『羅生門』の老婆、「猫」「守宮」のような『羅生門』の下人、弱くて意気地のない、人に馴れる「犬」のような『芋粥』の五位と『鼻』の内供などがある。「芥川が登場人物に用いる動物のイメージはほとんど下等で、醜悪で、マイナス的な面である。人間に動物の本能、野性、下等さを見出し、さらに異なる動物のイメージによって多面的な人間性を形象するところに、芥川の鋭い人間観察があり、またその文芸の特徴を示していると言えよう。」と菅 (1994 p.121) は述べている。

それに対して、植物的なイメージは、「理性的」で「調和的」であることを意味している。『鼻』は内供自身の心理的な独白を中心とする独我的な世界である。内供は鼻の治療を通して、人並みの鼻を持つことにより、以前より良好な人間関係に期待を抱く。しかし、短くなった鼻を笑われることで挫折し、短くなった鼻を恨むなどの葛藤を通して内供はようやく本来の自己を見直すことができる。『鼻』の最後に内供が「長い鼻をあげ方の秋風にぶらつかせる」姿を見せるところがその例である。植物的イメージを用いて、調和的な感じを与えたのだ。

このように、今までの『鼻』の研究では、主人公である内供の心理に関する研究が多かったが、本論文では、主人公ではなく、周りの人々の心理を研究する。また、作品内だけにとどまらず、実際の人々はどのように思うのかデータを収集し研究する。

3. 研究課題

本研究では、まず『鼻』の「池の尾の町の者」は内供の細長い鼻、という不幸に対してどのような態度を取っているのかを研究するため、『鼻』の「池の尾の町の者」は「他人の不幸に対して優越感を感じて笑っているのか」を RQ1 として設定した。また、実際の人々が同情と優越感を同時に抱くことができるかどうかの示唆を得るため、RQ2 を「実際の人々が同情心と優越感を同時に抱くことができるのか」に設定した。この二つの研究課題を達成するため、本研究では RQ1 では文献調査、RQ2 ではアンケート調査を行った。

4. 研究方法

4.1 文献調査

RQ1 では、本論文の基になる『鼻』を分析し、「池の尾の町の者が内供を笑った」と思われる直接的・間接的な表現、「池の尾の町の者が内供を同情した」と思われる直接的・間接的な表現を見出した。作品の中で、人々の態度が大きく変わるきっかけとなる、鼻の治療以前と以降に分けて分析を行った。ここでの「池の尾の町の者」とは、内供の弟子の僧や寺を訪れた侍、中童子などを指す。

4.2 アンケート

RQ2 のアンケート調査は日本人・韓国人 50 人を対象に行った。韓国人 30 人 (60%)、日本人 19 人 (38%)、ベトナム人 1 人 (2%) で計 50 人の回答を集めることができた。国籍が偏ると意見が偏る可能性があり、できるだけ多くの人々の意見が得られるように、日韓両国の対象を設定した。また、年代は幅広い方がより多くデータを手に入れられると思い、10代から50代に設定した。50人のうち、20-24歳が一番多く50%であり(25人)、25-29歳が24%(12人)、10代が14%(7人)である。30代、40代、50代は4%(2人)ずつである。RQ2は実際の人々の同情と優越感の同時発生の可能性を確かめるために行われた。その可能性を確認するため、「1. 他人の不幸を見て安心感を得たことがあるか」「2. アフリカの飢餓の対する例文を読み、記述する項目」などのようなアンケート項目を用いた。さらに、限られた期間内に50人程度の人を集めるためにはオンラインアンケートが適切だと考えアンケートを行った。SNSで韓国人、日本人の知り合いに広めてもらい、アンケートの回答者を集めた。

5. 結果と考察

5.1 文献調査の結果

まず、「池の尾の町の者が内供を笑った」と思われる表現についてである。間接的な表現は「鼻が長いとき」に多く、その例として、「鼻が長いとき」の内供に対して、「池の尾の町の者」は、「あの鼻では誰も妻になる女があるまい」と思う。また、「中には又、あの鼻

だから出家したのだろうと批評する者さえあった」という。このような表現は内供の鼻を卑下している態度の現れであると考えられる。また、本文では「しかし内供は、自分が僧である為に、幾分でもこの鼻に煩わされることが少なくなったと思っていない。内供の自尊心は、妻帯と云うような結果的な事実には左右される為には、余りにデリケートに出来ていたのである」と記述されており、このような表現から、内供が自分の鼻が笑いの種とされていることを知っていると考えられる。

直接的な表現は「鼻が短くなった後」に多く見られる。この例としては、寺に訪れた侍が「前よりも一層可笑しそうな顔をして、話も碌々にせず、じろじろ内供の鼻ばかり眺めていた」こともあったり、かつて、内供の鼻を粥の中へ落したことがある中童子が、講堂の外で内供と行きちがったとき、吹き出してしまったりする。また、中童子が2尺の木の片をふりまわしながら「鼻を打たれまい。それ、鼻を打たれまい」と鼻が長い頃の内供の真似をする。面と向かっている間は慎むが、内供が後ろさえ向けば、すぐにくすくすと笑い出す人だっているのだ。最初は同情で内供の鼻の治療をしてあげた弟子の僧でさえ、「内供は法慳貪の罪を受けられるぞ」と陰口をきくようになる。

次に、「池の尾の町の者が内供を同情した」と思われる直接的・間接的な表現についてである。本文では少ないが内供を同情すると思われる表現が幾つか登場する。間接的な表現としては、「内供の俗でない事を仕合せだ」というところがある。内供が俗でないため、彼が仕合せだと思うことは彼を同情したからこそである。このような表現からは人々が内供の鼻への笑いと同情を同時に感じていると思われる。また、内供の鼻を治療した弟子は、「この弟子の僧の同情を動かしたのであろう。弟子の僧は、内供の予期通り、口を極めて、この法を試みる事を勧め出した」のである。内供の自分の鼻に対する苦情を聞いているうちに、同情を抱くようになり、内供の鼻を治療したのである。

5.2 文献調査結果の考察

フランスの劇作家のパニョル（1953 p.166）は「笑いはいわれわれが他人にたいして忽如として瞬間的な優越感を抱いたときに発生する」と述べている。この理論からして、我々は、「池の尾の町の者」が内供に優越感を感じ、笑ったのだと考えられる。また、その一方、近藤良樹（2013 p.14）の「同情は、優越し恵まれている立場の者が抱くものであり、自らは価値物の喪失はしていないし悲しんでもいない」という言葉からして、「池の尾の町の者」が他者に対する優越感を持った立場で、内供を同情していたと理解できる。

5.3 アンケートの結果と考察

50人のうち全員が他人の不幸を見たことがあると答えた（100%）。また、「他人の不幸を見たとき同情したことがありますか」という項目には84%（42人）の人が「はい」、8人（16%）の人が「いいえ」を選択した。「はい」を選択した人の多くは家庭環境や知人との別れなどを書いた。また、「いいえ」を選択した人は、「誰も誰かを同情する権利などない」などの答えを書いた。「他人より自分が優れていると思ったことがありますか？」という項目では40人（80%）が「はい」を、10人（20%）の人が「いいえ」を選択した。

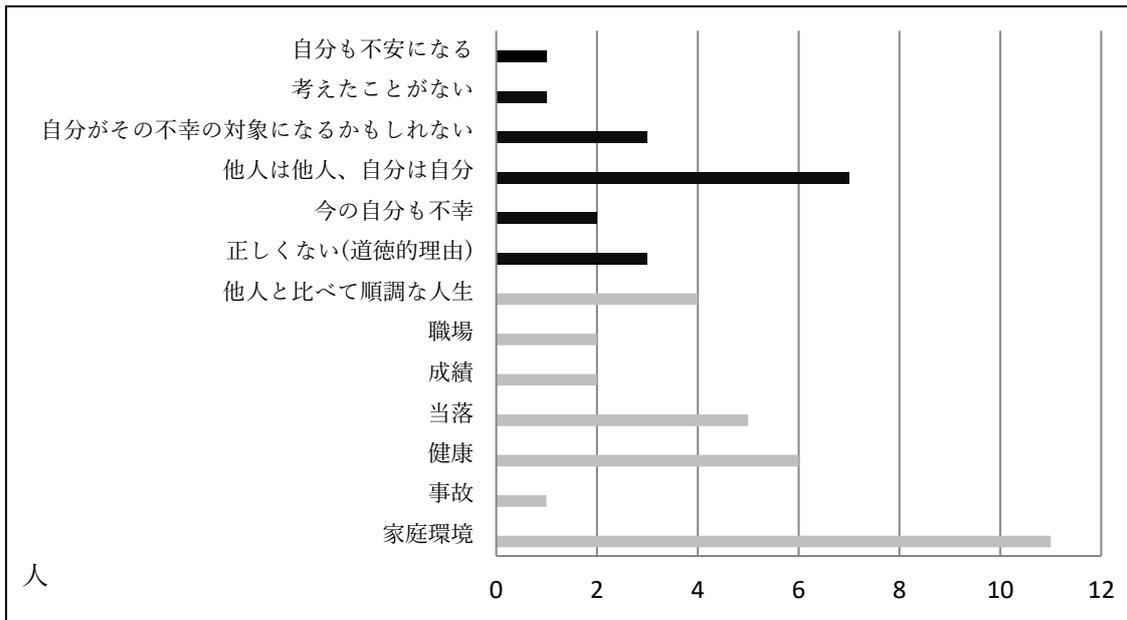


図1. 他人の境遇(不幸)と自分を比較し安心感を持った経験の有無及び理由

図1は「他人の境遇(不幸)と自分を比較し安心感を持ったことがありますか」という項目の返答をグラフでまとめたものである。50人のうち、「はい」と答えた人(灰色)は31人で、「いいえ」と答えた人(黒)は19人だ。「はい」と答えた人から分析してみよう。「家庭環境」、たとえば、親の離婚や家庭暴力などから自由だという点で安心感を得たと答えた人は11人(22%)である。また、「不意な事故」に遭わなかった場合に安心感を得た人は1人(2%)である。「自分が他人より健康」だという点に安心感を得た人は6人(12%)で、「受験やコンサートなどの当落」で自分が当選した場合、安心感を得た人は5人(10%)だ。また、「他人より成績が良い」場合、「職場での人間関係などが良好」な場合に安心感を得た人はそれぞれ2人で、全体の4%ずつに当たる。最後に、「他人と比べて順調な人生」を送っていると思い、安心感を得たと答えた人は4人(8%)だった。

次に、「いいえ」と答えた人を分析してみよう。他人に対して同情をすることは正しくないという「道徳的理由」で「いいえ」と答えた人は3人(6%)だ。また、「今の自分も不幸」で、他人の不幸を見て安心感を得たことがない、と答えた人は2人(4%)だ。「他人は他人、自分は自分」なため、他人と比較して安心感を得たことがないと答えた人が7人(14%)だ。「自分がその不幸の対象になる可能性」があるため、安心感を得たことがない、と答えた人が3人(6%)で、「他人と比べたことがない」、他人と比較したら「自分も不安」になるとの理由で「いいえ」と答えた人はそれぞれ1人で、全体の2%ずつに当たる。全体的に、他人の境遇(不幸)と自分を比較し安心感を得た人の比率が高く、その中でも「家庭環境」が最も多くの人から選択された。「いいえ」と答えた人の中では、「他人は他人、自分は自分だ」という選択肢を選んだ人が一番多かった。

また、実際の例として、アフリカの飢餓と比べ、Aさん:「あなたはこの国で生まれてよかったね」 Bさん:「あの子たちよりいい環境で生まれたことに感謝しなくては」という会話を耳にしたと仮定し、このような会話を耳にしたとき、どのように思ったのかを質問した。

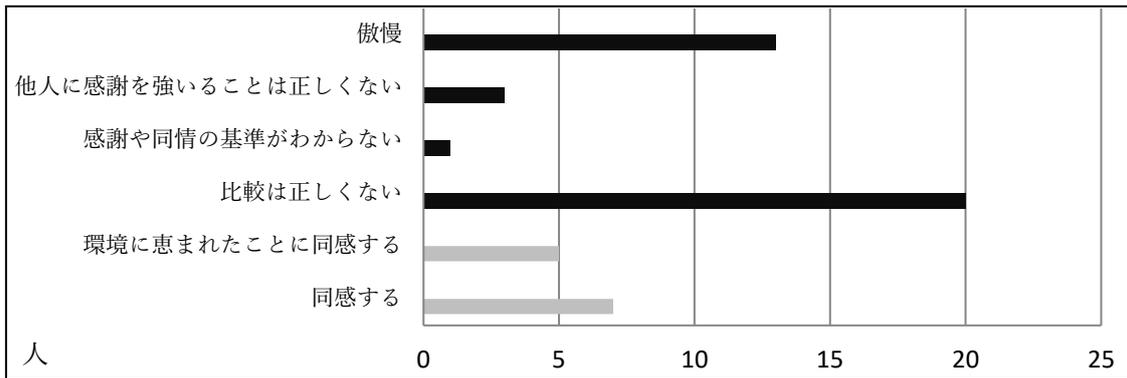


図 2. アフリカの飢餓に関する会話を耳にして

肯定的な返答（灰色）が 12 人、否定的な返答（黒）が 38 人と、否定的に思ったと返答した人が多かった。肯定的な返答は、「環境に恵まれたことに同感する」と返答した人が 7 人で、「自分も思わずそう思ったことがあり共感する」と返答した人が 5 人だった。否定的な返答は、「比較は正しくない」という理由を挙げた人が 20 人だ。また、「感謝や同情の基準がわからない」と返答した人は 1 人、「他人に感謝を強いることは正しくない」と返答した人は 3 人で、「それぞれ与えられた環境が違うだけで、このような言い方は傲慢だと思う」と返答した人は 13 人だ。この項目では否定的な返答の比率が高く、その中でも、「比較は正しくない」という道徳的理由が一番高い比率を占めている。その次に、「それぞれ与えられた環境が違うだけで、このような言い方は傲慢だと思う」という返答が高い比率を占めている。

この項目に関連して、「なぜ、そのようなことを言い、思うのだと思いますか」という項目を作り、返答を記述してもらった。

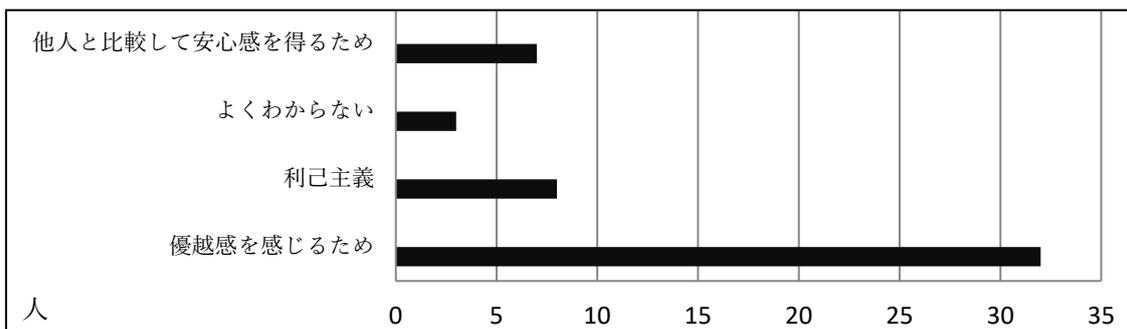


図 3. アフリカの飢餓についての会話の理由

「自分がより上だという優越感を感じるため」と記述した人が過半数を超える 32 人で、「A や B が利己主義な考え方の持ち主であるため」と記述した人が 8 人、「よくわからない」と記述した人が 3 人、「他人と比較して安心感を得るため」と記述した人が 7 人だった。もう一つの例として、障害者に関して、A さん：「かわいそうに...」 B さん：「あなたは丈夫な身体であることに感謝しなさい」という会話を耳にしたと仮定し、このような会話を耳にしたとき、どのように思ったのかを質問した。

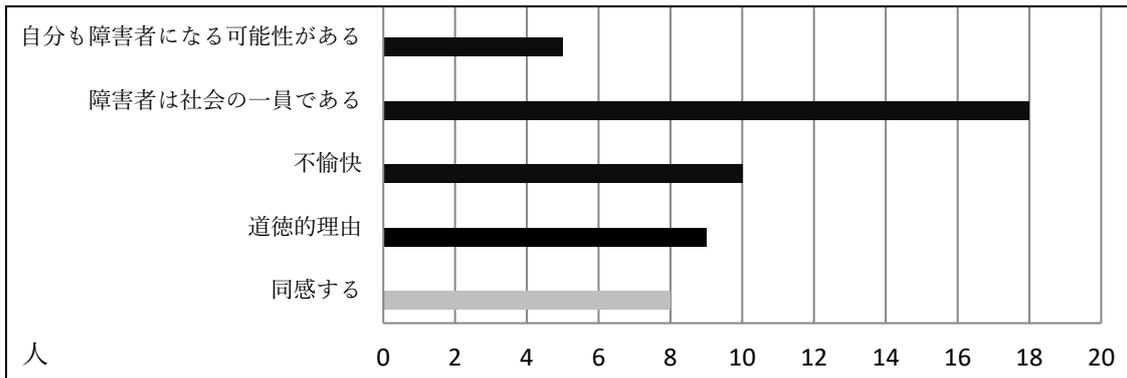


図 4. 障害者に関する会話を耳にして

肯定的な返答が 8 人で、否定的な返答が 32 人だ。そのうち、肯定的な返答をした 8 人全員が「同感する」という理由で肯定的に答えた。否定的な返答をした 32 人のうち、正しくないという「道徳的理由」で「いいえ」と答えた人は 9 人で、「不愉快」だという返答を書いた人が 10 人、「障害者は社会の一員であり、同情的ではない」という人が 18 人だ。また、「自分も障害者になる可能性があるため、ああいう言い方は正しくない」と思ったという人が 5 人である。否定的に思ったという人が多く、その中でも、「障害者は社会の一員であり、同情的ではない」という理由が多いとみられる。

最後に、この項目に関連して、「なぜ、そのようなことを言い、思うのだと思いますか」という項目を作り、返答を記述してもらった。

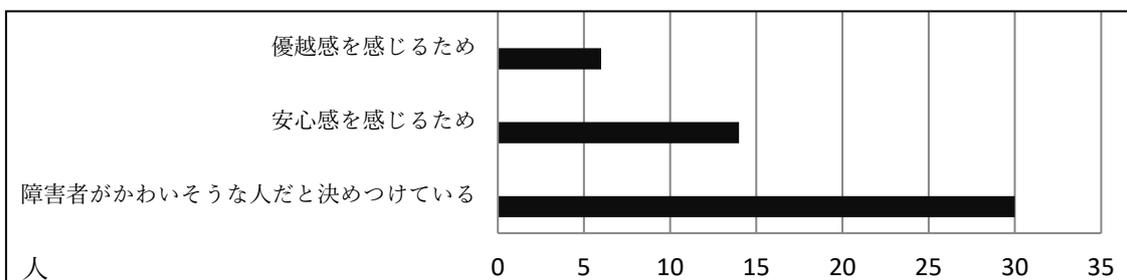


図 5. 障害者に関しての会話の理由

「障害者がかわいそうな人だと決めつけているため」と記述した人が 30 人で、自分が障害者ではないことに「安心感を得るため」と記述した人が 14 人、「優越感を感じるため」と記述した人が 6 人である。

5.4 アンケートの考察

このような分析結果を踏まえると、実際の人々は年齢を問わず、他人の不幸を見たことがあり、そのうち、多数の人が他人の不幸に同情したことがあるということがわかる。また、過半数以上の人々が、他人より自分が何かの点で優れていると思ったことがあり、他人の境遇（不幸）と自分を比較し安心感を持ったことがある人が過半数を超える。これらの項目を詳しく説明すると、他人の不幸に対して自分がその当事者ではないという点で安心感を得た人の比率が高いと言えるだろう。また、少ないが、他人と自分を比べ安心感を得

たことがない人の理由はそれぞれ違う。

人間は、場合により違う答えになる場合がある。本論文でのアンケートでのアフリカの飢餓の項目や障害者をその例として挙げてみよう。飢餓はすでに生まれた環境が違い、その環境は変えられないという点を基にした質問には、比較は正しくないという道徳的な返答が多い反面、障害者は生まれつきだけではなく、不意の事故などによりなってしまうものだという可能性を基にし、「障害者は同情的ではない」「不愉快」などのように感情的な返答が多かった。

ただ、今回のアンケートは中立的な選択肢がなく、「はい」と「いいえ」の二択しか存在しなかったため、二分法的なアンケートとなった。中立的な選択があったらより多様な意見をもらえたのではないかと思う。また、記述式の項目が多かったため、アンケートの返答を記述式ではなく、選択式にしてもよかったのではないだろうかと思う。

6. まとめ

芥川の『鼻』の登場人物である「池の尾の町の者」は内供に同情する一方、内供に優越感を感じ、笑っていた。また、実際の人々は他人の不幸を見て、安心感を得たり、同情したりしていたことが整理された。ここで、「同情は、優越し恵まれている立場の者が抱くものであり、自らは価値物の喪失はしていないし悲しんでもいない」という考え方からすると、同情は、上の立場の人間が抱くものであり、同情すること自体が他人に対して優越感を感じていると見てもよいだろう。

また、同情する、とのことが優越感を感じるためだという意見も多かったので、実際に同情をしながら、優越感を感じる人もいるのだろう。本研究が対象とするすべての人がそうだというわけではないが、その可能性は十分あるはずだ。本研究の内容を踏まえ、同情と優越感の同時発生を否定する研究や、同情と優越感の同時発生の理由に関する研究ができると思う。

参考文献

芥川龍之介（2005）『羅生門・鼻』 pp.19-30, 新潮文庫.

小野 隆（2008）『『鼻』論—かうなれば、もう誰も晒ふものはない—』 pp.25-38, 専修大学
日本語日本文学会 専修国文 第83号.

管美燕（1994）『『鼻』論—孤立した人間への同情の虚実』 pp.113-137, 高科大應用外語學
報3民.

近藤良樹（2013）「同情における理解の仕方—『よく分かります』と同情する—」 pp.13-28,
広島大学 学術情報リポジトリ 17巻.

パニョル、マルセル（鈴木力衛訳）『笑いについて』, 1953（原著 1947）, 岩波書店.

オンライン資料

同情, goo 辞書, デジタル大辞泉, 小学館,

<https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E5%90%8C%E6%83%85/#jn-156039> (2019年12月14

日アクセス)

優越感, goo 辞書, デジタル大辞泉, 小学館,

<https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E5%84%AA%E8%B6%8A%E6%84%9F/#jn-223809>

(2019年12月14日アクセス)

日本のスポーツ・アニメの女性キャラクターの地位 —2000年代以降に放送されたアニメの分析を通して—

チョ ソネ

1. はじめに

漫画やアニメに興味を持ったことがきっかけになり、日本語を学び始めた学習者が多いと言うことがすでに先行研究で報告されている（熊野・廣利 2008）。この研究から見ると、アニメや漫画が日本語を学ぶきっかけに繋がっており、アニメや漫画が視聴者を単純に楽しませること以上に大きな影響を与えていることが分かる。しかし、日本のアニメや漫画をジェンダーの観点から見ると、様々な問題が見られる。ジェンダーの観点から子ども向けのマスメディアを分析した結果、性に関するステレオタイプや性役割分業、男女登場人物の量的不均衡等の問題が明らかになった（木村 2003）。私たちはそれらに気づかず、アニメに描かれる性の在り方をそのまま受け入れてしまっている可能性が存在する。本研究では、現代の日本のスポーツ・アニメで、女性キャラクターの描写においてどのような問題があるのかを明らかにする。また、現在のスポーツ・アニメが視聴者のジェンダー意識にどのような影響を及ぼすのかを、実際にアニメを見た視聴者にインタビューした結果に基づいて分析を行いたい。

2. 先行研究

現代の日本のアニメがジェンダーの観点から見て問題があるということは、多くの研究の結果で既に分かっている。木村（2003）の研究では、子ども向けのマスメディアにおいて、まず登場人物の男女比率を見ると男性キャラクターが圧倒的に多く、男性優位という不均衡が見られた。そして細かく見てみると、描かれる女性像は男性像と比べ、年齢や職業に偏りがあり、キャラクターの位置づけにおいて固定的な性役割やステレオタイプが見られることが明らかにされた。藤田（1996）の研究では、1960年代、1980年代、1990年代に放送されたテレビ・アニメ番組を分析し、子ども向けのアニメに現れたジェンダーの問題について考察している。分析の結果、主要な登場人物の特徴において女の子は全体的にかわいい者が多く、男の子はハンサムで優しく描かれる者と、外見が普通でよく失敗する男の子に二分される傾向があることがうかがえた。さらに、男性キャラクターが強く、女性キャラクターは優しい、または弱いという組み合わせは、放送年代を問わず見られた。1990年代の番組において強い女性キャラクターが登場する作品もあるが、そのキャラクターも好きな男の前では「かわいい」存在であったということが垣間見えたと言われている。さらに、登場人物の職業を分析した結果、1960年代と1980年代に放送されたテレビ・アニメ番組において、男性キャラクターのほとんどは職業がある反面、女性キャラクターの職業は主に主婦、あるいは母親であることが確認された。一方、1990年代に放送されたテレビ・アニメ番組においては、比較的に女性の職種が多様化しているということが分かった。王・高橋（2016）の研究では、アニメの中の女性キャラクターはその時代の女性像

を反映して作られるため、描かれる女性像が時代と共に変化していくと述べている。藤村・伊藤（2004）の研究では、子どもたちに人気のあるテレビ・アニメで表現されている男女の在り方が子どものジェンダー意識に及ぼす影響を、実際に子どもにアニメを視聴させ、その後インタビューを実施し分析を行った。子どもたちに一番好きなキャラクターを聞いてみると、ほとんど自分と同じ性別のキャラクターを選んでおり、好みを判断する基準は男女によって異なっていた。女の子は「かわいい」かどうかであり、男の子は「かっこいい」または「強い」かどうか判断基準になっていた。

藤田（2017）の研究では、女性監督が登場するスポーツマンガと女性バレーボール部を舞台とするスポーツマンガを中心に、スポーツマンガから読み取られる構造を明らかにするため、該当の作品を読んだ大学生を対象にインタビューを行った。女性監督が登場するスポーツマンガ作品の読み取りの結果から、3作品の女性監督は、それぞれ「女性性」の強調、「女性性」からの超越、「女性性」と「厳しさ」の二面性、といった異なる特徴を示していることが分かった。さらに、回答者にとって、女性監督が登場するマンガ作品の世界は、現実の世界とギャップがあると考えていることが分かった。

しかし、2000年代以降に放送された人気のスポーツ・アニメで登場する女性キャラクターは、どのような存在として位置づけられているのかはまだ明らかにされていない。さらに、それらの位置づけは、視聴者にどのように捉えられているのかについてジェンダーの視点から分析することは重要である。したがって、本稿では2000年代以降に登場した人気のスポーツ・アニメである『黒子のバスケ』、『ハイキュー!!』、『ベイブーステップ』、『FREE!』を分析することで、女性キャラクターの描写に対する問題点を明らかにする。さらに、該当のアニメを視聴した人にインタビューを行い、インタビュー結果の分析を通し、スポーツ・アニメに登場する女性キャラクターの位置づけに対して視聴者が思うことを明らかにすることが、本稿の目的である。視聴者たちは、スポーツ・アニメに描かれる性の在り方をそのまま受け入れる可能性があるため、女性キャラクターの在り方や眼差しを指摘することで、間違った性の概念が形成されないようにする必要がある。

3. 調査方法

研究者はNetflixを利用し、有名なスポーツ・アニメである『黒子のバスケ』、『ハイキュー!!』、『ベイブーステップ』、『FREE!』の初期の一部を視聴しながら分析を行った。スポーツ・アニメを分析対象にした理由は、研究者が『ハイキュー!!』を視聴した際にマネージャーが女性キャラクターとして描かれ、補助的な存在としか描写されていないことに疑問を持ち、別の作品の中の女性キャラクターがどのような立ち位置であるのかを確認するためである。分析を行う際には、女性キャラクターの性格や特徴、服装、それから男性キャラクターの女性キャラクターに対する態度などに注目した。これらの基礎調査で抽出し問題だと思った場面を視聴者がどのように受け入れているのかを確認するため、インタビューの協力者を探し、インタビューに回答してもらった。インタビューの質問リストは研究者が問題のある場面だと判断したところを中心に作成した。

調査協力者の募集では、研究者のSNSに分析対象の4つのアニメを視聴したことがある

人を探しているという内容の投稿を載せ、インタビューへの協力を求めた。インタビューの際には、研究者が質問している内容の場面を正確に伝えるため、質問内容の場面を指す動画や写真を見せた。日本語ができない回答者の場合は、まず回答者に動画を見せて、その後研究者が動画の内容を口頭で説明した。

インタビューの仕方と手順は以下の通りである。2020年4月の時点で、ほとんどの協力者とカカオトークやLINEの電話機能を使いインタビューを行った。インタビューの前に調査協力者にあらかじめインタビューの趣旨を口頭で説明し、協力の同意を得た。まず、インタビューの最初に主な登場人物を確認した。外国籍の協力者の場合、正確な日本語で回答しなくてもいいと伝え、韓国人の協力者の場合は韓国語でインタビューを行った。そして、あらかじめ回答者の承諾を得たうえで録音を行いインタビューを始めた（回答者のうち、一名は録音を拒否したため、メモを取りながらインタビューを行った）。インタビューの最初の質問に入る前に、協力者にカカオトークやLINEを通してインタビューで扱うビデオクリップなどを送って視聴してもらった。対面インタビューを行った協力者の場合は、インタビューを進めながら必要な質問をする前に該当のビデオクリップを視聴してもらった。一つのアニメの質問に答えた場合は8～10分程度、複数のアニメの場合は20～30分程度のインタビューを行った。インタビューが終わった後、録音した資料を聞きながら回答内容を文字化した。文字化する作業の終了後、その内容を読みながら重要なところに下線を引いておいた。

4. アニメ分析の結果

インタビューを行う前に、ジェンダーの観点からみたスポーツ・アニメの問題点を分析し、視聴者のジェンダー意識に影響するような場面を抽出するため、『黒子のバスケ』、『ハイキュー!!』、『ベイブーステップ』、『FREE!』の初期の一部の分析を行った。

4.1 各アニメの女性キャラクターの在り方

『黒子のバスケ』で登場する主な女性キャラクターは相田リコと桃井サツキである。リコは、誠凛高校のバスケ部の監督で、主人公の黒子と同じバスケ部である。リコは監督としての能力が優れている。バスケの練習の指導が激しく、たまに暴走することもある。いつも性格は明るく、バスケに対する愛着が強い。バスケ部の男子部員たちとは同い年であるため対等な関係でありながら、練習時にはリコが部員たちに指示をしていることからみると、リコが少し上の立ち位置になっている。サツキは桐皇学園高校のバスケ部のマネージャーである。彼女は情報収集力が優れている。また、腰が細くて胸が大きく、ピンクの髪の毛を持つスタイルがいいキャラクターで、男子生徒に注目されるような人気のキャラクターである。

『ハイキュー!!』で登場する主な女性キャラクターはマネージャー役の清水潔子で、常に周りから注目されるような人気のキャラクターである。彼女は静かな性格で発言は多くない。クールな性格で話しかけられても短く答えたり、反応せずに無視したりすることもある。彼女は主体的に練習を指示せず、ボールを拾ったり、休憩中の部員たちにタオルやお水を渡したり、試合中の記録を行ったりするような補助的な立ち位置であることがわ

かる。

『ベイブーステップ』の主な女性キャラクターは鷹崎奈津で、彼女は主人公の丸尾がテニスのプロを目指し続けられるようになるまで影響を与えた人物である。彼女はすでにテニスが得意で、プロを目指しテニスに取り組んでいる。また、校内の男子生徒から人気があり注目されるような美人キャラクターである。ほかのアニメのような胸が大きく腰が細いといった身体的な著しい特徴はない。さらに、物語が展開するにつれ丸尾と恋愛関係を築くようになり、恋愛の対象として位置づけられている。

『FREE!』の主な女性キャラクターは松岡江で彼女は岩鷲高校の水泳部のマネージャーである。彼女はアニメの中で、さっぱりした性格で、男子生徒のがっちりとした上半身を見て露骨に嬉しさを表す。水泳部の部員たちは江より先輩で江が部員たちに敬語を使用していることから見ると、少し上下関係が見られる。彼女の主な仕事は合宿を計画したり、部員たちの練習量をチェックしたり、部員たちにタオルを渡すなどの補助的な仕事である。

4.2 女性キャラクターの身体が浮き彫りに描写される場面

『黒子のバスケ』の第14話で、桐皇学園バスケ部のマネージャーであるサツキが誠凛高校バスケ部の部員たちの前に現れる。その前の、ロッカーで水着に着替える場面において、ビキニを着ているサツキの胸やお尻が画面の真ん中に置かれて描写されている。その際、胸は大きく、腰や足は細く描かれている。また、サツキが黒子を抱きしめると、サツキの胸が黒子の体に触れて押されるところが、画面の真ん中に描写される。その姿を部員たちはぼっとして眺め、顔が真っ赤になり、黒子に対して羨ましそうな気持ちを表す。続いて、第14話ではサツキの身体（特に胸）が何度も強調される。第15話でも同じく、サツキがシャワーを浴びている姿や、バスタオルで体を包む姿として身体が強調されて描かれる。

『ハイキュー!!』では、清水の初登場のシーンでサウンドが流れながら彼女の胸やお尻が強調される。しかし、初登場シーン以外を除くとそこまで露骨な描写はなかった。

『FREE!』では、女性キャラクターの身体を強調する場面はなかったが、逆に男性キャラクターの身体的特徴がより強調されていた。

以上を踏まえ、『黒子のバスケ』で女性の身体を浮き彫りに描写する傾向が見られたが、ほかの3つのアニメではそのような場面が少ないことがわかった。

4.3 女性キャラクターが男性キャラクターによって、性的対象・異性愛の対象（恋愛の対象）として捉えられている場面

『ハイキュー!!』で烏野高校のバレー部の部員たちは、マネージャーの清水潔子に好感を持っており、特に田中と西谷が清水に積極的に好感を表す。第1話と第2話では、田中は清水に挨拶し「潔子さん、今日も美しいっす」と言うが、清水はそれを無視すると、田中は「ガン無視興奮するっす」と言いながら、嬉しさを示す。また、第15話で田中と西谷が清水にノートで軽く頭を叩かれたが、むしろ「潔さんに叩かれた!」と言いながら嬉しさを表す。この2つの場面を踏まえ、田中と西谷の性的嗜好が表現されているのか、清水が大好きでどんなことをされているにも関わらず、嬉しいという感情が表現されている。作者の正確な意図はわからないが、いずれにせよ二人にとって清水が恋愛の対象であ

ることがわかる。

また、第6話で鳥野高校の噂をする他校の学生が、「昔は強かったのか知らんけど、鳥野つったらマネが美人ってことくらいしか覚えてないし」と述べ、「ちょっとエロい感じでさあ」と付け加えるセリフや、第11話で他校のバレー部の部員たちが鳥野高校に女子マネージャーがいるか否かで賭けをする場面から考えると、この男子生徒たちにとって女子マネージャーは注目的であることが見られる。他にも、第8話で西谷が「潔子さーん！あなたに会いにきましたー！」と言いながら清水に飛びかかる場面、第11話で田中と西谷が「半径500メートル以内に潔子さんがいる空間はむさ苦しくねんだよ！」という場面がある。このように、清水を異性愛の対象として捉えていることがうかがえる。

『ベイビーステップ』の第1話では、鷹崎奈津が廊下に丸尾を呼び出して会話をすると、校内の男子生徒が騒ぎながらその姿を覗き込む。第2話では、鷹崎が丸尾にラケットの握り方を教えるとき、鷹崎が丸尾の手を少し触ると、丸尾の顔が赤くなり、テニスと一緒に通っている鷹崎の男子先輩の江川が二人の姿を見て少し嫉妬するような場面がある。第3話において、丸尾の友達影山は丸尾が鷹崎を好きになったことに対し、「お前も人間なんだな」という場面で、鷹崎を好きになることが人間らしいことだと思っていることも見られた。第20話では、本格的に丸尾と鷹崎が恋愛関係を築いていく場面がでてくる。このように、鷹崎は丸尾にとってテニスを続けていくように影響を及ぼした人物でもありながら、恋愛の対象でもあることがわかる。

『FREE!』では、水泳部のマネージャーと顧問の先生が女性キャラクターで登場する。第2話で、水泳部を作ろうとしている男子生徒の遥、真琴、渚は、水泳部が成り立つための最少人数を集めなければならない状況を迎える。しかし、渚はいくら男子生徒たちを誘っても、誰も興味を持ってくれなかったため、新しい方法を提案する。それは水泳部に入れば、顧問である新入女性教員の天方先生の水着の姿が見放題ということをアピールすることである。また、第3話でも、第2話と同じような場面が出る。ここでは水泳部のチラシを作るとき、渚は「…“すごい！入部すればあまちゃんに水着を見られ放題”」と言うメッセージを書くことを提案する。この会話では渚は顧問の先生を、性の対象として男子生徒たちにアピールするための手段として考えていることがわかる。

このように、スポーツ・アニメで登場する女性キャラクターは男性キャラクターによって性的な対象、あるいは異性愛の対象（恋愛の対象）として受け入れられていることがわかった。

4.4 性に関するステレオタイプの考え方が作用している場面

本節では上述のような男性キャラクターの行動や発言によるものではないが、登場人物のセリフなどで性別に関するステレオタイプの考え方が作用している場面を述べていきたい。

『黒子のバスケ』の第2話で、夜遅くまでバスケの戦略を工夫しているリコに、リコのお父さんが「熱心なのはいいけど、お肌に悪いぞ」と言う。また、第15話でも、同じような状況でリコのお父さんがリコに、「いかんぞ、徹夜は。美容に悪い」と言う。リコのお父さんは夜遅くまで起きていることを心配しているが、リコが女性であるがゆえにより容姿

に気を使っているということが考えられる。一方、『ハイキュー！！』『ベイブーステップ』『FREE!』では、特にこのような場面は見られなかった。

4.5 会話の中でセクハラ的な冗談が行われる場面

ここでは、アニメの中で冗談のように扱われていたセクハラ的な会話のある場面を述べていきたい。まず、『黒子のバスケ』の第14話で、サツキが誠凛高校のバスケット部の部員それぞれの特徴を、一言で表現する場面がある。「イーグルアイを持つポイントガード伊月さん」「無口な仕事人でフックシューター水戸部さん」のようにポジションやスキル、性格などを一言で表現している反面、リコに対しては「ギリギリBの監督リコさん」と言う。リコはこれを聞いて非常に恥ずかしがる。リコが恥ずかしがるということは、リコの意に反する性的な発言であるためセクハラだと判断できるが、冗談として描かれている。

すでに言及した『FREE!』第2話において、渚が男子生徒たちにアピールするための手段として天方先生の水着の姿をアピールするアイデアを提案したことが、本人にばれて渚たちが怒られる。このような話が本人に伝えられない限りは、本人は性的な羞恥心を感じることはないが、その話を聞いて怒ったということからセクハラとして考えられる。『ハイキュー！！』でも、田中と西谷が清水に無視され、叩かれたとき、嬉しそうに「潔子さんに叩かれた!」「ガン無視興奮する」のような発言をしていたが、そこに清水は不快感を表していなかったため、セクハラとして見られない。しかし、本人である清水がこの発言に対し不快感を覚えているとしたらセクハラが成立する。

5. インタビューの回答分析

本研究ではアニメの初期の一部を分析対象としているため、該当のエピソードを視聴済みである人に協力してもらった。インタビューに協力した人は16人で、『黒子のバスケ』の協力者が6人、『ハイキュー!!』の協力者が6人、『ベイブーステップ』の協力者が2人、『FREE!』の協力者が7人である。複数のアニメを視聴した回答者は複数のアニメの質問に回答した。回答者は男性が4人、女性が12人である。

5.1 女性キャラクターの身体を浮き彫りに描写することに対する視聴者の考え

上述した通りに、『黒子のバスケ』と『ハイキュー!!』で女性キャラクターの身体を浮き彫りに描写する傾向が見られたことを踏まえ、そのアニメの視聴者たちにこのような場面に対する意見を聞いてみた。9人の回答者のうち5人の回答者(A、C、F、G、M)は不快感を表していなかった。女性の回答者のCさんは「それはただ単純に男性向けだよ。私を見ててなんとも思わないけど、男の人から見たらまた何か違うのかなと思う」、Mさんは「これは男性誌特有の描き方なんかなとは思った。(質問:それを見て不快感とかを感じたことはないですか?)私は特にない」のように答えていたため、このような描写に問題意識がないことが明らかになり、むしろ馴染みのものとして考えているように思われた。また、Aさんは、このような場面は性を商品化してアニメの売り上げを狙っているのだと言っていたが、特に不快感は表さなかった。男性のGさんは、このような描写が入っていて面白いと感じたが、正直に言うとこのような描写がなくてもアニメの物語の展開は変わらないのではないかと述べた。Fさんは、女性キャラクターの身体が強調されることで、

スポーツが男だけの世界ということが浮き彫りにされているように見えると言った。

一方、9人のうち4人の回答者（D、H、K、N）は、少しネガティブに捉えていることがわかった。H、K、Nさんは似たような意見を出した。Hさんは、このような描写が入った場面が影響し、日常生活でも女性を性的な対象として考えることがあるかもしれないと心配しており、Kさんも誤った性的観念を浮き彫りにしていると言った。Nさんは、漫画との違いについて話しながら、意見を述べた。漫画だと見たくないところは注目しなくてもいいが、アニメだと注目したくないのに見るようになり、アニメでこのような場面が出るたびに不快感を感じると指摘した。しかし、Dさんがネガティブに感じた理由は、他の回答者と少し違っていた。Dさんは、『黒子のバスケ』と『ハイキュー！！』の両方のインタビューに協力したが、『黒子のバスケ』ではサツキが水着を着て主体的に自分の体をアピールしているから特に悪くないと思っていたと述べたが、『ハイキュー！！』では清水はジャージ服を着ていて何もしていないのに胸やお尻が強調されていて「少しイラっとした」と述べた。

このように、女性キャラクターの身体が取り立てて描写されることに、視聴者の意見は様々だが、全般的にはポジティブに思われていないことがわかった。

しかし男性キャラクターの身体が強調される場面が多かった『FREE!』のインタビューでは、ポジティブな意見が見られた。『FREE!』も視聴したDさんはこの場面を見たとき、女として笑えたと言った。Bさんはこのような描写が入っていて新鮮さを感じたと答えた。それは、従来の日本のアニメは女性キャラクターの露骨な身体的描写が多く、それを楽しんでいる男性キャラクターは数多く見てきたが、その反対のものは見たことがないからだと言った。Oさんは特に何も感じなかったと述べた。Iさんは性別に関わらず人の体を見ることはよくないと感じたのに対して、Eさんはこの描写について特に悪く思わないが、それが性欲につながるようであればよくないと答えた。つまり、男性キャラクターの体を強調する描写に対してネガティブな意見を出していた回答者は7人のうち、2人しかいなかったのである。

5.2 女性キャラクターが男性キャラクターによって性的対象・異性愛の対象（恋愛の対象）として捉えられている場面に対する視聴者の考え

『ハイキュー！！』『ベイブーステップ』『FREE!』のいくつかの場面の分析では、女性キャラクターが性的な対象または異性愛・恋愛の対象として描かれていることがわかった。ここでは、それに対して視聴者たちは問題意識を持っているのかインタビューで聞いた結果を報告する。

『ハイキュー！！』のインタビューを通して視聴者たちは、このアニメを見てマネージャーの清水を、スポーツ部の仕事を手伝う人というより、「マスコット」「女神」「励みになる存在」「アイドル」「頼りになる高根の花」のようにマネージャーの本当の役割とは距離があるイメージを持っていたことがわかった。清水がスポーツ部の活動を手伝う以外の存在として目立たせられているということに気づいていた人は、Kさんのみであった。『ハイキュー！！』の視聴者たちが清水に対してこれらのイメージを持つようになったのは、清水に無視されたり叩かれた田中と西谷がむしろ嬉しくなったりしたところを、田中と西谷

の性的嗜好と関連付けて考えたからであるようだ。この2人のセリフや気持ちをマゾヒスティックな性的嗜好として解釈しており、視聴者たちにとって清水はマネージャーより、性の対象として捉えられていることが感じられたという。マゾヒスティックとまでではなくても、単純に彼らが清水のことを本当に好きで、たとえネガティブな反応であっても、反応さえしてもらえることだけでも嬉しくなるのではないかという意見もあった。結果的に、清水は恋愛の対象として受け入れられていることがうかがえる。

『FREE!』のインタビューでは、男子生徒の渚が天方先生をどのような対象として見ているのかを聞いてみた。回答者は天方先生に対して「若い女性の先生という見世物」「展示物」「先生として見ていない」「なめられている」「部員を引き寄せる装置」「魅力的な存在」「『女』の先生」と答えた。つまり、男子生徒の部員たちにとって先生としてよりも、「魅力的な女性」として受け入れられていることがアニメから感じられたという回答である。これに対して問題意識を持っていた人はB、E、Iさんだった。B、Iさんは感情を込め、「この先生の露出のある姿を見て男子生徒から好評を得られると思っているということは、先生を展示物として見ているとしか思えない」「このような会話が実際に行われるとしたら完全にセクハラ」だと指摘した。Eさんは、このような描写が韓国のメディアで現れたら少し話題になると言っていたことから、韓国のメディアでは許容されないものだと思っていることがわかったが、個人的にはネガティブに捉えなかった。

『ベイブーステップ』のインタビューでは、視聴者が女性キャラクターの鷹崎奈津をイメージするときどのようにイメージしているのかを確認した。Jさんは、鷹崎奈津の影響で男性主人公の丸尾がテニスを始めたことを言及したのに対し、Lさんはかわいくて性格が明るいキャラクターであるということしか思い出さなかったことが分かった。二人の回答者は、鷹崎が丸尾にとって恋愛の対象とは思っていなかったため、女性キャラクターを恋愛の対象として描写することに対する意見を求めることができなかった。

5.3 視聴者の性に関するステレオタイプ的な考え方

既に述べたように『黒子のバスケ』で、リコのお父さんが夜遅くまで起きているリコに対して「熱心なのはいいけど、お肌に悪いぞ」と言う場面において、研究者はリコが女性であるため、美容に気を使うように注意されているのではないかと解釈した。そして、『黒子のバスケ』を視聴した6人の回答者に、もしリコが息子だった場合、お父さんはどんな言い方をすると思うか聞いてみた。回答者6人は全員、リコが息子であった場合は、お父さんが美容やお肌に関する言及はしないだろうという意見を出した。一般的に男性よりは、女性の方が美容に興味を持っているということが、主な理由として挙げられた。息子には同じ言い方をしないと答えたことから、「美容」を女性と結び付けて考えていることが確認できた。

『ハイキュー!!』と『FREE!』ではマネージャーが女性キャラクターであり、視聴者たちがマネージャー役を女性のもので見えてしまう傾向があるのか確認するため、該当アニメの視聴者11人に、マネージャー役が男性キャラクターだとどのような感じがするか聞いてみた。回答者たちはほとんどマネージャーが男性でも違和感がないと述べた。しかし、逆に男性がプレーしないことに疑問を抱き、何かの事情で運動ができなくなったと

いう特別な理由があると思うようになると述べていた。

5.4 女性キャラクターに対するセクハラ的な冗談に対する視聴者の意見

上述のように、研究者は『黒子のバスケ』でサツキがリコに対して「ギリギリ B の監督 リコさん」と定義する場面をセクハラだと判断した。視聴者たちはこの場面をセクハラとして意識しているのか確認するため、『黒子のバスケ』の 6 人の回答者にこの場面に対する意見を求めてみた。C、D、H、G さんは、人の身体をからかうことに問題意識を持っていたが、アニメでこのようなセリフがあることに問題意識を持っていた人は H さんだけだった。C、G さんの場合は、アニメの中でこのような場面が出ることに特に問題意識を持っていなかったが、現実世界でこのような会話が行われるとしたら、問題になると説明した。D さんの国ではこのような発言は失礼だと述べたが、D さんはサツキがリコを嫉妬しているためこのような発言をしたのではないかと述べた。A さんは同性同士の会話だったため、特に問題がないと思い、M さんは問題意識がなくアニメで一般的に見られる場面だと述べた。

6. 要約

本研究で分析を行ったスポーツ・アニメの問題点は、4 つに分けられる。①女性キャラクターの身体が浮き彫りに描写されていること、②女性キャラクターが男性キャラクターにとって、性的対象あるいは異性愛の対象（恋愛の対象）として捉えられていること、③性に関するステレオタイプ的な考えが作用していること、④会話の中でセクハラ的な冗談が行われていることである。このような問題が視聴者たちにどのような思いをさせるのかを明らかにするため、研究者は分析対象のアニメを視聴した人を探し、インタビューを行った。その結果、女性キャラクターの身体を浮き彫りに描写することに対し、否定的に捉えている人もいれば、特に不快感を覚えなかった人もいたことが分かった。また、女性キャラクターが果たしている役割とは関係なく、女性キャラクターが主に性的な対象あるいは異性愛の対象（恋愛の対象）として位置づけられていることを、ほとんどの視聴者は意識していたが、それに不快感を示した人は少なかったことが分かった。さらに、研究者は視聴者たちがマネージャー役を女性と関連付けて考える傾向があると予想していたが、予想とは違って、ほとんどの視聴者は男性がマネージャー役をしても構わないと言っていた。この結果から、マネージャー役に対するステレオタイプは必ずしも把握できなかった。しかし、男性マネージャーが現れると、その男性がプレーをしないことに対し、疑問を抱くという視聴者が何人かいたことから、男性はプレー役というステレオタイプを持っている者が多いことがわかった。最後に、スポーツ・アニメの中でセクハラ的な会話が行われることに対し、問題意識を持っている人もいたが、ほとんどの人はそこまで問題意識を持たなかった。または、アニメと現実世界を分けて考えていたため、アニメの中でこのような会話が行われることに問題意識を持っていなかったこともうかがえた。

7. 考察

本研究のアニメの分析を通し、ジェンダーの視点から見たスポーツ・アニメの問題点が

見られたが、アニメによって指摘できる要素はそれぞれ違っていた。『黒子のバスケ』では、女性キャラクターの身体を浮き彫りに描写する傾向がある反面、女性キャラクターも特別なスキルを持ち、物語の展開上で活躍していた。『ハイキュー!!』では、女性キャラクターの身体を浮き彫りにする傾向は弱かったが、女性キャラクターを男性キャラクターの性的な対象・異性愛の対象として位置づけられている傾向が強かった。『ベイブーステップ』では、女性キャラクターの露骨な身体描写やセクハラ的な冗談の会話はなかったが、女性キャラクターが恋愛の対象として位置づけられている傾向が強かった。『FREE!』では、女性キャラクターの身体より男性キャラクターの身体を浮き彫りに描写する傾向が強かったため、女性向けのアニメのように見えたが、それにも関わらず、女性を性的な対象として描くこともあった。

インタビューを通し、協力者たちがスポーツ・アニメのジェンダーの観点からみた問題点がある程度意識しているように見えた。しかし韓国人協力者の場合、日本のアニメの問題点を文化的な相違として把握している傾向がわかった。韓国のメディアでは、問題になると答えていたことから、ジェンダーの観点で問題があるというより、日本のメディアで現れていることに特に問題意識を持っていないということが考えられる。また、日本のアニメの問題点に不快感を覚えず、深く考えたことがない回答者は日本人の方が多かったことも分かった。それは、日本のスポーツ・アニメが日本の社会を反映して作られたため、当たり前のように感じていたのではないかと考えられる。このように、研究者は本研究の調査で視聴者の文化的な背景が違う場合、アニメの中で見られる問題点に対する意識も異なるのではないかと考えた。今後、文化的な背景によってアニメの受け入れ方に影響があるのかを調べていきたい。

参考文献

- 天野正子・木村涼子（2003）「女性キャラはなぜ一人？アニメや漫画におけるジェンダー」『ジェンダーで学ぶ教育』pp.42-59, 世界思想社
- 王飛・高橋光輝（2016）「フェミニズムの視点からみる日本近代アニメ」『研究報告グループウェアとネットワークサービス』2016-GN-97 巻, 第7号, pp.1-7
- 熊野七絵・廣利正代（2008）「「アニメ・マンガ」調査研究—地域事情と日本語教材—」『国際交流基金日本語教育紀要』第4号, pp.55-69
- 藤田由美子（1996）「テレビ・アニメ番組にあらわれた女性像・男性像の分析—ステレオタイプの描写の検討を中心に—」『子ども会研究』第2号, pp.33-46
- 藤田由美子（2017）「大学生はいかにスポーツマンガを読むか—攪乱的ジェンダー表象をめぐる解釈的インタビューの分析—」『福岡大学人文論叢』第49巻, 第1号, pp.275-306
- 藤村久美子・伊藤めぐみ（2004）「テレビアニメが子どものジェンダー意識の形成に及ぼす影響—内容分析と子どもへの聞き取り調査を中心として—」『人文・社会科学論集』第21号, pp.127-153

日本人とタイ人の若者における一人称の使用 —女性の使用傾向を中心に—

アサワヴェットウット ジャイサイ

1. はじめに

日本語には英語や中国と異なり様々な一人称があり、性別によっても一人称が変わる。さらに、性別により多く用いられる一人称が存在する。例えば、男性なら「僕」「俺」、女性なら「あたし」「うち」などがあり、両性で使える語の一例は「私」である。タイ語も同様で、男性は“p^höm”、女性は“n^uu”、“di c^hän”などがその例だ。さらに上下関係によっても異なる一人称が使われることがある。日本語の場合、親しい人には「俺」「うち」などを使い、親しくない人には「わたし」「わたくし」を使うこともある。タイ語の場合、目上の人と話す際“p^höm”“di c^hän”を使い、年下の人には“p^hi”を使うのが一般的である。

相手に対する一人称の使用だけで人と人の関係がある程度わかる。しかし、日本語学習者の多くは、どんな場面でも、性別によらず自分を示すのに「わたし」を使う傾向がある。日本語学習者のタイ人にもその傾向がみられる。タイ語では男性語の「僕」「俺」と似たような言葉があるが、女性語の「あたし」「うち」に似ている言葉がない。したがって、日本語学習者のタイ人の男性は自分の事を言及するために「僕」を使うが、女性は「あたし」や「うち」などはほとんど使わない。この状況を踏まえ、本稿では、日本人と日本語学習者のタイ人のそれぞれの一人称使用傾向、並びに、特定の場面でその一人称を選んだ理由を明らかにすることを目的にする。

2. 先行研究

2.1 あたし・うちのイメージ

山西・山田 (2008) は、『日本国語大辞書』第二版 (2000 小学館) によると、「あたし」(わたしの変化した語) は、自称で主として女性が用い、ややくだけた語感を持つとし、さらに、『あたし』が女性たちの『素直な自分』を伝える手段であるとしている。

「うち」の使用については様々な記述がある。西川 (2011) では、「若い女性たちが、フォーマリティが低く、比較的使用しやすい『うち』を使うことによって、自分のアイデンティティを示していることは、『わたし』とも『名前』や『愛称』を使うことも異なる世界を構築していることを示すものである」(p.97) と述べている。村中 (2015) は「ウチは、同じく私的場面でよく使われるアタシと比べても、私的ニュアンスがより強いように思われる。また、これは仮説にとどまるが、ウチはアタシに比べてより強く、女性を表すのではないか」(p.74) と述べている。このように、一人称としての「うち」は若い女性がよく使う一人称である可能性が考えられる。

2.2 日本人大学生の一人称の使用

野原・松田 (2014) によると、日本人大学生の女性は主に「うち」と「わたし」と使うそうである。「うち」を使い始めた時は小学生で、身近な人が同じ言葉を使っていたから、

という理由が多いらしい。「わたし」は人により、幼稚園から大学までそれぞれ使い始めた人が多かったそうである。その理由は「わたし」は一般的だからという理由が多い。一人称の使い分けとして、日本人女性の大学生は目上の人に対し、丁寧な一人称の「わたし」を使う傾向が高く、家庭内では自分の名前や愛称などを使う人が多いそうである。

2.3 タイ語と日本語の一人称の使用の考え

スィリアチャー・上原（2016）によると、日本語は一人称をあまり使わない文化言語であるとのことである。逆に、タイ語は日本語より一人称の使用傾向が強いそうである。理由は、日本では一人称をたくさん使うと、自己主張が強い人にみられてしまうからであると分析している。そのため日本人が会話している際、できるだけ一人称の使用を避けている（鈴木、1973）一方、タイ語では一人称を使ったほうがより丁寧であるとされる。特に目上の人と会話する際、一人称を使わないと、敬意が重視されていないと思われる可能性がある（シンカリーン、2002）。

3. 研究課題

先行研究により、タイ人と日本人の一人称の使用の仕方に対する考えが異なっているということがわかる。私は日本語学習者のタイ人であるが、日本語学習者のタイ人が日本人のように一人称の使い分けができるか知りたいと思っている。よって、今回の研究は、日本語学習者のタイ人と日本人の大学生の一人称の使用傾向を比較するという研究課題を立てた。比較を通して、タイ人と日本人の人との関係に関する考え方がわかるようになると思われる。さらに、タイ人の日本語教育に示唆を与えることができると考える。

4. 研究方法

調査対象者はタイ人5人と日本人5人の女子大学生である。タイ人は日本語学習者で、中上級から上級レベルを対象とした。中上級と上級の日本語能力であれば、様々な一人称の違いをある程度認識できるであろうと推測したからである。調査は協力者と Skype で接し、インタビューを行った。協力者は全員筆者の知人で、直接連絡してインタビューを依頼した。まず協力者の個人情報を確認した。タイ人の場合は日本語能力と来日経験であり、日本人の場合は出身を聞いた。これらの個人の背景によって一人称の使い方が違うかもしれないと推測したためである。そして自分のことや自分たちのことを他の人に話す時、最もよく使用される一人称は何か、その一人称を使う理由やきっかけを聞いた。

次にそれぞれの相手にどの一人称を使うのか把握するためにロールプレイをしてもらった。ロールプレイは協力者が場面を容易に想像しやすくするため選択した。ロールプレイは先生、友人、先輩、後輩を相手とする、三つの場面がある。話す人の状況や感情で一人称が変わる可能性があるため、この三場面を取り上げた。依頼場面の内容は小島（2012）の質問を参考にした。以下その一例を示す。

● 依頼場面のロールプレイ

（先生、友人、先輩、後輩）が「誰か隣の部屋から本を持ってきてくれない？」と言いま

した。あなたが取ってきてあげようということを伝えたいとき、次の聞き手に対してどのような一人称を使いますか。

日本人の先生から頼まれた場合。どのように答えますか。

「() が取ってきます。」

日本人の友人から頼まれた場合。以下にどのように答えますか。

「() が取ってくる。」

日本人の先輩から頼まれた場合。以下にどのように答えますか。

「() が取ってきます。」

日本人の後輩から頼まれた場合。以下にどのように答えますか。

「() が取ってくる。」

● 謝罪場面のロールプレイ

あなたはあるミスを犯して、(先生、友人、先輩、後輩)を不快にさせてしまいました。次の聞き手に対してどのような一人称を使いますか。

日本人の先生に謝る場合。どのように答えますか。

「() が悪かったです。」

日本人の友人に謝る場合。以下にどのように謝りますか。

「() が悪かったです。」

日本人の先輩に謝る場合。以下にどのように謝りますか。

「() が悪かったです。」

日本人の後輩に謝る場合。以下にどのように謝りますか。

「() が悪かったです。」

● 断り場面のロールプレイ

(先生、友人、先輩、後輩)に様々な所に誘われました。しかしその日あなたの都合が悪くて、断らなければなりません。次の聞き手に対してどのような一人称を使いますか。

日本人の先生に学会に誘われた場合。どのように答えますか。

「都合が悪くて、() は行けなくなりました。」

日本人の友人にコンサートに誘われた場合。以下にどのように答えますか。

「都合が悪くて、() は行けなくなった。」

日本人の先輩にコンサートに誘われた場合。以下にどのように答えますか。

「都合が悪くて、() は行けなくなりました。」

日本人の後輩にコンサートに誘われた場合。以下にどのように答えますか。

「都合が悪くて、() は行けなくなった。」

これらのロールプレイで一人称を選んでもらった後、なぜその一人称を選んだのかの理由をすべての項目で聞いた。

さらに、日本語学習者のタイ人と日本人学生の回答のデータを比較し、タイ人日本語学習者はどの程度理解して一人称を使用しているのかを明らかにした。

5. 分析結果

ここでは質問1のタイ人と日本人の普段使用している一人称の結果を示す。質問1は自分のことを他の人に話す時、最もよく使用される一人称は何かである。そしてその一人称を使うきっかけや理由は何か調査協力者に聞いている。

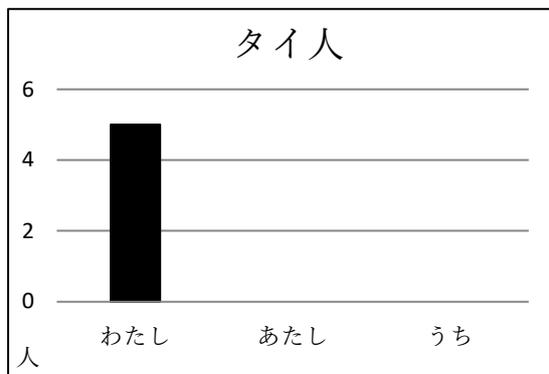


図1 タイ人の普段使用する一人称

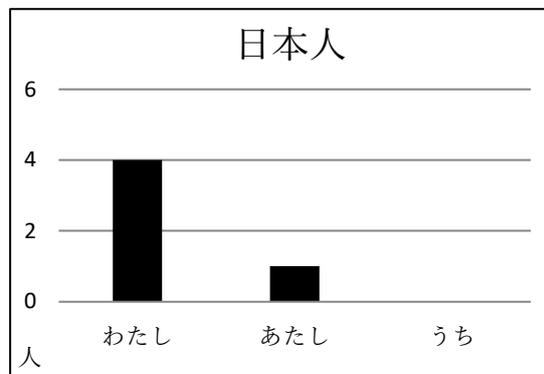


図2 日本人の普段使用する一人称

図1はタイ人日本語学習者が普段使用している一人称の結果を示す。タイ人は、全員が日本語を使用する際に「わたし」を選んでおり、日本語を勉強し始めてから常に「わたし」を使っていたからという理由を挙げた。

一方、図2では日本人の大学生が普通に使用している一人称の結果を示す。4人が自分のことを「わたし」と呼び、1人が「あたし」を選んだ。多くの日本人の回答者は昔、自分のことを「自分の名前」や「うち」など使って表現していたが、大きくなるとそれを使うと子供っぽく見られるので、「わたし」に変えたそうだ。「わたし」は幅広く使え、しっかりした印象に聞こえるそうだ。

5.1 依頼場面のロールプレイの結果

図3はタイ人が依頼場面に使用する一人称を示す。この質問は「(先生、友人、先輩、後輩)が『誰か隣の部屋から本を持ってきてくれない?』と言いました。あなたが取ってきてあげようということを伝えたいとき、次の聞き手に対してどのような一人称を使いますか。」である。

タイ人は全員先生に「わたしが取ってきます」のように「わたし」を使用すると答えた。先生に「わたし」を使う理由は「丁寧な言葉だから」や「先生は目上の人だから」ということである。友人に「わたしが取ってくる」と「わたし」を選んで答えた人は4人である。友人に「わたし」を使う理由は「わたしという言葉は幅広く使えるから」という理由が多かった。「日本人にあまり親しすぎないようにわたしを使っている」という理由もあった。一方、「あたし」を選んだ1人は、「日本人ともっと親しくするため」という理由を挙げた。さらに、タイ人は先輩に全員「わたしが取ってきます」を利用するという結果になった。理由は先生と同じく、「先輩は目上の人だから」という理由が多かった。最後に後輩に対して、タイ人は全員「わたし」を使用するという結果になった。「後輩はそんなに親しくない存在だから、わたしが一番使いやすい」や「わたしは親しすぎないように聞こえるから」

という理由であった。

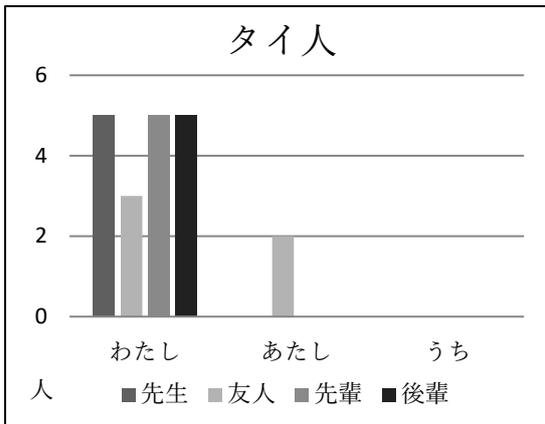


図3 タイ人が依頼場面に使用する一人称

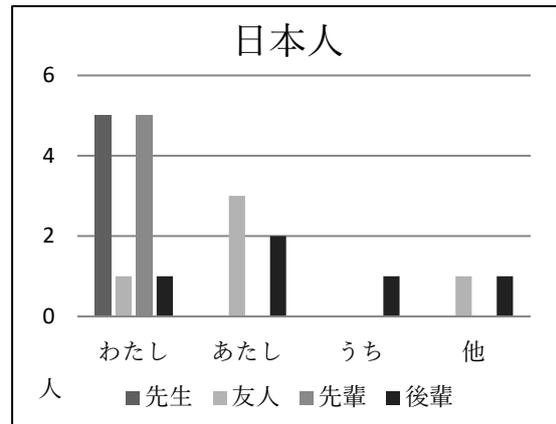


図4 日本人が依頼場面に使用する一人称

図4は日本人が依頼場面に使用する一人称を示す。先生に対して、全員「わたしが取ってきます」のように「わたし」を使用する傾向が見られた。理由は「先生は目上の人だから」や「丁寧に聞こえるから」が多かった。そして、友人に対しては、3人が「あたし取ってくる」のように応答すると回答した。友人と一緒にいるとき、「あたし」の方が親しく見え、自分らしさも相手に感じさせられるからだそうだ。一方「一人称を使わない」と答えた人は1人であった。友人に一人称を使うと、自分のことをもっと強調してしまうため、相手に硬い印象を感じさせたくないからだそうだ。先輩に対しては、日本人全員が「わたしが取ってきます」と表現するという回答になった。理由は、先輩は尊敬すべき人だから、「わたし」が一番丁寧に聞こえるため適切だと考えているそうだ。最後に、後輩に対して、最も選ばれた一人称は「あたし」であり、「あたしが取ってくる」(3人)を使用するという結果になり、他には「わたし」を用いる、「一人称を使わない」がそれぞれ一人に選ばれた。「あたし」を選んだ人の答えによると、「あたし」を用いることで、後輩との間の緊張感を和らげ、親しく感じさせられるからだそうだ。

5.2 謝罪場面のロールプレイの結果

図5はタイ人が謝罪場面に使用する一人称を示す。この質問は「あなたはあるミスをして、(先生、友人、先輩、後輩)を不快にさせてしまいました。次の聞き手に対してどのような一人称を使いますか。」である。

タイ人は全員先生に「わたしが悪かったです」のように「わたし」を使用する。理由は「先生は目上の人だから」、「真面目で丁寧に聞こえるから」などだ。友人に対しては「わたしが悪かった」のように「わたし」と答えた人は4人である。理由は「わたし」が真面目に聞こえて、本当に謝っていると思うからそうだ。一方「(自分の名前)が悪かった」と答えた人は1人いる。自分の名前と言うと、可愛く見え、相手の怒っている気持ちが収まるかもしれないからだそうだ。そして、先輩に対しては、全員「わたしが悪かったです」を選んだ。理由はほぼ先生と同じく、「目上の人だから」や「丁寧に聞こえる」などだった。最後に後輩には全員「わたし」を選び、「わたしが悪かった。」と答えるそうである。タイ

人にとっては、後輩はそれほど親しい存在ではないので、幅広く使える「わたし」が一番適切だそうだ。一方、「あたし」と「うち」はどんな相手でも使われなかった。

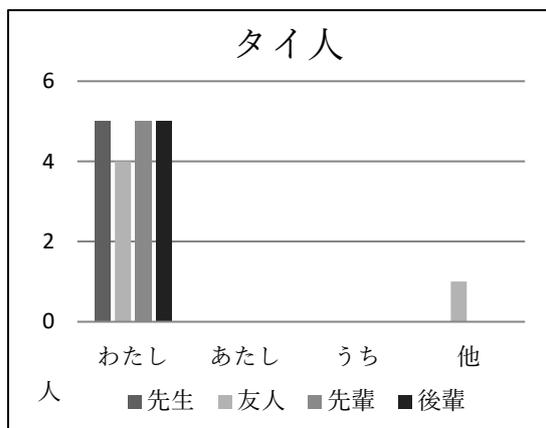


図5 タイ人が謝罪場面に使用する一人称

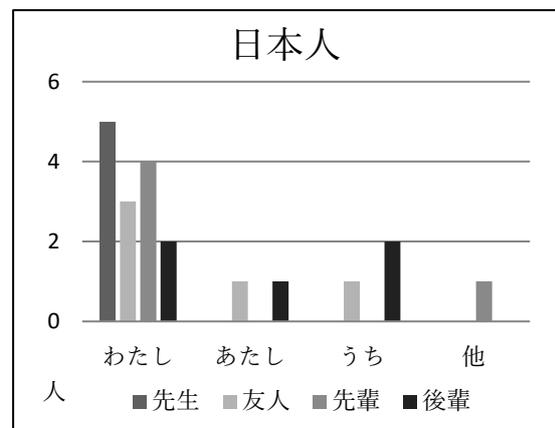


図6 日本人が謝罪場面に使用する一人称

図6は日本人が断り場面に使用する一人称を示す。日本人は先生に謝るとき、「わたしが悪かったです」のように「わたし」を最も使用する。理由は、謝罪の際は、特に目上の人に対して一番丁寧に聞こえる表現で、かつ反省している意図を表明するために、「わたし」を使うべきだと考えているそうである。友人に対しては、「わたしが悪かった」のように「わたし」が最も使用される（3人）。理由は本当に真剣な気持ちを表し、きちんと謝っていることを表現したいからだそうだ。他に「あたし」と「うち」を使う人も1人ずついた。これは「わたし」を使用する人と反対に、友人だからそんなに畏まって謝らなくともいいと考えたそうである。そして、先輩に対して、「わたしが悪かったです」のように「わたし」を使用する人は4人である。これは先生と同じ理由で、目上の人だから、きちんと「わたし」を使うべきだと考えたそうだ。しかし、「自分が悪かったです」と答えた人もいる（1人）。「自分」は発言者をより強調し、本当に自分が犯したミスを自分が受け取っていることを表せると考えたそうである。最後に、後輩に対して、「わたし」と「うち」は同じく2人が選び、「あたし」を1人の回答者が選んだ。まず、「わたし」を使用する理由は本当に反省しているからとのことである。次に「うち」と「あたし」は後輩に重い空気を作りたくないから、親しく見える「うち」を使用したと回答した。

5.3 断り場面のロールプレイの結果

図7はタイ人が断り場面に使用する一人称を示す。この質問は「(先生、友人、先輩、後輩)に様々な所に誘われました。しかしその日あなたの都合が悪くて、断らなければなりません。次の聞き手に対してどのような一人称を使いますか。」である。

タイ人は先生に対して、他の場面と同じく全員「わたしは行けなくなりました」のように「わたし」を選んだ。理由はやはり先生は目上の人だから、「わたし」が一番丁寧であるという考えが多かった。友人に対しては、「わたしは行けなくなった」のように「わたし」という選択を3人が選んだ。これは謝罪場面と同じで、反省の気持ちを感じているから、丁寧に「わたし」を使ったほうがいいと考えたそうである。さらに「あたしは行けなくな

った」のように「あたし」と答えた人は1人であった。その回答者にとって、「あたし」を使えば、畏まらなく聞こえるからだそうである。他に「一人称を使わない」という意見もあった。もう既に親しい人だから、わざわざ一人称をつけると重く感じるから使わないそうである。そして、先輩に対し、先生と同じく全員が「わたしは行けなくなりました」と答え、理由も先生と同じであった。一方、後輩には「わたしは行けなくなった」と4人が回答した。後輩はそこまで親しくない存在だから、一般的に使える「わたし」を選んだそうである。一方、1人が「一人称を使わない」と答えた。一人称を使うと、硬い表現になってしまうからだそうである。

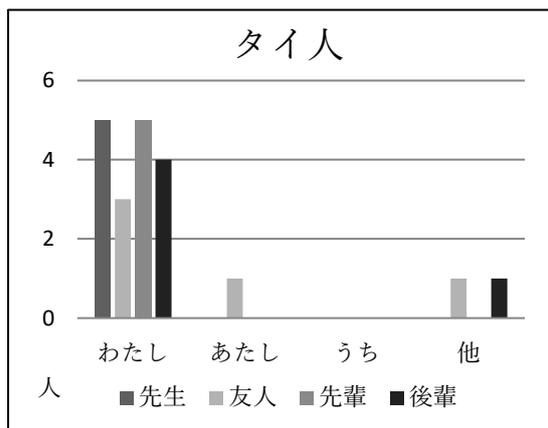


図7 タイ人が断り場面に使用する一人称

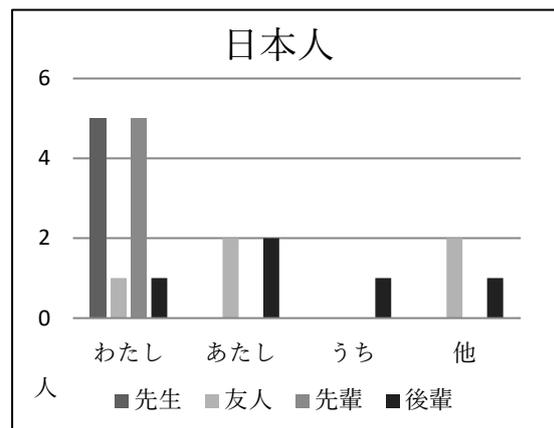


図8 日本人が断り場面に使用する一人称

図8は日本人が断り場面に使用する一人称を示す。先生に対しては、日本人全員が「わたしは行けなくなりました」という選択肢を選んだ。理由は他の場面と同じように、先生は目上の人だから、「わたし」を使うべきということである。友人に対しては「あたしは行けなくなった」と答えた人数は2人であった。少し反省する気持ちがあるが、親しい人に「わたし」を使うと固く聞こえるから「あたし」を代わりに使うそうであった。しかし、きちんと反省している気持ちを表すため、「わたし」を使うと答えた回答者が1人いた。他に一人称を使うと、重い空気になってしまうから「一人称を使わない」と答えた人も2人いた。また、先輩に対しては先生と同じく、全員目上の人に使える「わたしは行けなくなりました」を選んだ。後輩に対しては、断り場面で最も選ばれた一人称は「あたしは行けなくなった。」(2人)である。他に「うちが行けなくなった」や、「一人称を使わない」と選んだ回答者が1人ずついた。理由はほぼ同じで、後輩に対して重い空気を生みたくないから、軽く聞こえる「あたし」や「うち」などを選んだそうである。逆に、自分が約束を守れないから、真剣で反省な気持ちを含める「わたし」を使ったと言う者もいた。

6. まとめと考察

日本人とタイ人は他の人と話すとき、主に自分のことを「わたし」を使用する傾向が示された。「わたし」という一人称は幅広く使え、どんな相手にも適切だと思われる。本調査では、先生に対しては、どんな場面でも、日本人とタイ人ともに必ず「わたし」を選んで

いた。理由は先生が目上の人だからだそうである。友人に対しては、タイ人は主に「わたし」を使っていた。理由は「わたし」という言葉が幅広く使えるからということや、相手に失礼にならないためであった。「わたし」を使うのは一番安全だと感じるそうである。一方、日本人はほぼ「あたし」を使っている。「あたし」は「わたし」より固くなく、親しみを感じるからであるようだ。しかし、謝罪場面の時に、「わたし」の方が反省の気持ちを込められるからという理由で、「わたし」を使用する者も多かった。

先輩に対してもタイ人と日本人は先生と同じく、主に「わたし」を選んでいて、これに対して、後輩に対しても、タイ人は主に「わたし」を使っていた。タイ人にとって、後輩は親しくない立場だから、とりあえず「わたし」を使うのは安全という理由であった。一方、日本人は友人と同じく後輩に対して様々な一人称を使用している。後輩に緊張感を持たせないため、親しく聞こる「あたし」や「うち」を使用しているという回答であった。これらの結果から、後輩とのやり取りにおいて、タイ人日本語学習者と日本人の一人称の使用の考えに違いがあるとわかった。

本研究はタイ人と日本人が相手に対してどの一人称を選ぶか、そしてその理由を分析した。タイ人は主に内・外の考えを使って、一人称を使い分けている。一番見られる例は「後輩」である。本調査のそれぞれの場面を観察してみると、多くのタイ人は日本人の後輩に対して、「わたし」を使うと述べていた。そしてほぼその理由は後輩がそんなに親しくない存在だからと述べている。さらに、日本人の友人に対してもそうだ。日本語学習者のタイ人は日本人の友人との関係を気遣って、失礼にならないように、「わたし」を使用するのが一番適切だと思っているようである。

また、日本人は上下関係を考えて、一人称を使い分けている。本調査のグラフを見ると、目上の人（先生、先輩）に対して、頻繁に「わたし」を選んでいて、そして自分と同程度の人（友人、後輩）には様々な一人称を使用している傾向が示された。

7. おわりに

今回のインタビュー調査の分析を通して、タイ人日本語学習者と日本人の女子大生の一人称の使用の違いが明らかになった。多くのタイ人はよく「わたし」を使っているが、日本人は様々な一人称を使っている。しかしいずれにしても、一番よく使われていたのは、一般的に使用できる一人称である「わたし」であった。

本研究の課題は、タイ人も日本人もその一人称を使用した理由を尋ねた時、自分の感覚で自然に使っているから、理由を説明するのが難しかったということである。場面を設定しても、相手に使う一人称の理由はほぼ同じであった。将来また日本に関して研究する機会があれば、もっと様々な一人称の使用について調べたいと考えている。女性語だけでなく、男性語の「俺」や「僕」の使用についても今後の課題にしたいと思っている。

参考文献

小島玲子 (2017) 「女子大学生の自称詞使用の変化—2001年と2011年を比較して—」、『桜花学園大学保育学部研究紀要』, 第16号, pp.65-77

- スィリアチャー ロイケオ・上原 聡 (2016) 「対訳コーパスを使った日本語とタイ語における一人称表現使用の対照分析—漫画における一人称表現の出現数を中心に—」『言語処理学会 第 22 回年次大会 発表論文集』, pp.1117-1120
- シンカーリン・カノック (2002) 「社会的な観点から見た日本語とタイ語におけるゼロ代名詞」『藝文研究』第 82 号, pp.186-201
- 鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』岩波書店
- 西川由紀子 (2011) 「女子学生の自称詞の使い分け：わたし・うち・名前」『研究紀要（華頂大学）』, 第 56 号, pp.91-99
- 野原加奈子・松田勇一 (2015) 『大学生の一人称の使用についての研究』
- 村中淑子 (2015) 「関西方言の自称詞・対称詞に関する覚え書き」『現象と秩序』第 3 号, pp.69-80
- 山西正子・山田繭子 (2008) 「『あたし』考」『目白大学人文学研究』第 4 号, pp.183-200

日本映画の小説化—意義と分析—

カテーナ エロイーザ

1. はじめに

「読んでから見るか、見てから読むか」というキャッチフレーズが流行しているそうである（藤元 2012）。そのフレーズを使って、出版社、および、映画制作会社は自社の作品を宣伝し、聴衆を魅了しようとしている（Van Parys 2011）。小説から映画が製作され、あるいは、映画・アニメから書物が作り出される。それによって、アダプテーション（改作）という分野が発達し、映画と文学の世界は次第に緊密な関係を持つようになってきた。特に、現代の文化では、執筆作品が支配する文化から、視覚的な作品が支配する文化への移り変わりが起こり、ビジュアルを重視した文化が広まってきた（Baetens 2005）。そこには、執筆の文化と視覚的な文化との関係を仲介し、映画を小説化するという文芸ジャンル、いわゆる、ノベライゼーションが含まれており、ビジュアル文化の反撃だと考えられているが、実際は反撃ではなく、その文化の成果としても考えられている（Baetens 2005）。小説化は、商業文学の作品として見なされているが、アダプテーションの分野の中でまだ深く分析されておらず、日本では学問的に取り扱うべき作品としてまだ認められていない。

本研究では、映画の黎明期から長い歴史を持つ小説化という現象の分析を試み、近年の世界的規模での発達についても考察した。小説化は文学と映画との橋渡しをするため、その分析を通して小説化の要素や特徴が明らかになり、映画と小説の相違点、また、映画と文学の関係もさらに理解を深められると考えた。特に、小説化の歴史や先行研究を参考にすると共に、日本の例として、近代的なアニメーション映画とその小説化を比較して分析することにした。小説化の分析を通して、特に日本のアニメーション映画と文学との関係の理解を深め、日本文学の新しい分野を広げることができると期待している。

2. 小説化とは

「メディアミックス」は、ある作品が TV アニメーション化、ゲーム化、映画化、小説化し、多様化して展開していく現象のことである。その原作の認知度を高めるために、上記の様々な種類の作品が制作されている（野口 2017）。それに従って、原作のファンは、原作だけではなく、様々な形で同じストーリーを楽しめるという魅力にも惹かれているようである。そのメディアミックスには小説化という独特な小説のジャンルが含まれている。

小説化というのは、映画と関係を持つ作品の一つの種類である。映画と関係を持つ小説の中には、映画化されるための映画小説である「原作小説」と映画に登場したキャラクターたちに関する続編の「オリジナル・ストーリー」があるが、小説化は、映画、または、シナリオ（脚本）の改作である。つまり、小説化は、映画に密接に従属して執筆された小説であるため、映画との関係は「従者と主人」の関係であると考えられる（波戸岡 2020）。そして、普通の小説と異なり、小説化は起点が作者の着想ではなく、出版社や映画制作会社などが立てた計画であることが多い。小説化には内容よりブックカバーやキャッチフレ

ーズなどの映画に関する表面的な要素に大事な役割があり、そのため、学問的な分野での分析の開始は最近になってのことであり、商業文学に所属する作品、あるいは、ファン向けの大衆小説だと見なされることも多い (Baetens 2005)。更に、小説化の作品は、映画公開にあたって出版されるため、映画が成功しなかった場合、小説化も成功する見込みはない。一方、成功を取めた場合でも、上映期間終了後に、小説がもう一度増刷されることはほとんどないようである。そのために、小説化という現象における小説は、映画と競合することがなく、目立たないように存在する文学だと考えられている (Baetens 2005)。

そのために、Baetens (2005) によると、小説化の中で生まれる作品には内部的な制限 (例えば、ブックカバーやタイトルなど) だけではなく、外部的な制限もあるそうである。その外部強制の種類は Law (法律)・Technology (技術)・Market (市場)・Organizational Structure (組織)・Occupational Careers (職業) である。まず、Law の制限は、自分が立てた作品計画ではないため、小説化を書く執筆者は自由にそれを書く権利がないという制限である。そして、Technology の制限は、小説化をするための技術によって映画を小説化する方法も変わるという意味である。また、Market の制限は、小説化の成功には、売り上げのみならず、原作のファンも積極的な役割を持っているという意味である。Organizational structure の制限は、作者より出版社や映画制作会社の決定が厳格であるということである。さらに、Occupational careers の制限は、小説化を書くという活動がまだ職業として認められていないという意味である (Baetens 2010)。端的に言えば、小説化されることが予定されている映画の小説を書く執筆者は自分の着想よりも編集者や映画のファンのために働いていると考えられ、さらに、自分が書いた作品に著作権さえもない状況で仕事に従事しなければならないことも多い (Baetens 2010)。

しかし、小説化は近代的な現象ではなく、長い歴史を持っている。実は映画の誕生と同時に作られ始めており、小説化の歴史は映画の歴史と重なる部分が多い (波戸岡 2020)。20 世紀の初めには、世界中で活動写真という最初の短編映画の普及に伴い、カタログという映画の説明書も作り出されたようである。当時、制作された映画が全て上映されていたわけではなく、大衆の興味、または、当時の慣習によって、提示者が上映できる映画を選択したそうである。つまり、提示者は映画を選択してその上映を許可するという大事な役割を持ち、活動写真という最も初期の映画を提示する人もあった。そのために、映画が上映される前に、提示者に映画を紹介して説明する必要があり、映画制作会社に関連していた執筆者によって、カタログという説明書が初めて書かれたようである。そのカタログの主な特徴は映画作品の擬態物であったそうである。換言すれば、カタログは映画から自立せずに、できるだけ映画の内容とシーンをまねることを志向した文章であったため、書物としての価値がなかったようである。このように、最初の小説化作品は映画の上映前に執筆され、文学的ではなく、サンプル的な文章として作られていたので、改作というより映画を翻訳してみたという程度の文章だったそうである。しかし、1910 年代に、映画が制度的に承認され始めたため、より文学的で、映画から自立した小説版が現れたそうである (Gaudreault & Marion 2005)。特に、連続映画 (英語で Motion Picture Serials) というサイレント映画が人気を博していた 1910 年代のアメリカでは、内容を小説にする最初の小説化の

現象が出回ったそうである（波戸岡 2020）。当時は世界においても日本においても DVD やホームビデオなどがなく、映画は長い間残されるものではなかったため、ファンや聴衆がより長く作品を楽しむために小説版という作品が作り出されたようである（藤元 2012）。

また、当時の日本には、映画観るだけでは十分ではなく、内容が理解できないという考え方があったので、映画雑誌には映画の解説文が載っていた。その雑誌の目的は聴衆に映画を説明して映画の「お土産」を渡すということであった。特に、映画を小説にするための詳細な内容を調べるために、記者が映画館で何回も同じ映画を視聴する必要があったようである（Gerow 2000）。聴衆が映画という新しい文芸ジャンルを理解するために、小説という既存の文芸ジャンルの介入が必要であったそうである。簡単に言うと、日本では小説の支援なくしては当時の映画そのものが鑑賞できないと考えられていた。そして、日本における初期の小説化は、輸入された映画を小説化したものだったそうである（波戸岡 2020）。例えば、その最初のエポックメイキングとなったのが、1911 年に上映され、ブームとなった『ジゴマ』というフランス映画であった（藤元 2012）。その連続映画が最初の小説化の対象となり、当時、その映画に関する非公式なノベライゼーション作品が色々と出版されたため、その「ジゴマブーム」において、「メディアミックス」という現象が初めて本格的に出現してきたそうである（波戸岡 2020）。こうして、初期の小説化の使命は、映像を文章に置き換えるというメディア間の翻訳行為であるのみならず、海外の物語を自国の物語に置き換えるという文化的な翻訳行為でもあったのである。かくして、大正期の日本では、小説化が一般化されたようである（波戸岡 2020）。

そして、1970 年代には、映画市場に求められた結果、原作小説なしのオリジナル映画、すなわち、小説からではなく独創的なシナリオから作り出された映画と小説版は、原作小説として同等の役割を果たすということになったそうである。同じ頃日本では、「読んでから見るか。見てから読むか」というキャッチコピーが誕生して、映画作品と原作小説、あるいはその小説化をセットにして売り込んでいく角川書店の商法が、日本で標準の商法になっていった（波戸岡 2020）。かくして、出版社である角川書店は、映画の公開と同時に文庫と主題歌を売るという映画、小説、音楽の 3 つのメディアによる同時の「メディアミックス」を初めて製作した（野口 2017）。

概していえば、「メディアミックス」に絡んでいる小説化という文学的な現象は、長い歴史を持っているジャンルというだけではなく、視覚的（ビジュアル）な文化と執筆の文化との出会いの成果であるということも考えられている（Baetens 2005）。更に、視覚的な世界が技術的進歩により変わっていくにしたがって、小説化の種類も徐々に増え、映画のみならず、テレビドラマ、マンガ、ビデオゲームなどに広がってきた（Van Parys 2011）。そのために、近年、小説化は学术界の注目も徐々に集めているようである。特に、アニメとマンガで世界的に有名である日本では、アニメーション映画の小説化も人気が出てきたようである。

3. 研究課題

以上の理由から、特定の映画とその小説化作品の比較により、小説化の基本的な要素や

特徴が明らかになるのではないかと考えた。そして、その分析を通して、映画と小説版の相違点を明らかにすることにより、文学と映画との関係について理解をさらに深められると考えた。特に、日本の小説化の傾向を分析するために、世界的に有名である日本のアニメ映画とその小説化を扱うことにした。扱ったのは、2000年代以降、日本アニメ映画界で大ヒットした2013年公開の新海誠監督のアニメーション映画『言の葉の庭』と監督が自ら書いた同タイトルの小説版、そして、2001年公開のスタジオジブリ制作の長編アニメーション映画『千と千尋の神隠し』とその同タイトルの小説版である。

今回注目する作品を具体的に分析するために、世界で出版された小説版の例を挙げた先行研究を整理し、それを参考に、作品の分析を行った。特に、先行研究と異なり本研究は日本の小説化の例を挙げ、日本アニメーション映画の小説化の分析を初めて試みる。

4. データと分析手続き

日本アニメーション映画の範囲は幅広く、毎年のように様々な作品が公開されている。その中には、小説化という現象を分析することができる作品が数多く見つかると考えられるが、本研究では、『千と千尋の神隠し』と『言の葉の庭』を選ぶことにした。

『千と千尋の神隠し』と『言の葉の庭』は世界的に有名で、日本アニメ映画として傑作だと考えられているが、関係のある小説化作品があまり知られていないようである。しかも、それらの作品は、映画との相違点のみならず、映画を小説化する二つの方法を示す好例であるといえる。『言の葉の庭』の小説化の場合、一般的な小説と同じような特徴を持つ小説化であるのに対して、『千と千尋の神隠し』の小説化の場合、小説より漫画の方の特徴が目立つので、漫画化という小説化のサブジャンルであると考えerほうが適切だろう。そのために、この二つの映画と小説版との分析から、日本アニメ映画の小説化の特徴と種類への理解を深めるのみならず、小説化の傾向、そして、日本でしか見られない漫画化と小説化との相違点を分析できると考えた。そのため、日本映画（特に、アニメーション映画）と文学との関係を改めて分析し、日本の小説化の調査のために、『千と千尋の神隠し』と『言の葉の庭』という近代的な作品を分析することは意義深い試みだと考えた。なぜなら、『千と千尋の神隠し』は漫画で有名である日本の小説化サブジャンル（漫画化）を分析する機会となるのに対して、『言の葉の庭』は映画監督が小説化作品も作ったという特徴があり、それらの傾向を分析する機会となるからである。特に、それらの比較により、Baetens (2005) が述べているように、小説化における内部と外部制限を整理できると考えた。

映画とその小説化を分析するために、まず『言の葉の庭』と『千と千尋の神隠し』の小説化版を通読した。その時、小説の構成、人物の感情・記憶・話し方、ストーリーの描写の観点から興味深い部分に傍線を引き、その小説の内容がどのような印象を与えるかという点にも注目した。例えば、『言の葉の庭』の場合、小説化の中でストーリーを語る人物とその視点が章ごとに変わるため、章ごとに語り手の人物と主人公の感情・経験というポイントに注意を向けて、語り手と主人公との相違点を探した。それに対して、『千と千尋の神隠し』の漫画化においては、人物のセリフ、および、擬音語・擬態語・擬声語に注目した。そして、映画版を視聴した後で、小説化版と比較し、小説化にあるのに映画に出現しない

シーンや会話にも注目した。映画と小説化の共通点と相違点を調査し、リストを作成した。その共通点と相違点から、Baetens (2005) が述べた内部と外部制限の有無を明らかにし、映画を小説化する方法に関して作品の間でも相違点があるということも明らかにした。そのリストから小説化の種類・特徴について整理し、そして、なぜ映画とその小説化の間にその相違点があるのかという理由、また、歴史的な例に関しても、集めた論文のヒントを参考しながら、考察した。分析方法を整理すると、次のとおりである。

- 1) まず、『千と千尋の神隠し』と『言の葉の庭』を通読・視聴し、相違と共通点をリスト化する。その相違の理由も予測する。
- 2) 次に、相違と共通点から、これらの作品の内部と外部制限を探してリスト化する。
- 3) 最後に、映画と小説の上記制限を比較して傾向や特徴を明らかにする。

5. 『言の葉の庭』についての紹介と分析

デジタル映像の時代に国内外の若者に絶大な影響を与えてきた新海誠が監督した『言の葉の庭』というアニメーション映画は2013年に公開された。そして、同タイトルの小説版は、新海誠監督に執筆され、角川文庫の監修によって2016年に初めて出版された。言い換えれば、『言の葉の庭』は監督がアニメと小説の両方を担当した作品である(西田谷 2017)。新海誠監督によると、

「恋」は「孤悲」と書いた。(略) かつて日本には恋愛はなく、ただ恋があるだけだった。本作「言の葉の庭」の舞台は現代だが、描くのはそのような恋(愛)に至る以前の、孤独に誰かを希求するしかない感情の物語だ。誰かとの愛も絆も約束もなく、その遙か手前で立ちすくんでいる個人を描きたい。(略) すくなくとも「孤悲」を抱えている人をカブげることが叶うような作品を目指している。(新海誠 2012年12月24日)

このように、『言の葉の庭』の映画と小説版の両方とも、その「孤悲」の気持ちがストーリーラインを形成している作品である(西田谷 2017)。

5.1 あらすじ

『言の葉の庭』のあらすじは、新宿御苑の日本庭園東屋で、靴職人を志す高校生の秋月孝雄が、味覚障害がある雪野百香里という日本古典文学教員と出会うことから始まる。その時から、孝雄と雪野は、お互いに相手の素性も知らないまま、約束もないまま、庭園で雨の日だけの交流を続け、次第に相互に惹かれていく物語である。

5.2 映画と小説化の分析

『言の葉の庭』は映画監督が映画と小説の両方を作った例である。つまり、監督は自分の作品を再び仕上げ、他の文芸ジャンルに改作することを決めたのである。それは、不完全な点を改定するためであるか、作品のファンを楽しませるためであるかは不明であるが、一つの作品で十分と考えない、監督のバイリンガルな態度が明らかになるのである。二つの言語を同様に使えるように、二つの文芸作品を通して、監督は自分の考えたストーリーを次のように語っている。

自分の監督作を自分でノベライズさせていただいた、ということになる。ただし、原作となる映画は孝雄と雪野ふたりの視線のみからなる四十六分の中編だったが、本小説版では語り手を増やし、映画であったとしたらおそらくはとて二時間に収まらないボリュームで、新たに組み立て直した。原作映画をご覧いただいた方もそうでもない方にも、お楽しみいただける本にしたつもりである。(新海誠 2014 p.385-386)

『言の葉の庭』のあとがきで、このような言葉を通して、新海誠監督は映画と小説化との主な相違点を説明している。つまり、映画と小説におけるストーリーと人物はほぼ同じであるが、ストーリーの語り方や人物の紹介の仕方が違うということである。特に、46分の映画におけるストーリーが主人公の秋月孝雄の視点だけから語られていることに対して、396 ページの小説化の作品では章ごとに、まるで交代するように、語る人物と視点が変わる。具体的には、小説化作品は第10話とエピローグの構成で、主人公の二人が語る章が6つ(第1・2・4・5・8・9話)+エピローグであるが、残りの4つは主人公ではない人物の視点が記述されている。その人物が映画では一分しか出現していなくても、小説の中では一人ずつ自分の経験を語るができる。特に、その「主人公ではない」者というのは、秋月翔太という孝雄の兄、伊藤宗一郎という雪野の同僚と元彼、また、孝雄の担任教師相澤祥子という雪野に対する嫌がらせの首謀者、そして、秋月怜美という孝雄の母親である。

小説の構成は以下の通りになる。

- 秋月孝雄 → 第1・4・8・9話+エピローグ
- 雪野 → 第2・5・9話+エピローグ
- 秋月翔太 → 第3話
- 伊藤宗一郎 → 第6話
- 相澤祥子 → 第7話
- 秋月怜美 → 第10話

例えば、第1話は秋月孝雄の視点と感情が表され、第2話は雪野百香里という主人公の過去と感情が語られているのに対して、第3話は秋月翔太という孝雄の兄の経験が表れる。それらの語りを通して、主人公ではない人物の視点と感情、また、メインストーリーと関係がないような記憶と過去が表れる傾向が小説化にははっきり見られる。そして、興味深い点は、その人物の章の場合、一人称(俺、僕、わたし)が使われているのに対して、主人公の章には、三人称(孝雄、雪野)が使われているということである。こうして、まるで孝雄と雪野のストーリーが外から語られているような印象が与えられている。また、一見したところでその人物の記憶と感情が主人公のメインストーリーと関係がないようであるが、実は、その人物の感情は、自分の心理的な分析のみならず、主人公と関係を深めるという大事な機能を果たすということが分かる。例えば、相澤祥子という人物の場合、映画では古典文学教員の雪野に対する嫌がらせの首謀者として登場しているのに対して、小説版の第7話で相澤は自ら自分の思春期の成長、そして、雪野との関係を語るができる。小説を読むと、最初に雪野は相澤の憧れの対象になっており、相澤は自分も元交際相手の嫌がらせの被害者であり、最後に実際に雪野の嫌がらせを後悔しているといったこと

も分かる。同じように、伊藤宗一郎の場合、小説版では、問題解決は当事者が行うべきという考えであったが、嫌がらせから雪野を助けなかった理由も明らかになる（西田谷 2017）。そのために、映画より小説化の方では、登場人の経験、そして、秋月孝雄と雪野百香里の物語も全面的に詳しく語られるという効果があると言える。

さらに、映画と異なる小説版の特徴は、語り手だけではなく、ストーリーの時間軸にもある。映画においては、6月から9月まで3か月の出来事だけが紹介されているのに対して、小説化作品では、人物の記憶・感情・思考を通じて、孝雄と雪野の出会いの現在だけではなく、関係のある過去と未来も語られているということが明らかになる。例えば、第2話では雪野の小・中・高校の時代も語られている。言い換えれば、小説版では時間（過去／現在／未来）と個人（自分／他人／共同体）ということを超越できるという印象がある（西田谷 2017）。そのために、小説では出来事の幅が拡大されている傾向にある。

そして、未来に関しては、小説化の作品では、ストーリーの結末も映画の結末と少し異なっている。なぜかという、映画では、主人公の二人は実際に再会できるかどうか不明であるが、小説化のエピローグでは、孝雄と雪野が実際に再会するシーンが描写されているからである。

最後に、映画と小説化を比較し、検討してみたところ、『言の葉の庭』の小説化によって映画のストーリーに詳細な情報を加え、ストーリーを深めるという効果が明らかになる。

映画と小説版の相違と共通点を整理すると、以下の表1のようになる。

表1 『言の葉の庭』映画と小説化の共通点と相違点

	映画	小説化
共通点	登場人物・舞台・あらすじ	
相違点	語り手：主人公の秋月孝雄	語り手：章ごとに交代
	時期：6月～9月	時期：過去・現代・未来
	最後：主人公の再会は不明	最後：主人公実際に再会

小説版を通読すると、「ご覧いただいた方もそうでもない方にも、お楽しみいただける」（新海誠 2014 p.385-386）書籍であるということが分かり、映画のみでは、孝雄と雪野のストーリーを完全に理解できないという印象を受ける。『言の葉の庭』の小説化は、映画の内容を理解するために小説化を行うという日本における小説化初期の考え方の傾向とつながっていると考えられる。『言の葉の庭』は、映画からかなり自立している小説化の例である。

6. 『千と千尋の神隠し』についての紹介と分析

日本アニメーション映画の制作会社として世界的に有名であるスタジオジブリは 2001 年に『千と千尋の神隠し』という長編アニメーション映画を発表した。監督は宮崎駿であった。宮崎駿監督によると、

赤ん坊の頃からよく知っているガールフレンドが五人ほどいまして、毎年夏に、山小屋で

二、三日一緒に過ごすんですが、その子たちを見ていて、この子たちのための映画がないなと思ひまして、その子たちが本当に楽しめる映画を作ろうと思ったのが、狙いというかきっかけです。(略)山のオジチャンと呼ばれているんですが、その、山のオジチャンが作った映画を喜んでくれるかどうか、それを自分の目標にしています。(文春ジブリ文庫 p.27)

『千と千尋の神隠し』は短い間に画期的な大ヒットとなり、約4か月の興行収入でその時まで興行収入のトップだったアメリカの『タイタニック』を追い抜いた。そのため、日本映画の歴代興行収入記録の第一位として最大のヒット作品となった(文春ジブリ文庫 2016)。その上、ベルリン国際映画祭の金熊賞をはじめ、様々なアカデミー賞を受賞し、世界各国でも大ヒットになった(文春ジブリ文庫 2016)。その時から、映画本編に関連している作品が多数出版され、その中で、本研究で扱った『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』という映画の漫画版が2019年に初めて出版された。

6.1 あらすじ

引っ越し先へ向かう途中で、千尋と両親は神々の謎めいた街に迷い込んでしまう。その街のルールを破って豚になってしまった両親を救うために、ハクという男の子の救助を通して、千尋はその街の世界に入り込んで湯婆場が経営している温泉で働くことになる。

6.2 映画と漫画化の分析

『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』は、2001年に公開された長編アニメーション映画をもとにした漫画であり、文春ジブリ文庫が監修したスタジオジブリ映画のコミック・ブックというシリーズの一つの作品として映画の上映の18年後に出版された。漫画化というのは、小説化の種類として、別の作品を漫画にするという行為である。アニメやビデオゲームなどの原作をもとにした漫画は多く制作されているが、アニメや漫画で有名な日本における小説化の特別な種類だと考えられる。

『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』は、最初のページから漫画を通して映画が読めるという印象が強い。なぜかという、543ページの中で、冒頭の映像から最後のクレジット・タイトルまで、映像が完全に紙面に掲載されているからである。最初の4-5ページでは主人公と登場人物の紹介があるが、6ページから543ページまでは約125分の映画のシーンが全て掲載されている。そのため、セリフやシーンが完全に映画と同じで、話の流れが映画と同様に進むと感じられる。また、漫画版には最初のページにおける登場人物の紹介以外は、主人公と人物の心理的な分析は見られず、映画に登場しない人物やシーンが全く描写されない。『言の葉の庭』の小説版と異なり、ストーリーの深化や人物の視点の交換が行われていない。そのために、『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』は一見したところただ映画の複写に見える。しかし、映画との相違点もある。

一つ目は、映画における「ロングショット」である。「ロングショット」というのは、映画の用語であり、建物や風景という被写体の全体が入るように、遠くから、上から下まで、あるいは、下から上まで、ゆっくりカメラを動かし、撮影するということである。『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』の場合、その「ロングショット」のシーンが漫画の中で

挿絵として再現されて、「動き」と「強調」の印象が消えてしまう。例えば、千尋と両親がトンネルを通過して、初めて謎めいた街を発見するシーンでは、映画ではロングショットを通して、千尋と両親が出た古い時計台が上から下までゆっくり見せられるのに対して、漫画ではただ1ページほどの大きな挿絵を通して示されている（コミック・ブック p.34）。その結果「動き」の印象はなくなり、古い時計台の周りに漂っている不思議な雰囲気や緊迫感が消えてしまうということになる。また、映画より漫画のストーリーの方が進度が速いという印象も残される。

二つ目の差異は、漫画化における擬音語である。つまり、漫画の中では映画に流れる音楽がなくなり、物音や人物の動きと感情などが全て擬音語、擬態語、擬声語で表される。漫画の中では、500以上の擬音語・擬声語・擬態語が見られる。これは、漫画の特徴であり、映画を漫画にするための特別なマークだと考えられる。また、登場人物の心理的な分析はないので、その人物の表情や感情を描写するための大事な役割も持っていると言える。漫画版では映画の音が全て表現されていると考えられる。映画と小説版の相違と共通点を整理すると、次の表2の通りである。

表2 『千と千尋の神隠し』映画と漫画化の共通点と相違点

	映画	漫画化
共通点	セリフ・話の流れ・登場人物・シーン	
相違点	ロングショット	1ページに挿絵1つのみ
	音楽・物音・人物の動きと表情	擬音語・擬声語・擬態語

映画と小説版を比較すると、『千と千尋の神隠し』の漫画化は千尋の冒険とストーリーを深めることより、映画を文字にするという目的が表現されている。特に、映画のファン向けの小説化だと考えられる。

7. 二つの作品の分析結果と考察

『言の葉の庭』と『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』この2つの映画と関連する作品は、異質の小説化の例として挙げられる。『言の葉の庭』の場合、普通の小説と同じ形式であるのに対して、『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』は、漫画化ともいえる小説化の例である。しかし、この二つの作品を比較すると、普通の小説と漫画との間に見つかる相違点だけではなく、原作との関係に相違する傾向も見られた。

まず、『言の葉の庭』の小説化ではキーワードが「拡大」である。映画と異なり、小説版では話の流れが副次的な人物の経験・思考を通じて拡大され、映画に出現しないエピソードやシーンが多く描写されている。小説化の著者が映画の監督であり、映画が上映した後で書いたものであるため、その小説版はスクリーンに映された自分の創作を深めるという監督の目的が見られる。そのため、その作品はただ映画のファン向けの小説版というより、映画の話の補完した本であると考えられる。映画を視聴せずとも読め、視聴していてもさらに必要な情報を得られるという映画の深化を図った翻案である。つまり、それを通読す

れば、映画の不思議な点、また、結末をよりよく把握できるのである。また、歴史的な点から考えると、その小説版の種類は、初期の映画雑誌の解説文と類似している。その解説文の目標は映画の聴衆に映画を説明し、詳細を補充するということであった（Gerow 2000）。『言の葉の庭』の小説版には、映画だけで描き切れない話を補充し、拡大するという目的が読み取れる。

逆に、『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』ではキーワードが「擬態」である。漫画では話の流れから登場人物のセリフまで、映画版と完全に同じものである。また、『言の葉の庭』と異なり、人物の心理的な分析や映画に出現しない記憶やエピソードなどを描写することより、漫画化で映画通りのシーンを再現する。そのため、『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』は、漫画の特徴を通して、そのまま映画のストーリーと映像を文字に変換するという目的が見られる。映画の翻案ではなく、映画の別媒体化になっているといっても過言ではない。それは、歴史的な点からみると、映画の別媒体化を試した最も初期の小説化というカタログの出版と、聴衆に映画の「お土産」を渡すという初期の映画雑誌の目的といった傾向の繋がりであると考えられる。まとめると、『千と千尋の神隠し』の漫画化は、もちろん映画を視聴しなくても鑑賞できるが、ひたすら映画とスタジオジブリのファン向けの作品であると言える。『言の葉の庭』と異なり、映画から自立した小説化ではなく、映画の話をも別媒体化・擬態化するという文学の傾向を示す例である。

『言の葉の庭』と『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』という作品を比較すると、映画との共通点と相違点が異なっていることが明らかになる。それは、今まで述べた通り、小説化の異質な特徴を示すということなのである。さらに、映画と関連している作品の間に Baetens (2005) が述べた内部と外部制限も異なっているということも明らかになる。内部制限の場合、作品は両方とも表紙で映画のシーンを再現しており、概ね映画のストーリーと登場人物は同じで、映画と関連している作品であるということはすぐに分かる。そのため、その作品に内部制限は同じように現れると言える。一方、外部制限に関しては、その作品間にその有無の割合が異なっていると見られる。例えば、『言の葉の庭』では、執筆者は映画の監督であり、自分が立てた計画に対して自由で、どのようなものについても書く権利を有するため、Law における制限がないと言える。同じように、作者より出版社や映画制作会社の決定が厳格であるという Organizational structure の制限も消えてしまう。また、執筆者が有名な監督者であるため、小説化の職業認識という Occupational careers の制限もないと考えられる。一方、Technology、すなわち、使われた技術によって映画を小説化する方法も変わるという制限に加え、Market という制限は、ある程度まだ見られると言える。逆に、『千と千尋の神隠し』では、文春ジブリ文庫という出版社の作品として発表され、映画と密接な関係を持っていると考えられるため、これら全ての制限を有すると言える。『言の葉の庭』と『千と千尋の神隠し』における外部制限をまとめると次の表3の通りである。

表3 二つの小説化作品の外部制限。

外部制限	言の葉の庭	千と千尋の神隠し
Law	×	○
Technology	○	○
Market	○	○
Organizational structure	×	○
Occupational careers	×	○

『言の葉の庭』と『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』の分析からいくつかの重要なポイントが明らかになった。まず、映画を小説化する時、小説だけではなく、漫画や絵本などにも書籍化できるため、小説化はジャンルの一種に過ぎないのではないかと考察した。小説化作品は多様であり適当な種類を当てはめることが難しい。小説版の作品の目的や映画のストーリーの扱いが異なる可能性もある。例えば、今回の分析では『言の葉の庭』における拡大、あるいは、『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』における様態といった傾向が見られた。そして、一般の文学ジャンルと異なり、内部と外部制限があるが、その割合は固定されたものではなく、小説版であっても、全ての制限が見られるとは限らない。制限が多く見られる『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』のような作品と、制限が少ない『言の葉の庭』のような作品いずれも可能であるということが明らかになった。しかも、密接な関係があっても、必ずしも映画に従属している小説だとは限らないのである。最後に、小説化は100年間くらいの歴史を持っている文芸ジャンルであるため、まだ初期の古い小説化の特徴が維持されているという傾向も見られた。結果として、小説化は境界を定めるのが難しい普遍的な種類や特徴がない文芸ジャンルであるが、それが文学ではないかと考察した。

8. おわりに

「メディアミックス」という近代的な現象に所属している小説化という文芸ジャンルの分析を試みた。特に、今回は、日本の例として、現代の日本アニメーション映画とその小説化の分析を行った。その結果、小説化は制限付きの小説であるというよりは、事情、創造者、目的によって、内容と構成が明白に変わる可能性があるため、ある程度融通性がある作品であるということが分かった。小説化は、

- 特定の種類、傾向がない
- 内部と外部制限の全ての要素があるとは限らない
- 映画の話から自立できる
- 古い小説化の種類と似ている可能性がある

のである。小説化を通して文学は映画と接触し、その可能性を試すことが、『言の葉の庭』と『千と千尋の神隠し—シネマ・コミック』の分析を通じて明らかになったと言える。小説化を通して文学と映画の世界は相互に接触できるため、小説化は映画と文学の橋渡しをし、近代の視覚的な文化と文学の成果としての役割を果たしているということが分かる。

視覚的な世界を無視できない文学の新たなジャンルではないかと考察した。

『映画ノベライゼーションの世界—スクリーンから小説へ』という書物では小説化（ノベライゼーション）に関して次のように書いてある。「ノベライゼーションとは決して「映画を小説にした」というだけの代物ではない。むしろそれは、映画本編の完成に先んじて書き上げられるもう一つの「本編」であり、実質的には、独立した一体の小説と見なせるケースも少なくないのである。とはいうものの、ノベライズセッションという文芸ジャンルの最大の魅力は、「小説ではない何かを小説にした」という運動性そのものにある。」（波戸岡 2020 p.188）普通の小説と異なり、映画が「小説ではない」との関係があるため、小説化を買う時、読者の熱情と期待の次元が異なっている（波戸岡 2020）。

小説化は文学と映画との関係の境界を拡大する特別なジャンルである。漫画やアニメなどが有名な日本では、最近ではアニメーション映画の小説化が普及しており、自分の映画の小説化に取り組むアニメ映画の監督、また、小説化を制作する映画制作会社は少なくない。その傾向をさらに理解するために、今後日本の小説化について深く分析することが必要であると思われる。

参考文献

- Baetens, J (2005). Novelization, a Contaminated Genre? *Critical Inquiry*, 32(1), 43-60.
- Baetens, Jan (2010). Expanding the Field of Constraint: Novelization as an Example of Multiply Constrained Writing. *Poetics Today*, 31(1), 51-79.
- Gaudreault, A & Marion, P (2005). Dal filmico al letterario: i testi dei cataloghi della cinematografia-attrazione. In: Forum Edizioni, *Il racconto del film. La novellizzazione: dal catalogo al trailer/Narrating the Film. Novelization: from the Catalogue to the Trailer*, 25-35.
- Gerow, A (2000). The Word before the Image: Criticism, the Screenplay, and the Regulation of Meaning in Prewar Japanese Film Culture. *Word and Image in Japanese Cinema*, 3-35.
- Van Parys, T (2011). The study of novelization: A typology and secondary bibliography. *Belphégor: Littérature Populaire et Culture*, 10(2).
- 新海誠 (2016) 『小説 言の葉の庭』 KADOKAWA/メディアファクトリー
- スタジオジブリ (2016) 『千と千尋の神隠し』 (ジブリの教科書 12) 文芸春秋社
- 西田谷洋 (2017) 「物語のサンプリング—村上春樹と新海誠」『人間発達科学部紀要』11(3), pp.59-66.
- 野口光一 (2017) 「メディア変革期における「メディアミックス」の新展開——『妖怪ウォッチ』を事例に——」『The Japanese Journal of Animation Studies』 19(1), pp.31-44.
- 波戸岡景太 (2020) 『映画ノベライゼーションの世界：スクリーンから小説へ』小鳥遊書房
- 藤元直樹 (2012) 「紙に遺された映画たち—大正期連続活劇映画のノベライゼーション」『国立国会図書館』 620, pp.2-3.
- 宮崎駿 (2019) 『千と千尋の神隠し』 (シネマ・コミック 12) 文芸春秋社

オンライン資料

「言の葉の庭」(2016)

<https://www.kotonohanoniwa.jp/> (閲覧日 2020年05月31日)

新海誠 (2012) 「other voices」

<http://shinkaimakoto.jp/kotonoha> (閲覧日 2020年05月31日)

スタジオジブリ (2020) 「スタジオジブリ」

<http://www.ghibli.jp/> (閲覧日 2020年05月31日)

日本語の形容詞の敬語表現 —ベトナム人日本語学習者の使用状況について—

ダオ ティ トウエット

1. はじめに

近年ベトナム人の日本語学習者の数は益々増加している。国際交流基金の調査によると、2018年に174,461人であり、2015年度と比べると、約3倍である（国際交流基金 2019）。

日本語学習はベトナム人にとって、決して容易ではなく、困難が伴うことが少なくない。その中で特に敬語は日本語の特徴の一つであり、日本語を習得するには敬語の習得が欠かせない。ベトナム語における敬語の有無は定義次第であるが、日本語のような尊敬語、謙讓語、丁寧語のような表現はベトナム語にはない。従って、ベトナム人日本語学習者にとって、敬語の習得に困難を感じる人が多いと考えられる。

ベトナムでの日本語教育は、初級レベルから敬語を導入し始めるが、教育内容は動詞の敬語表現に限られることが多い。代表的な教科書である『みんなの日本語Ⅱ』の49課で尊敬語、50課で謙讓語が取り上げられているが、全て動詞を対象としているものであり、形容詞を対象とする練習は全くない。会話で「お元気ですか」「お忙しいですね」という表現が使用されているが、定型表現として扱われるため体系的なルールの理解につながらない。村田（2012）は形容詞の敬語表現を体系的に導入する教材は少ないと指摘している。

そこで、本研究は日本語の形容詞の敬語表現に注目し、それに対するベトナム人日本語学習者の理解度を明らかにすることを目的とする。特に、ベトナム人の形容詞の敬語表現の使用傾向、誤用文に対する判別力という点に着目する。先行研究を踏まえ、ベトナム人日本語学習者大学3・4年生を対象とし、形容詞の敬語表現の理解に関するアンケート調査を実施する。

2. 先行研究

形容詞の敬語表現に関する研究は、文化審議会答申（2007）、細川（1995）、村田（2012）、菊地（1994）などが挙げられる。それらの研究を参考に以下のように形容詞の敬語表現を簡単にまとめる。基本的に、形容詞の敬語は3つの型がある。

- 「お/ご+形容詞+です」

村田（2012）と菊地（1994）は「お/ご+形容詞+です」の型が幅広い範囲で尊敬語として使用されていると述べた。形容詞に接頭辞「お/ご」を付け、尊敬語にすることができる型である。接頭辞「お/ご」を付けることによって丁寧さ、敬意の度合いを高め、表すことができる。「お+和語」、「ご+漢語」が原則であるが、「お元気」「おきれい」などの例外もある。村田（2012）と柴田（1957）は、「お」の付きにくい5つの条件を挙げた。それは外来語、「お」で始まる語、下品/悪感情の語、ある意味の語、モーラ数の長い語である。

一方、「お/ご+形容詞+です」は謙讓語として用いられる場合もある。謙讓表現として表しているのは話し手の感情を表す「うらやましい」「恥ずかしい」「珍しい」「懐かしい」

などの形容詞である。それらの形容詞は高めようとする人に関する話し手の感情、感覚である。例えば、「私は先生がお懐かしい」の例文は、主語は私、先生は目的語であり、「先生」に対して、「私」が懐かしくなるという意味を表す。先生を高めているから、「お懐かしい」は謙譲語となる。

- 「(お/ご)～て/でいらっしゃる」

「～て/でいらっしゃる」は「いる」の尊敬語として形容詞の敬語表現を作り出すため(村田 2012 p. 128)、「お/ご」を付けなくても使うことが可能である。この例として「お忙しくていらっしゃる」「美しくていらっしゃる」などのイ形容詞、「ご積極的でいらっしゃる」などのナ形容詞(形容動詞)があげられる。

- 「音便形+ございます」

「ございます」は丁寧語の中で最も敬度が高いものである(菊地 1994)。「ございます」を形容詞につける場合の作り方は、形容詞の語尾「い」の直前母音によって異なり、次のようなルールがある。

- a い → oo ございます:「たかい」→「たこうございます」
- i い → yuu ございます:「うつくしい」→「うつくしゅうございます」
- u い → uu ございます:「やすい」→「やすうございます」
- o い → oo ございます:「おもしろい」→「おもしろうございます」

このような形容詞の敬語表現に関する研究は多くなされているが、学習者の使用に関する先行研究は管見の限り見当たらない。本研究では学習者の使用状況を明らかにするため、先行研究の結果を参考に、今回のアンケート調査の結果を分析する。

3. 研究方法

3.1 調査目的

本稿では、ベトナム人日本語学習者の日本語の形容詞の敬語表現に関する使用傾向を把握するとともに、誤用文に対する判別力を明らかにすることを目的とする。

3.2 調査対象者

ハノイ大学の日本語学部では、最初の2年は初級から中上級まで特設日本語クラスの授業を受け、3年目から専攻科目の講義を受け始める。また、大学で形容詞の敬語表現に関する教育課程は導入されていないため、形容詞の敬語に関する知識は全て学習者が独習しなければならない。同じ教材と教育プロジェクトを受けている3年生と4年生は、教科書以外の日本語資料に触れる機会も、独習する時間も異なるが、その条件下で、形容詞の敬語表現に関する知識のギャップが生じるかを確認したい。3・4年生の日本語レベルは中上級以上であり、形容詞の敬語の存在は知っていると考えられる。そのため、3・4年生を調査対象とする。

ハノイ大学日本語学部の3年生と4年生、合計30人を対象とし、2020年3月中旬にインターネット上で「ベトナム人日本語学習者の日本語の形容詞の敬語表現に関するアンケート」を行った。対象者にアンケートのURLのリンクを送り、回答を回収した。

アンケートの回答者30人のうち、3年生が10人、4年生が20人である。そのうち日本

への留学経験がある 11 人の学生が回答者の 36.7%を占め、残り 19 人は留学経験がなく、63.3%である。日本語能力に関しては、N1 取得者が 3 人で回答者の 10%であり、N2 取得者は 22 人で 73.3%に当たり、N3 取得者は 5 人で 16.7%である。

3.3 アンケート構成

アンケートは 7 つの質問から構成されている。その 7 問は、インターネットの YOUREI というコーパスで探した例文と菊地（1994）を参考に作成したものである。そのうち 2 問は「選択肢問題」で、残り 5 問は「正誤問題」である。具体的には「選択肢問題」の問題文は、コーパスの例文の形容詞の敬語表現部分を空欄とし、A、B、C の 3 つの選択肢から最も正しいと思う答えを 1 つ選んでもらう形式とした。例を挙げると、「ご家族の皆様はお元気でいらっしゃいますか」という例文を選び、「お元気でいらっしゃいますか」を空欄とし、「ご家族の皆様は.....？」とする。使用語彙は「元気」とし、「お元気でいらっしゃいますか」の他、「お元気ですか」「お元気でございますか」の選択肢を作った。回答者に答えを 1 つ選び、空欄を埋めてもらった。「正誤問題」の問題文は、例文の形容詞の敬語表現を別の表現に換えた。例えば、「先生はお忙しくていらっしゃいますか」という例文を「先生は忙しゅうございますか」に換えて、適切だと思った場合は「○」、また適切ではないと思った場合は「×」を付けてもらい、さらに最も適切だと思う表現を記入してもらった。

3.4 分析方法

「選択肢問題」の 3 つの答えは「お/ご～です」「～て/でいらっしゃる」「～ございます」3 表現に相当する。3 つの答えを選んだ比率を比較したうえ、使用傾向を考察する。一方、「正誤問題」における形容詞の敬語の不適切な表現とは文法的に誤用なものである。先行研究を踏まえて、学年の違いにより選択が異なるか分析した。

4. アンケート結果の分析

4.1 学生の背景

テスト前に、回答者に形容詞の敬語表現の存在について尋ねた。回答者の 60%が知っているという回答し、40%は知らないという回答した。具体的には、知っているという回答した 18 人中、3 年生は 6 人 4 年生が 12 人であった。日本語能力については N1 取得 3 人、N2 取得 12 人、N3 取得 3 人である。一方、留学経験があるのは 4 人で、14 人はない。その数を見ると、形容詞の敬語の存在を知っているかどうかは学年、日本語能力、留学経験を問わないものであることが分かる。

4.2 選択肢問題 - 使用傾向の考察

図 1 に示すように、問 1 に対する回答として最も多いのは「お上手ですが」であり、選んだ学生は 50%である。「お上手でいらっしゃいますが」及び「お上手でございますが」を選んだ割合はそれぞれ 20%、30%である。

問 1：A と B は同僚で、社長のことについて話している。

A：新しい社長は日本語が.....、わが社の資料はすべて社長のお国の言葉で書かれることとなります。

B : まいったなあ！

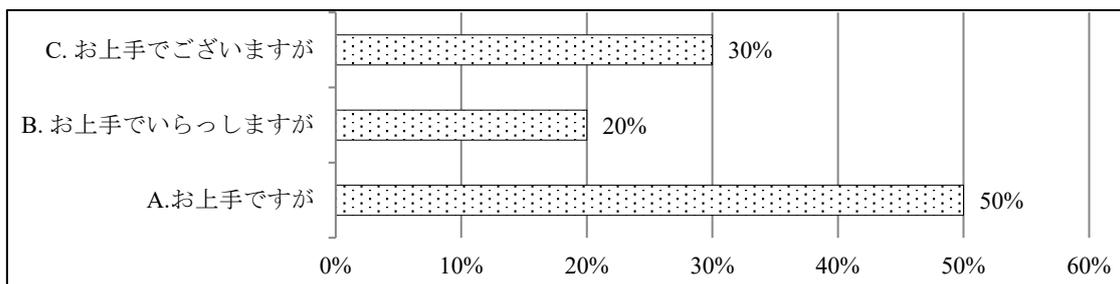


図 1. 選択問題 問 1 の結果

問 1 では、3 つの答えが全て文法的には正しい。元の例文では、空欄のところは「お上手でいらっしますが」である。しかし、「お上手ですが」「お上手でございますが」を使用することも可能である。文中の敬意対象は 3 人称の社長であるため、「お～です」と「～て/でいらっしやる」の尊敬語、「～ございます」の丁寧語どの表現を使っても構わない。ただ、「お上手でございます」を使った場合は、話し手と敬意を表す社長の関係には距離があることを表すことになる。

問 2 の集計結果 (図 2) を見ると、「お元気ですか」「お元気でいらっしますが」及び「お元気でございますか」を選んだ人はそれぞれ 33.3%、50%、16.7%となっている。

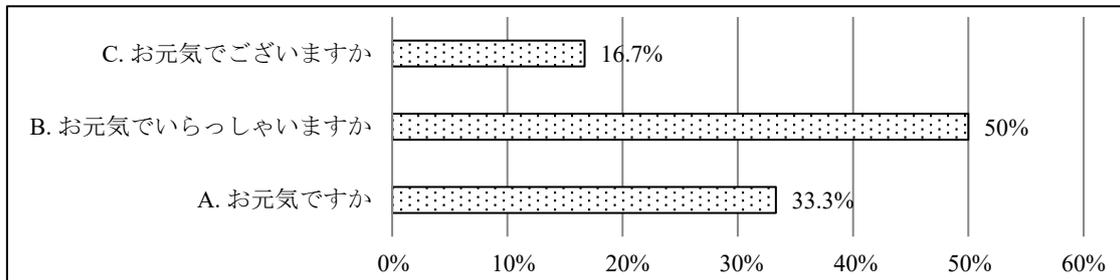


図 2. 選択問題 問 2 の結果

問 1 と同じように、問 2 も 3 つの選択肢が文法的には正解として選べる。しかし、問 1 と違って問 2 で最も多い回答は「お～です」の型ではなく、「～て/でいらっしやる」の型であった。それは問 1 の文脈が日常生活であることに対して、問 2 の文脈は手紙であるためである。学習者にとって、「～て/でいらっしやる」の型は手紙に使用されている傾向が高いため、改まった表現であると考えたのではないかと予測される。

4.3 「正誤問題」－形容詞の敬語表現に関する使用の誤用

正誤問題問 1 は、先生に尊敬語を使うべきと考え、「忙しゅうございますか」を用いるのは適切だと判断するかどうかの問題になる。問 1 の集計結果を図 3 に示す。問 1 の集計結果を見ると、不適切だと思った人は全体の 76.7%、3 年生は 80%、4 年生は 75%となっている。適切だと思った人と不適切だと思った人の差がみられる。

問1：先生は、今週末忙しゅうございますか。

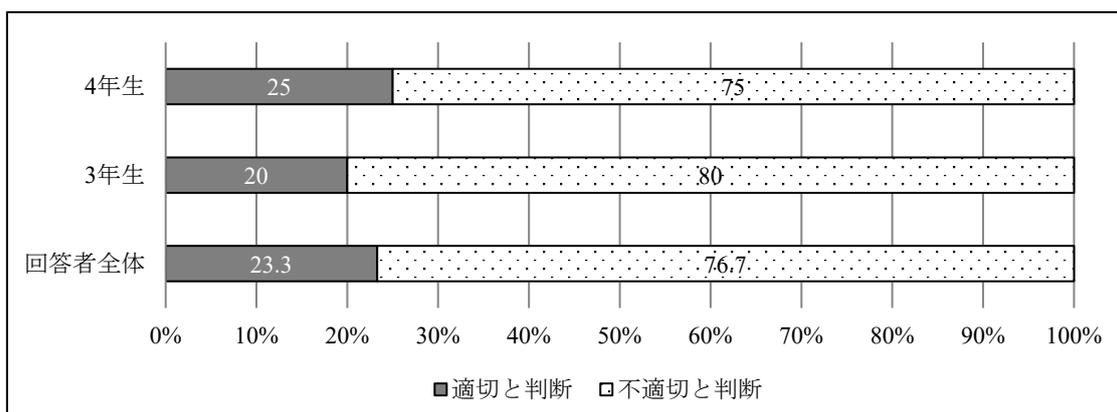


図3. 正誤問題 問1 判断結果

「忙しゅうございます」は「忙しい」の音便形に「ございます」が付いている形容詞の丁寧語である。その例文は菊地（1994）から選出した。菊地（1994）は一人称を主語として述べる場合、「～でございます」を使うことが多いと説明している。細川（1995）も「ございます」は一人称について使用されており、二人称の敬意対象には使いにくいと述べている。問1の主語は目の前にいる相手である「先生」であり、一人称ではないため、「ございます」は使いにくい。

「先生は忙しゅうございますか」は誤りではないが、主語は二人称「先生」であるから、尊敬語を使うほうが規範的だと考えられる。次に、いくつかの適切な例を挙げる。

- 「お忙しいですか」：「お～です」の尊敬表現を用いる。
- 「お忙しくていらっしゃいますか」：「～ていらっしゃる」の尊敬表現である。

回答者の訂正文で、一番多かったのは「お忙しいですか」である。「お忙しくいらっしゃいますか」という回答も出たが、文法的に大きな間違いがある。また、「お忙しいでございますか」という回答もあり、形容詞の音便形の存在を知らない者がいることも分かった。元の例文である「お忙しくていらっしゃいますか」を記入した人はいない。

以下の問2では先生が所有する花に対して、「きれいでいらっしゃいますね」を使うのは適切かどうか問題になる。問2の集計結果を図4に示す。

問2の集計結果を見ると、不適切だと思った人は全体の56.7%を占め、3年生、4年生それぞれ50%、65%となっている。

問2：先生の部屋の花はきれいでいらっしやいますね。

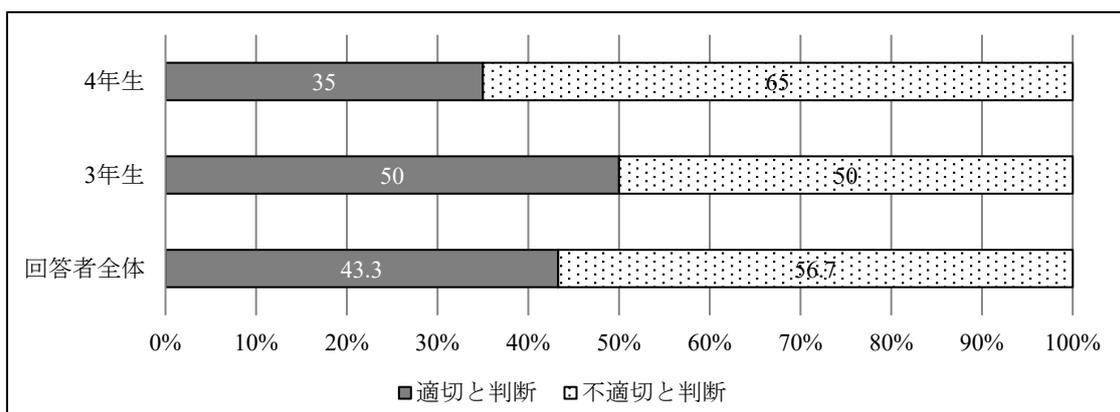


図4. 正誤問題 問2 判断結果

「おきれいでいらっしやいます」は「～て/でいらっしやる」の形容詞の尊敬表現である。「～いらっしやる」は文法的に補助動詞であり、「きれいでいらっしやいますね」は「きれいだ」の尊敬語である。主語が二人称の場合は「～て/でいらっしやる」を使う。菊地（1994）によると、名詞の敬語の場合、主語が「ご出身/お仕事/お生まれ/お勤め」のような人生の重要な時点を表す語の場合は、「お生まれは東京でいらっしやいますね」のように使える。ただ、問2の文の主語は「花」であり、「先生」の人生に大事な役割を果たすものとは一般にはいいがたい。村田（2012）は、分離可能な所有物と高めようとする人の距離を基準に、「お/ご～です」と「～て/でいらっしやる」の表現が身体部分属性、依頼、親族、作品、愛玩動物の項目を扱っているものを KOTOHANA（国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の検索デモンストレーションサイト）で用例を探した。高めようとする人に分離できるものが主語になると、「～て/でいらっしやる」の用例が見つからないため、「もの」主語の場合に「～て/でいらっしやる」を使いにくいと結論付けている。したがって、これらの主張に基づくと、「きれいでいらっしやいますね」より「おきれいですね」のほうがふさわしいだろう。

回答者の訂正文は「きれいですね」が一番多く、「おきれいですね」と訂正した人は1人である。

以下の問3では、敬意を表すため、「お嬉しいです」という表現を、形容詞の敬語表現として使用するのが適切かという問題である。問3の集計結果を図5に示す。

問3の集計結果を見ると、不適切だと回答した人は回答者全体の53.3%を占め、3年生は適切だと思った人と不適切と思った人が半数ずつとなっている。4年生の中で不適切だと思った人の方が適切だと思った人より20ポイント多い。

問3：僕たちの活動に興味を持ってくださっただけで嬉しいです。

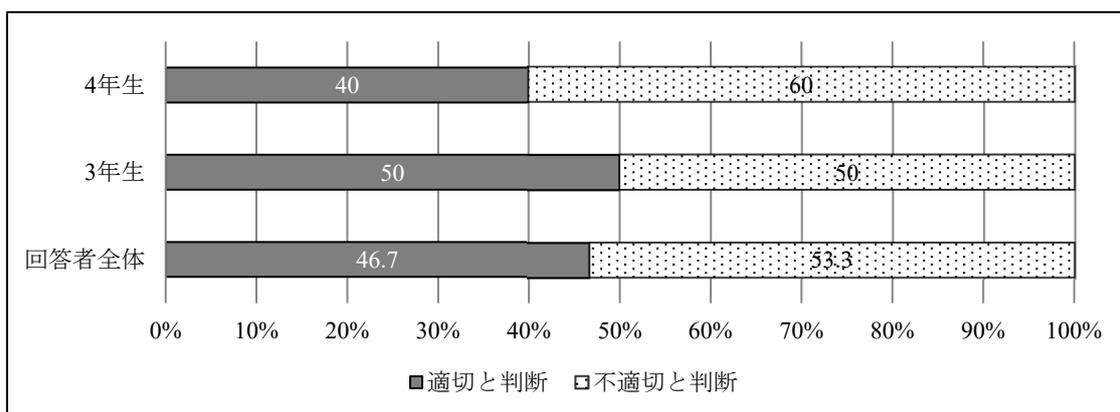


図5. 正誤問題 問3判断結果

問3に使われた「お嬉しいです」は誤用であるが、「お～です」の形容詞の敬語表現として作成した。先行研究で記述されたように、「お～です」は尊敬表現であるが、謙譲語として用いられる場合もある。ただ、使える形容詞には制限がある。村田（2012）によると、謙譲表現としての使用は話し手の感情を表す「懐かしい」「恥ずかしい」「うらやましい」「かわいそうな」「気の毒な」などに限られ、他の形容詞では使用することができない。つまり、高めるべき人に対して、話し手の感情を形容する表現である。「嬉しい」は確かに話し手の感情を表すが、「嬉しい」という感情は高めようとする人に関わらないため、謙譲表現ができない。従って問3は不適切である。

最も多い回答者が提出した訂正文は「嬉しいです」である。しかし、「お嬉しいでございます」と訂正した人もいる。「ございます」を使えないことはないが、「ございます」の前につく形容詞は必ず形容詞の音便形であり、「嬉しゅうございます」に訂正すればよい。したがって、学習者は「ございます」とイ形容詞を組み合わせるルールを把握してないと判断できる。

以下の問4ではBが「おうらやましくていらっしゃるね」を用いるのは適切かどうかの問題となる。問4の集計結果を図6に示す。

問4の集計結果を見ると、不適切だと思った人は、3年生が70%、4年生が55.5%となっており、3年生のほうが多かった。全体的にみると、不適切だと思った人と適切だと思った人はほぼ半数ずつとなっている。

問4： A：あちら様、今度パリへご転勤ですって...

B：まあ、おうらやましくていらっしゃるね！

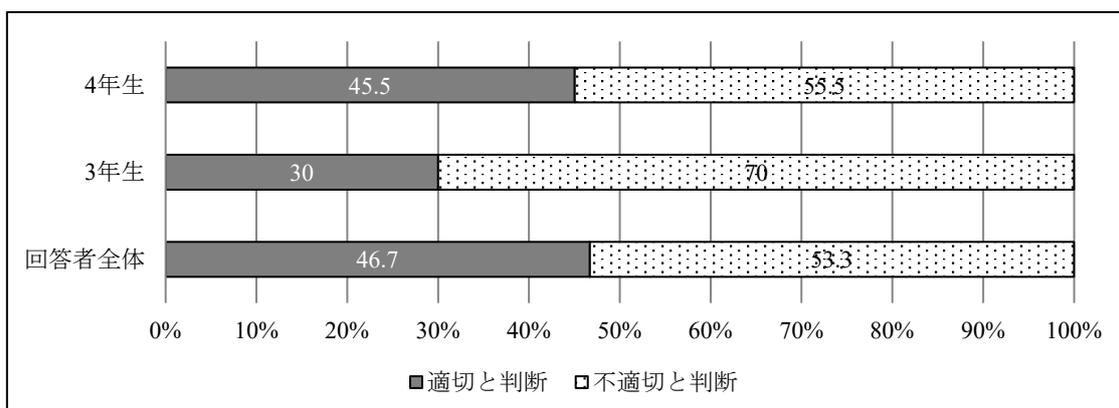


図6. 正誤問題 問4 判断結果

問4では「あちらの方」のパリ転勤に対して、Bのうらやましい気持ちを表す。問3の分析で記述したように、「うらやましい」は謙譲語として使用できる形容詞である。その気持ちを「お」を付け、高めていることになる。ただ、「～て/でいらっしゃる」は高めようとする人の状態を表すため、謙譲語を使わない。「おうらやましくていらっしゃる」を使うのは、自分自身に尊敬語を用いてしまう誤用となる。

回答者の訂正文は「うらやましいね」が一番多く、「おうらやましいね」が次に挙げられた。「おうらやましくおります」のような誤答も出た。「おります」は「いる」の謙譲語であるが、「存じております」「出張に出ています」などの動詞の敬語としても使われている。形容詞の場合は、「おります」は用いられない。

問5は、店側が客に「お求めやすい」を用いるのは適切かどうかの問題になる。問5の集計結果を図7に示す。

問5の集計結果を見ると、不適切だと思った人は20%で、つまり8割の回答者が適切だと思ったことがわかる。街の看板などで「お求めやすい」はよく見かけるため、すっかり定着し、一種の定型表現になっているようである。

問5：お求めやすい金額になっていますので、この機会に是非どうぞ。

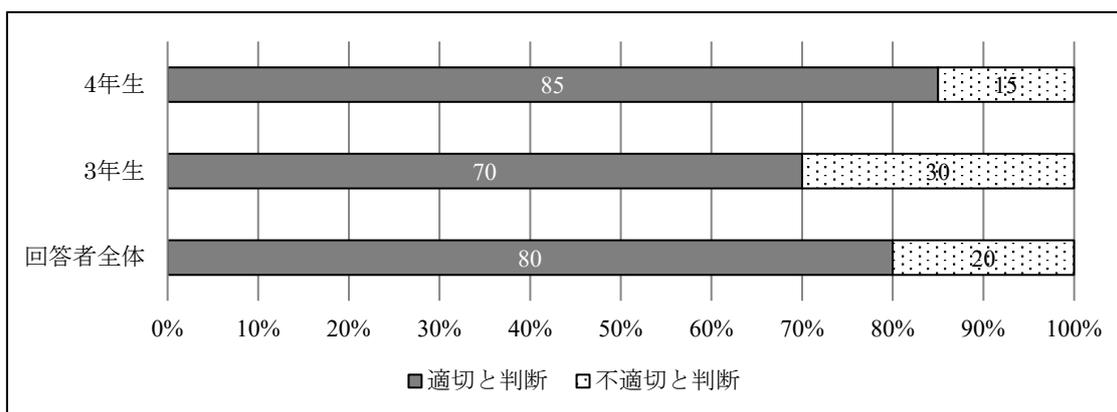


図7. 正誤問題 問5 判断結果

菊池（1994）は形容詞表現の中で、「～やすい・～にくい（づらい）」という形を用いて敬意を表す時、動詞の部分に尊敬語にするべきであると述べている（例：動詞の尊敬語＋やすい・にくい）。例えば「書きやすい」を尊敬語にするときは「お書きになりやすい」と言うのが正しく、「お書きやすい」とは言わない。したがって、問5「求めやすい」の正しい尊敬語は「お求めになりやすい」である。

不適切だと思った人は2割であるが、訂正した人はいない。この問5の文を読み、違和感を持った人がいるかもしれないが、どこが間違っているか、どのように直せばいいのか迷っている可能性があることが示唆された。

5. 考察

本研究では、アンケートの分析結果を通じて形容詞の敬語表現について、ベトナム人日本語学習者の使用傾向を明らかにした。「お/ご～です」「て/でいらっしやる」「～ございます」の3つの表現の中で、学習者は「お/ご～です」を使う頻度が最も高い。選択肢問題で「お/ご～です」の選択肢を選んだ率はそれぞれ50%と33.3%であり、「正誤問題」で挙げられた回答者の訂正文に「お/ご～です」を用いた回答も少なくない。村田（2012）は初級レベルにおいては、「お/ご～です」を導入しやすいと述べている。残り2つの「て/でいらっしやる」「～ございます」の表現に比べて「お/ご～です」は幅広く、何が主語に立っても敬語表現になりうる便利な表現である。ただ、「お/ご～です」は尊敬語だけではなく、謙譲語として用いられる場合もある。謙譲語として使用する際、使用できる形容詞が限定的であることは注意すべきことである。学習者のうち、その注意点を理解していない可能性があった人が約50%である。なぜなら、「正誤問題」の問3で、主語が一人称であるにもかかわらず、「お嬉しです」を使用するのが適切だと判断した人が回答者全体の46.7%を占めたからである。この表現を日本語の習得にどの程度導入するか、尊敬語として紹介するか、それとも謙譲語の場合も紹介するかを検討する必要がある。本研究からは中上級・上級の学習者は「お/ご～です」の存在を知っているが、深く理解しない可能性が見て取れた。初級レベルにおける学習者にとって、尊敬語と謙譲語の使い分けにかなり苦労してい

るため、形容詞の表現も同時に導入することは無理ではないだろうか。そのため、動詞の敬語を十分理解したと考えられる中級レベルの学習者に向けてなら、「お/ご～です」型を体系的に導入しやすいと考えられる。

「いらっしゃる」と「ございます」は形容詞より、名詞と一緒によく使われる。ゆえに、学習者は「でいらっしゃる」「でございます」に接する機会が多い。形容詞と使う時、形容動詞（ナ形容詞）は名詞とほぼ同じ使い方であるが、イ形容詞の場合は形容詞の形を変えなければならない。多くの学習者はそのルールを把握していないと考えられるため、イ形容詞の場合でも、「でいらっしゃる」「でございます」を使う傾向がみられた。特に、「正誤問題」の問2-4で適切だと思った人と不適切だと思った人は約半数ずつとなっているのに対して、問1の「先生は忙しゅうございますか」を不適切だと思った人が適切だと思った人より53.4ポイント多かった。その理由として、学習者が「音便形+ございます」の組み合わせをあまり見かけず、使用もしないことが考えられる。「お/ご～です」と比べ、「～て/でいらっしゃる」と「～ございます」の使い方は複雑で、間違いやすい表現であるようである。

誤用の判別力に関して、「正誤問題」の問1では3年生の適切・不適切の判断差は4年生とあまり変わらない。問2からその差が大きくなった。問2と問3では4年生のほうが正しく判断をする割合が高いのに対し、問4と問5では3年生のほうが高い。したがって形容詞の敬語の誤用を認識することに学年による違いはないと考える。対象としたハノイ大学で形容詞の敬語表現は体系的な指導を行っていないため、この知識は大学での教育の結果ではなく、学生各自の学習の結果であると考えるのが妥当であろう。

今回のアンケート調査の結果では、「正誤問題」において、不適切だと考えた回答者の半数以上が訂正の回答を提出しなかった。単に正用の回答の記述を煩わしいと思ったため入力しなかった可能性も考えられる。また、アンケートの問題は形容詞の敬語がほとんど文末の形であり、日常生活に使用される頻度も低い問題もあった。これらは本研究の課題の1つである。

先行研究では形容詞の敬語表現について体系的な説明が行われている。しかしながら、日常生活でそれらの表現がどのように使用されているかについての分析は行われていない。本稿では、形容詞の敬語表現に関して、ベトナム人日本語学習者の認識、使用状況を明らかにした。

日本語の敬語習得において形容詞の敬語表現は重視されていない項目だと言える。それは動詞の敬語に比べると、形容詞の敬語のほうが複雑なため日本語教育であまり取り上げられていないという理由が考えられる。しかし、日本語の豊富な形容詞の敬語の役割は重要であり、指導されるべきだと考える。「お忙しいところ恐縮ですが」「お恥ずかしいことながら」などの表現がメールによく見かけられ、ビジネス場面に使用されるのも少なくない。今後、ビジネス場面での敬語、特に前置きの形容詞の敬語についても、研究したいと思う。

6. おわりに

本研究では、アンケートの結果分析を通じてベトナム人日本語学習者が形容詞の敬語表現の使用において困難を抱えていることが明らかになった。ベトナム語に日本語の形容詞の敬語に相当する表現がないからこそ、導入されない場合、形容詞の敬語の存在を知らずに、定型表現として使うにとどまる学習者が多いと考える。

本研究では著者の日本語能力の限界もあり、分析が足りないところもあった。今回実施したアンケート調査においては一つの大学の日本語学部の学生に対象者が限られており、回答者数もかなり少なかったため、結果の信頼性が高いとは言い切れない。したがって、今回の調査結果はベトナム人日本語学習者の形容詞の敬語表現に対する理解の全容を解明したとは言えないが、可能な範囲内で調査を行った。今後、メール、ビジネス場面などでよく耳にする具体的な形容詞の敬語表現に関する考察を進めたいと考えている。

参考文献

菊地康人 (1994) 「敬語」 角川書店

国際交流基金 (2019) 『2018 年度海外日本語教育機関調査結果』

柴田武 (1957) 「おの付く語 付かない語」 『言語生活』 70 号, 40-49

文化審議会答申 (2007) 『敬語の指針』 文化庁

細川英雄 (1995) 「形容詞・副詞の敬語法」 『國文學解釈と教材の研究』 40 卷, 14 号

村田志保 (2012) 「形容詞の敬語表現と接頭辞『お/ご』の関連性について」 『人間文化研究』 18 卷, 119-133

使用コーパス

YOUREI 『用例.JP—世界最大の日本語用例検索エンジン』 <http://yourei.jp/?hl=ja>

アンケートの内容

ベトナム人日本語学習者の形容詞の敬語表現に関するアンケート

1. 学年 :
2. 性別 : 男 女 他
3. 日本語能力試験の成績 : N1 N2 N3 N4 N5
4. 日本で留学したことがありますか。 はい いいえ
5. 形容詞の敬語表現の存在を知っていますか。 はい いいえ

最も適切な答えを 1 つ選んでください。

1. A と B は 同僚で、社長のことについて話している。

A : 新しい社長は日本語が.....、わが社の資料はすべて社長のお国の言葉で書かれることとなります。

B : まいったなあ！

A. お上手ですが

- B. お上手でいらっしゃいますが
 - C. お上手でございますが
2. (先生に手紙を書いている) ご家族の皆様は.....?
- A. お元気ですか
 - B. お上手でいらっしゃいますか
 - C. お元気でございますか

次の表現に関して適切(○)か不適切(×)かを判断して答えてください。適切ではないと思
ったら正しいと考える表現を書いてください。

1. 先生は、今週末忙しゅうございますか
.....
2. 先生の部屋の花はきれいでいらっしゃいますね。
.....
3. 僕たちの活動に興味を持ってくださっただけでお嬉しいです。
.....
4. A : あちら様、今度パリへご転勤ですって...
B : まあ、おうらやましくていらっしゃるね!
.....
5. お求めやすい金額になっていますので、この機会に是非どうぞ。
.....

四季の国における季節文化

—日本の季節文化の起源と現状—

サフタ アナマリア カロリナ

1. はじめに

日本は四つの季節がある国であることを誇りにしている。フォーマルな招待書、葉書、手紙の始まりに季節の挨拶を書く習慣がある。季節限定食品や商品、季節的な品物が溢れ、各季節の目印ともなっている。その上、お花見、紅葉狩り、お月見などの季節的な行事は世界中で日本文化として認められているのである。

本論文では、このような日本の季節文化の起源を検討し、この現象の展望を模索する。古人が持っていた季節感は古来から形成され、時代によって移り変わった。現代の日本人はその季節感をどのように受け継いできたのであろう。本研究では、日本人が季節にまつわる文化現象をどのように意識しているのかを明らかにしたい。また、自分の母国であるルーマニアでは同じ現象が見られない要因を検討したい。

2. 日本人と季節

2.1 日本人の自然観

日本における季節文化を理解するために、まず、日本的自然観を知る必要がある。阿部(2003)によると、自然観は四つの種類に分けられるという：アニミズム的、宇宙論的、一神教的、近代的である。日本人の自然観はアニミズム的な起源にある。それは、神と自然と人間は本質的に連続し、「すべてのものは同一のものの循環として現在的である」という考え方が國谷(1984 p.7)によって述べられている。更に言えば、自然は神そのものである。日本の民族宗教である神道はアニミズムを基盤としているのである。國谷(1989 p.10)は「元来日本の自然観は古代からの日本の独特な宗教である神道の影響のもとに形成された。神道は多神教である。そこにはいわゆる『八百万(やおよろず)の神々』が登場する。これらの神々は山や川のような自然物の中に存在する」と論じた。自然の中に存在する神々に囲まれて生きていた古代の日本人にとって、自然は尊敬すべきものであったのである。

次は、日本の風土の視点から考察しよう。日本の面積のうち山地は7割以上であり、平地が少なく、日本の国土は豊かな森林にめぐまれている(jice.or.jp)。これに起因して日本列島には特徴的な山々による地域の分け方が存在する。すなわち、人里、里山、奥山という分け方である。何故これが日本的な自然との共生を表しているのか、これに関しては岩槻(2008)の議論に記されている。「人里」とは、人の住まいとして利用され、人里に隣接しているのは「里山」であり、里山の周辺の山や森林を「奥山」と呼ぶ。神々が宿っていて、一次的な自然のある場所、すなわち、奥山は人間が足を踏み入れるところではない。そのため、里山は緩衝地帯として保たれ、二次的自然の場所として人間が自然と接する機会を与えたのである。しかしながら、明治維新による日本の急速な近代化のため、古来から継続した自然の崇拝そして人間と自然の共生感が薄らいできたと言われている(岩槻

2008)。

2.2 平安時代

日本人の季節感の歴史において平安時代は節目となるであろう。まず、吉田 (2001 p.6) によると、「平安時代は、中国文化の影響が減少し、国風文化が形成され、日本の自然環境に適した生活様式が見直された時期でもあった」ということである。仮名が成立した時代に国風文学が発展し、「日本人独自の感情や感覚が述べやすくなった」(吉田 2001 p.6)。そのため、『枕草子』や『源氏物語』のような名作が生まれたと考えられている。その上、平安時代に書かれた日本の最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』(905年)が次の千年間の日本における季節文化の模範となったと言われている(白根 2012)。奈良時代に始まった季節の歌は平安時代と室町時代に洗練され、江戸時代の俳諧に通じて大幅に大衆化されたのである(白根 2012)。当時の時代背景に基づいて書かれた歌は四季による分類が行われ、季節意識が更に強調された(吉田 2001)。さらに、貴族が住んでいた平安の宮廷は風流の世界であった。和歌や舞踊を通じて季節に根付いた伝統行事のお祝いをし、独特な季節感が形成されたのである。

この独特な季節感、そして古代日本人と自然の共生を理解するため、平安時代の建築も見ることがある。当時、女性は普段から出歩きせず、自分の家に閉じ込められた存在であったと思われる。彼女らにとって自然と触れ合える機会は、住宅の中から見られるもの、つまり、絵巻物、屏風絵、襖絵(四季絵、月並み絵、名所絵)、そして寝殿造りの庭園であった(白根 2012)。寝殿造りの構造を見ると、移動や取り外しが可能な障屏具のおかげで部屋が直接庭に通じ、人の家と外の世界が一体化するような住まいであり、縁側を作り上げるための軒下が平安文化の舞台となった。かくして、自然と接することを止めずに季節の移り変わりを目にすることによって日本人の季節を重視する文化が継承されたとは言えるが、この時期に人々はすでに二次的自然としか触れ合っていなかったのかもしれない。

2.3 中世と近世

中世では前述した「寝殿造り」の後継として伝統的な和風住宅の模範である「書院造」という住宅の様式が普及した。武家住宅であり、床の間の中心に建てられた書院造は人間と自然界の一体化を更に強調した(白根 2012)。「自然は庭園にのみならず家屋の中にも取り入れられるようになった」(國谷 1984 p.11)ため、床の間が伝統的な芸能の舞台となり、生け花、茶の湯などが発展した。当時、屋敷の庭がさらに小さくなり、寝殿造りの庭と違って、歩く場所ではなく、眺めるべきものであった(枯山水庭)(白根 2012)。こうして上位文化であった草花の栽培が武士や平民の間に広まってきた(白根 2012)。平安京を中心に広がった自然の表現が平民の自然観をも、花見のような年中行事が大衆文化の一部となった。しかし、平民にとって花見はただの祭りで、お酒や食べ物を楽しむ、わずかな気晴らしでしかなかった。

当時の習慣、風習、考え方、文化の特徴を理解するために、文学の視点からも検討しなければならない。近世に最も普及した日本文学の形式は俳諧である。文学的に、和歌や連歌に根ざす俳諧は近世社会のあらゆる層に普及した。伝統的な詩に用いられて最も知られた季語は、花、ほととぎす、月、紅葉、雪がある。それに対して、16世紀に導入された俳

諧に用いられる俳言という季語（たんぽぽ、にんにく、わさび、猫の恋）は平民の日常生活を描くものであった（白根 2012）。これらの平民に関する俳言は昔の上品な季語と対照するものである。当時、食べ物が季節を連想するものになる傾向が高かった。さらに、内陸部に位置した都（奈良、京都）は江戸時代に港湾都市に遷都し、大阪と江戸を中心とする商売が文学と視覚文化に強い影響を与えた（例：料理物語・1643）、（白根 2012）。したがって、江戸時代に多くの食べ物が「季節化」され、人々が食文化を通して季節を意識してきた。これが中世・近世に起きた季節文化の大衆化の一要因である。

ここまでは、日本人の自然観と日本における季節文化の始まりとその展開を検討したが、本研究では現代において自然との共生感や季節感が保たれているかどうかを明らかにしたい。

3. 研究方法

本論文では研究方法としてアンケート調査とインタビューデータに基づいて分析した。

3.1 データ収集

一つ目のリサーチクエスションは四季の国における季節文化（日本・ルーマニア）の共通点と相違点である。先行研究や私自身の体験や観察を含め、アンケート調査とインタビューを行った。白根（2012）によると、日本における自然観と季節感は固定化せずに、時代の潮流に乗って変容してきたものである。白根（2012）が述べたように、何千年に渡って奈良時代から江戸時代までに描かれた自然の描写がその時世の価値観や社会階層などを反映してきたと論じた。日本人の豊かな季節文化を考察し、どうして欧州には同じ現象が起きなかったのかと考えずにはいられない。そのため、本研究ではルーマニア人が持つ季節感を理解した上で、日本人の自然観と比較した。

データ収集は、Google Forms でアンケートを作成し、日本人 23 名の回答者を集めた（表 1）。回答者は、研究者の個人的ネットワークを使い、メールで連絡をし、協力を依頼した。そして、透明性のため、ルーマニア人 10 名にインタビューを行った（表 2）。両方の回答を比べながら、ルーマニアと日本の季節に対する態度の同異を探った。ルーマニア人に対してアンケートではなくインタビューをした理由は、アンケートの回答者数が少なかったからである。さらに、ルーマニア人は「季節」というものをよく意識せず、季節文化という概念はよく知られておらず、各質問の説明が長くなったために、インタビューの形でデータ収集することにした。

表 1. 日本人回答者の年齢と性別

年齢		女性	男性
20代	14名 (60.9%)	8名	6名
30代	6名 (26.1%)	6名	—
40代	1名 (4.3%)	1名	—
50代	2名 (8.7%)	2名	—
60代	—	—	—

表 2. ルーマニア人回答者の年齢と性別

年齢		女性	男性
20代	7名	4名	3名
30代	—	—	—
40代	2名	2名	—
50代	—	—	—
60代	1名	1名	—

二つ目のリサーチクエスチョンは、現在、日本人が季節に関する事柄についてどの程度知識があるか、及びどれくらい関心があるのかである。つまり、一般的な日本人はこの話題についてどれくらい知っているのか、どれくらい興味を持っているのかを明らかにすることである。白根（2012）の「Japan and the Culture of the Four Seasons」に概ね基づいて質問を考え、アンケートを作成した。そして、回答者の季節感や季節に対する関心を見極めるための質問を入れるだけでなく、あえて一般知識ではないやや専門性の高い質問項目も含めた（アンケート調査の後半）。

3.2 対象者

現状を客観的に概観するため、できる限り異なる年齢層や様々な職業に就いている日本人の回答者を求めた（表 1）。23 名の中で 9 名は大学生、14 名は様々な職業にかかわっている方々である（会社員、公務員、歯科医師、宣教師、専門学校講師、自営業、管理栄養士）。ルーマニア側の回答者の 7 割は大学生で、社会人 2 名（会社員、郵便局員）、そして退職者 1 名である。

収集したデータをグラフにして具体的な情報を示し、自由記述の回答をそのまま分析する。自由記述回答から季節についての知識を示すコメントを抽出し、正しく理解しているものとそうではないものを分類した。それから、各季節のイメージによって、回答を分類し、グラフで整理した。アンケートとインタビューが共有している質問の回答を比べながら、ルーマニアの事情を把握した。

4. アンケート調査の結果

4.1 季節の意識

「季節の意識」、すなわち、日常生活で季節の事柄に気づくかを問う質問からアンケート調査の結果を示す。「四季の中で特に一つの季節を選び、その季節から連想される思い出を教えてください」という質問について、最も多い回答は「春」（11 名）で、その次は「夏」（7 名）、そして「秋」（4 名）と「冬」（1 名）であった。春から連想される思い出は主に「入学式・卒業式」、「花見、花の景色」であり、夏に関する思い出は全く同一せず、「お祭り」、「スポーツ大会やサークルでの練習」、「スイカ割り」、「家族や友達と過ごした時間」など、様々な肯定的な思い出であった。次の質問では、「季節を特に感じると思う、出来事、イベント、活動などについて、1 つ挙げて、季節を感じる理由を説明してください」と尋ねて、最も多い答えは「春」と「夏」に関連したもので、夏は 43.1%、春は 34.3%という割合で

あった。夏には「お花火」、「お祭り」、「海水浴」が特に季節を感じるものであり、春の場合は、「入学式」や「お花見」が季節感のある行事のようである。このカテゴリの最後の質問としては「学校で季節について教わったことがありますか。どのようなことを教わったか、説明してください」と聞き、半分以上の回答は「ない」または「忘れた」であった。一方、教わったことのある人からは「季節の歌」、「季語」、「俳句」、「行事」という答えが多かった。

最後に、季節を意識して服装を選ぶかを確認するため、季節に対する私見や持っている好意を探るような質問「季節感のある柄の服は普段から着ますか」を作成した。この質問に約48%の回答者は「着る」、44%は「着ない」と答え、他は「柄というより季節にあった色を選ぶ」と回答した。

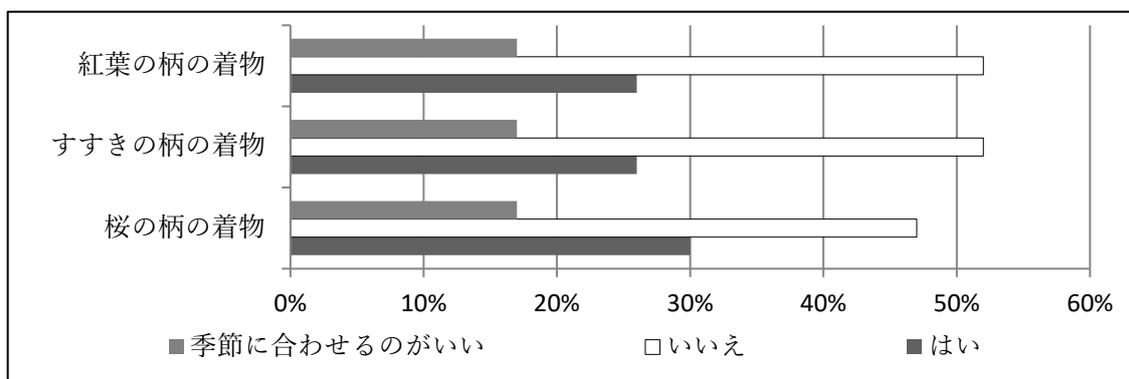


図1. 季節的文様のある着物はいつでも着るかどうか

「紅葉の柄の着物はどの季節に着ても良いと思いますか」という質問について、約26%の回答者は「はい」と答え、52%は「いいえ」、17%は「いつ着てもいいけど、季節に合わせるのがいい」と回答した（図1）。次に、「すすきの柄の着物はどの季節に着ても良いと思いますか」とについては上記と全く同じような答えであった。さらに、「桜の柄の着物はどの季節に着ても良いと思いますか？」という質問の回答は少し異なり、30%が「はい」、47%が「いいえ」、17%が「いつ着てもいいけど、季節に合わせるのがいい」という割合であった。

4.2 風物詩

この項目では、回答者の季節に対する私見や持っている好意を探る質問を作成した。

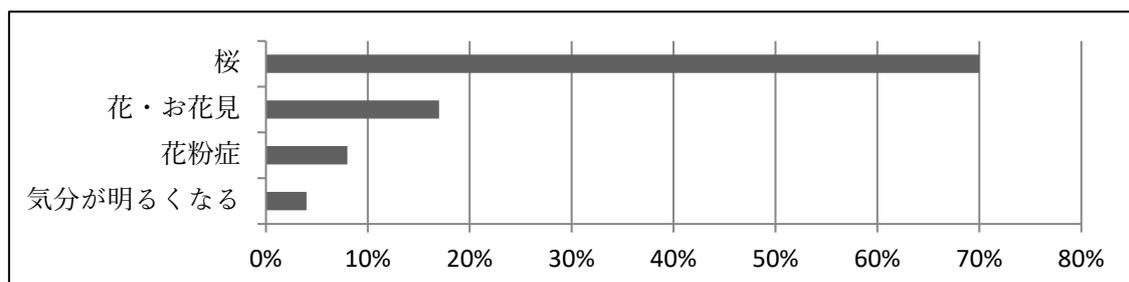


図2. 春と言って頭に最初に浮ぶ言葉

図2は回答者が春に関連すると考えている物事を指している。当然のことながら、日本の象徴として認められている「桜」は70%の回答にでてきて「花」や「お花見」はおそらく、ある程度桜のことを指しているのであろう。一方、花粉症を患う人には、春というと花粉症が最初に頭に浮ぶようである。

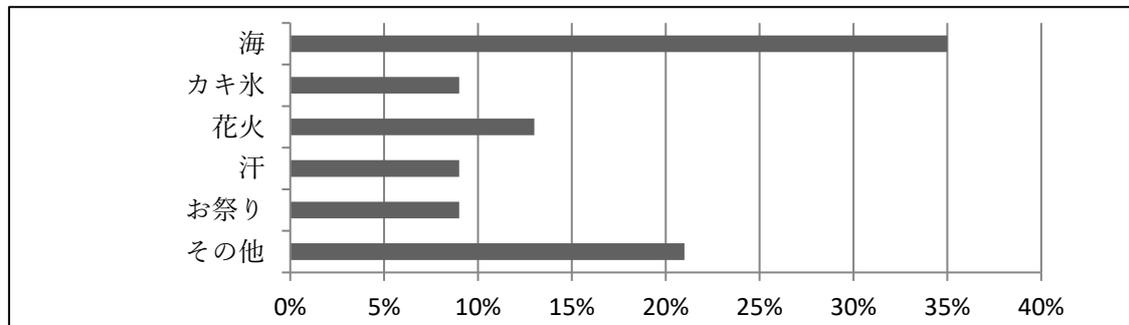


図3. 夏と言って頭に最初に浮ぶ言葉

四季の中でもっとも回答のバリエーションがあるのは夏であった（図3）。同一の回答は少ないが、「海」（35%）が一番多く、「花火」は12%、「カキ氷」、「汗」、「お祭り」はそれぞれ10%以下で、残りの21%は異なる物事であった（夕立、蝉、ひまわり、スイカなど）。

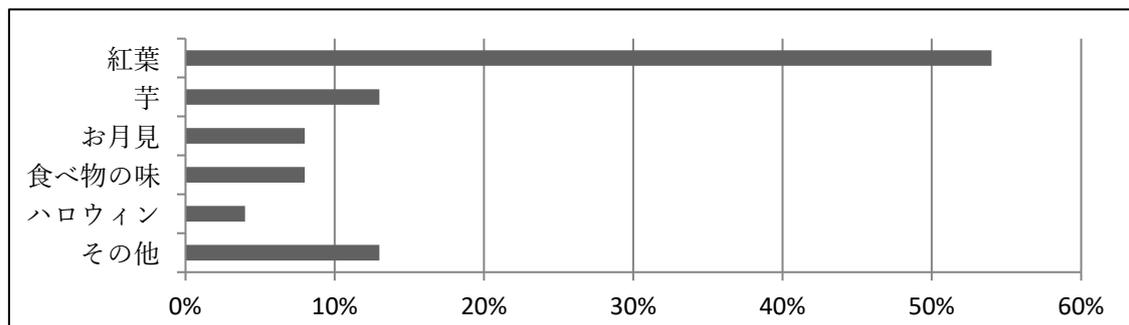


図4. 秋と言って頭に最初に浮ぶ言葉

日本人の秋に対するイメージは紅葉に強く影響されている（図4）。そして、収穫期や豊かさの季節とみなされる「芋」、「食べ物の味」、「美味しいご飯」という回答が3割ほどとなった。平安時代の慣習である「お月見」は比較的に見落とされているのが興味深い。しかしながら、現在にも秋は寂しい時期であり、「鈍い光」、「夕日」、「一年も残りわずかと寂しい気持ちになる」といった、懐かしい思いに浸れる季節という意見もでてきた。

予想通りに、冬といえば「雪」・「雪ダルマ」のような回答が半分近くで最も多かった（図5）。それから、海外から導入された行事である「クリスマス」が9%の回答で、寒い季節で暖かい鍋料理を食べるイメージがあるようで、13%の回答者が「鍋」と答えた。「寒い」、「こたつ」、「こたつでみかん」という回答が多く見られた。

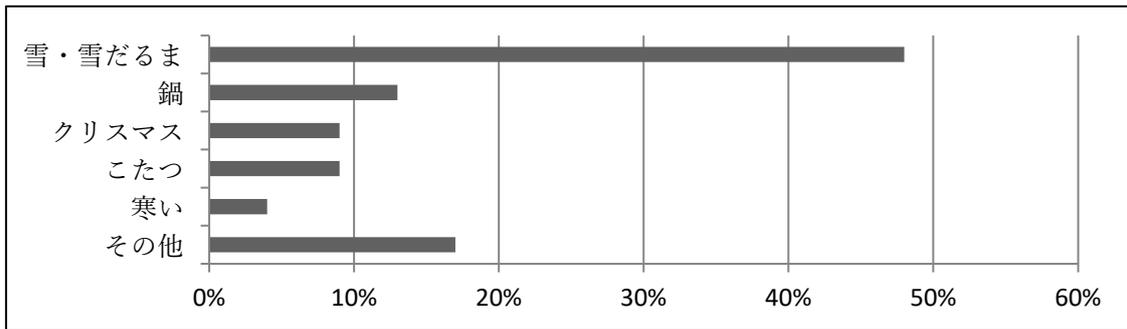


図 5. 冬と言って頭に最初に浮ぶ言葉

4.3 季節に関する知識

次に「ほととぎす」、「うぐいす」、「かり」というのが、それぞれどの季節に相当するかと聞いた。この三つの質問の回答を「正解」とそうではない回答に分けたところ、うぐいす（86%）の正答率は一番高く、「かり」は40%近く、「ほととぎす」は35%が正解であった。

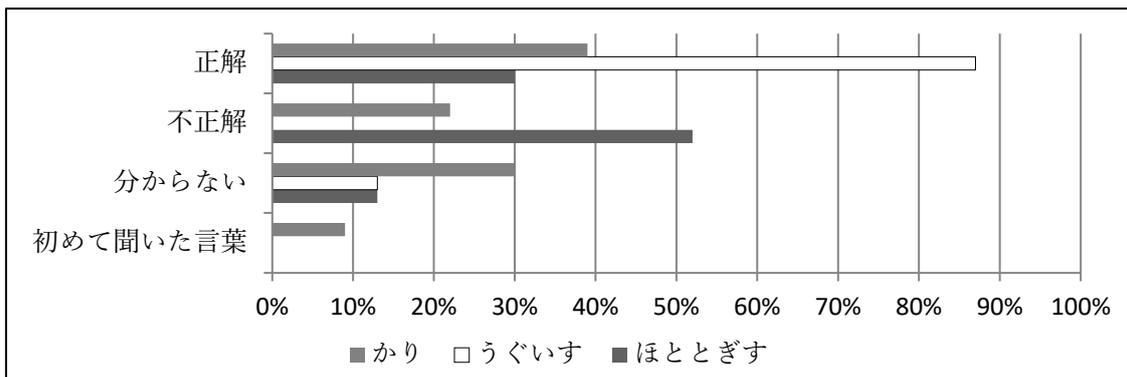


図 6. 鳴鳥に相当する季節を知っているかどうか

七十二候は、1年を24に分割した二十四節気のそれぞれをさらに3分割した中国由来の暦で、1つ1つの候にはその時期を表す名前がついている。古い概念であるため一般的に知られていないと考えられる。「七十二候のことはご存知ですか。一つ、二つ例を挙げてください」と「二十四節季のことはご存知ですか。一つ、二つ例を挙げてください」という質問において、前者では回答者全員が「いいえ」と答え、後者の回答では13%が「はい」と答え、適切な例が挙げられていた（春分、秋分、啓蟄、大寒）。

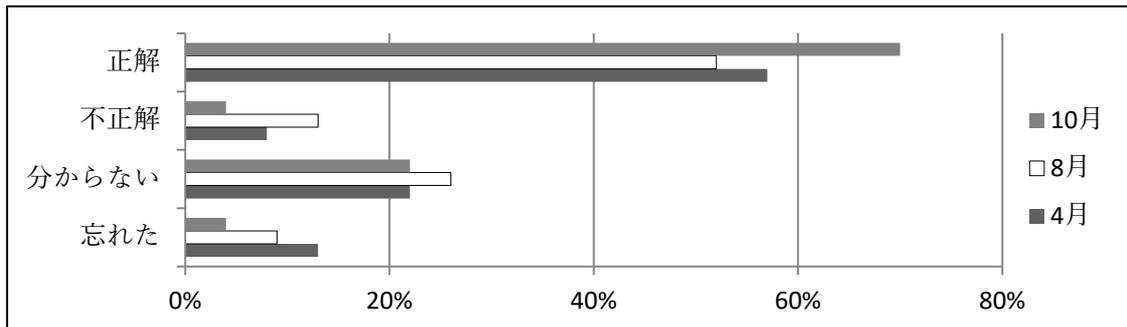


図7. 月の異名を知っているかどうか

アンケートの最後の部分では月の異名を3つ質問した(図7)。「万葉集」や「日本書紀」に用いられている旧暦の月の名前を現代の日本人は知っているのか、また、時の流れをどれくらい認識しているのかを検討するための質問である(図7)。一番間違えたのは8月「葉月」で、半分近くの回答が「不正解」・「分からない」・「忘れた」であった。4月「卯月」の正答は6割近くで、三つの中で「忘れた」という答えが一番多く、10月「神無月」の正答率は丁度7割であった。

5. ルーマニアと日本の比較検討

5.1 ルーマニアと日本の地理気候学的な異同

次に、ルーマニア人協力者のインタビューの結果を分析したい。日本人対象者のアンケート結果と比べながら結果を考察する。ルーマニアは北海道と同じ緯度に位置する中東欧の国である。四季の国とはいえ、ルーマニアの夏は暑く、冬に気温が0℃以下に下がり、北海道ほど多くないが、降雪も珍しくないのである。山地、丘陵地、平地がそれぞれ国の表面の約33%をおおう。カルパティア山脈、ドナウ・デルタ、スフンタ・アナ湖などの美しい自然景観を含め、風光の美で有名な国だと言える。更に、国の歴史上、ルーマニア人は自然の近くで暮らしていたが、日本人と違ってルーマニア人は自然を崇拝してこなかった。ゆえに、ルーマニア人には季節感の欠如があると思われる。ルーマニアで季節文化が成立しなかった原因は何なのかここで検討していく。

まず、霊的な視点から検討しよう。前に述べたように、日本人の自然観はアニミズムに神道の根源があることによって形成され、日本人は自然界の一部として自然と共生したのである。一方、國谷(1984 p.5)が論じたように「中世のキリスト教的世界では、神は超自然的、超人間的な創造者であり、人間はまた自然よりも優位に造られた被造物として、神と人間と自然とは連続せず、それぞれ分離している」。正教であるルーマニア人も同じ世界観を持っているのであろう。自然景観も「神様が描いた恵み」と言われていて、食べ物から、私たちが吸っている空気と人の命までも神様の意思に従うものであると考えられている(Danalache 2018)。人間は神様の意に服従し、自然は人間に支配されるべきものである。そのため、季節の移り変わりも冬の寒さや春に咲く花も、宗教的には二次的である。

二つ目の原因としてルーマニアの地形が挙げられる。日本の(現在の)森林面率は66%であり、日本人は森林を人里(人間が住んでいる村)、奥山(神が宿る一野生の自然の場所)、

里山（人里から奥山の移行地）に分け、自然と共生し、自然現象を人格化させた神を崇拝してきた（橋爪 2014）。それに対し、ルーマニアの（現在の）森林面率はわずかな 26% である。広く解釈すると、その結果の一つには伝統的に日本の家は木造であり、ルーマニアの住宅は土（粘土）からつくられていることが考えられる。歴史的にみて、日本の伝統的な建築（参考：寝殿造り、書院造、寺社、城など）では主に木が使用され、建物の自然な姿も人間と自然の共生感を強調したものとなっていた歴史があると考えられる（白根 2012）。

5.2 インタビュー結果分析

アンケート調査の質問と同じく、ルーマニアの調査協力者に「四季の中で特に一つの季節を選び、その季節から連想される思い出を教えてください」と尋ねた。30%の回答は「ない」で、夏から連想する思い出では「暑苦しさ」、「海」があり、冬は「腕の骨折」、「凍った鉄棒に舌が張り付いた」、「オレンジの匂い」などのように、季節から連想する思い出として主に否定的な思い出が一番頭に残っているようであった。

次の「季節を特に感じると思う、出来事、イベント、活動などについて、1 つ挙げて、季節を感じる理由を説明してください」という質問に関して、回答は三つのカテゴリに分けられる。第一は「正教会暦の聖別」、第二は「伝統的な慣習」、そして、第三は「食べ物や農業に関すること」という回答であった。「正教会暦の聖別」とは「Sfânta Maria」、「Sfântul Nicolae」、「Mucenicii」、「復活祭」などであり、第二の「伝統的な慣習」は「Mărțișor」、「Babele」、「sorcova」、「Sânzienele」などである。第三の「食べ物や農業に関すること」は「グリュウワイン」、「豚の屠殺」、「ぶどう狩り」、「漬物」などの回答が含まれていた。

「学校で季節について教わったことがありますか。どのようなことを教わったか、説明してください」という質問については、全ての回答が「科学的な情報」（80%）と「詩や伝説」（20%）に分けられた。「科学的な情報」とは「自然現象」、「各季節の特徴、気候」などであり、「詩や伝説」については「ババドキア」、「A venit toamna」、「Iarna」などという回答を得た。

「季節ごとに連想するもの」においては、冬については 90%の回答が「雪」、「白」、「そり」であり、春といえば「花」は 80%で、残りは「木」と「緑」であった。ここで注目してもらいたいのは単に「花」と答えた人もいるが、具体的な花の名前、例えば、「スノードロップ」、「ヒヤシンス」、「ライラック」、「チューリップ」を挙げた人もいた点である。そして、「桜」と答えた一人の回答者は日本語学習者である。

次に、夏的なものは「暑さ」、「汗」、「黄色」、「夏休み」で、秋と言って頭に最初に浮かんだ言葉は「茶色い葉っぱ」、「雲」、「学校の始まり」と答えた者もいた。興味深い事は、各々の季節からある色を連想する人が多かった。この発見はルーマニア人の考えでは季節はあいまいな存在として想起されているからではないかと考えられる。また、「（ルーマニアの）季節的な商品、食品など、ある季節に連想されている品物をいくつか教えてください」という問いに対しては、主に「果物」、「クリスマス商品」、「ない」という答えがあった。

最後に、「一年の 12 ヶ月の中でいくつかの月の異名の例を挙げてください」の回答は「誤

った異名を挙げた」が 60%、「わかりません」と回答した者が 20%で、正答率は 20%であった。

6. 考察

まず、ルーマニア人の季節に対する態度と日本人の季節感を比較したい。日本人は季節に肯定的な思い出を関連づける傾向があったが、一方で、ルーマニア人の季節から連想する思い出は相当否定的であった。次に、ルーマニア人と日本人の風物詩は根本的に違うということである。日本人は春という言葉を知ると、桜が思い浮かび、秋という言葉を知ると紅葉を連想する人が多いが、ルーマニア人の場合には、宗教が季節に先立つ。すなわち、ルーマニア人にとって、季節は様々な宗教的なお祝いや儀式行事が行われる「枠」にすぎない。それから、過去の日本人は和歌や文学を通じて自然や季節を感受し、今でも学校で季語や自然を敬うための年中行事のことを学ぶが、ルーマニア人は科学的な面から季節のことを学ぶようである。その他、ルーマニア人は季節にこだわらないことを示唆する結果としては、季節的な商品、節限定食品などは少ない、またはほとんどないからという可能性が示唆された。

次に、アンケート調査の結果で分かったことは、日本人は夏と春に肯定的な思い出を結び付ける傾向があった。一般的に、日本では、春は出会いと別れの季節と呼ばれ、満開の桜の場面で強い感情が溢れ、相当印象にのこるような季節だと言われている。夏は季節的な習慣が多く、人それぞれ夏の思い出作りのきっかけが異なるかもしれないが、やはり暖かい季節である夏も春も懐かしく振り返る時期のようである。学校で「季節の歌」、「季語」、「俳句」、「行事」について教わった記憶がある者もいて、それが季節に関する意識を示しているかもしれないが、多くの人がある学んだ内容の記憶がないようである。

各季節を代表するものに関して、秋、冬と春の重要な風物詩は古代から変わっていないことが分かった。そしてこの3つの中で「桜」が日本人の中では最も印象が強いようである。

白根（2012）によると江戸時代末期までは、俳諧の季語で桜（春）、ほととぎす（夏）、月、紅葉（秋）、雪（冬）が風流の極みであったと述べられている。だが、季節文化の大衆化とともに食べ物、鍋、汗など、通俗的なものも季節を代表するものとなり、季語になったようである。特に、夏の場合には、面白い現象が起こるようである。例えば、過去においては、夏の歌に最も登場したほととぎすがアンケートの回答には一切出て来なかった。都市内に住んでいる多くの現代人はほととぎす（の鳴き声）に親しみを感ぜないことがわかった。

次に、白根（2012）の作品で分かったことを踏まえて、アンケート調査の結果を比較する。白根によると、平安時代の貴族の女性が着ていた十二単は特に季節感を感じる服装であったとのことである。季節に合わせて、季節感のある柄の服として小袖が江戸時代の女性に着られていたのである。一方、現代の日本人は服装を選ぶ時、季節を意識しない傾向があった。昔は特定の季節にしか着られない文様、すなわち、着物に用いられる柄は年中着用できるようになったが、派手な植物などの柄のある服を避けようとしている人もいる。

近年では、伝統的な芸能に関わる人の数が激減している（白根 2012）。したがって、詩の世界に関わっている人も減りつつあり、季語である二十四節季や七十二候もよく知られていないであろう。春分、秋分は祝日でありながらも、二十四節季に属しているが、本研究の結果を踏まえるとその事実も一般的に知られていないようだ。更に、多くのカレンダーに月の異名が書いてあるが誰でも知っている知識のわけではないようだ。

これらの結果を考慮に入れると、日本の原始的な季節文化の残影がまだ見られることは確かである。季節の受け入れ方も時代や社会階層によって異なり、日本人の季節感はこれからも進化しつつあるであろう。

参考文献

阿部一（2011）The View Of Nature In Japanese Literature.

岩槻邦男（2008）Harmonious co-existence between nature and mankind: An ideal lifestyle for sustainability carried out in the traditional Japanese spirit.

國谷純一郎（1984）『ギリシヤ的自然観と日本の自然観—比較思想論的考察』

白根治夫（2012）Japan and the Culture of the Four Seasons: Columbia University Press

吉田美苗（2001）『日本の文様における季節感の表現に関する研究—春を中心として』広島女学院大学人間生活学研究科生活文化学専攻

オンライン資料

Arhitectură Tradițională (2016) Case naturale în România

<http://casenaturale.ro/arhitectura-traditionala>

Danalache Teodor (2009) Dumnezeu nu isi ia inapoi darurile

<https://www.crestinortodox.ro/editoriale/dumnezeu-isi-inapoi-darurile-142629.html>

「国土を知る / 意外と知らない日本の国土」Jice.or.jp, 国土技術研究センター

www.jice.or.jp/knowledge/japan/commentary07.

「里山とは」森林・林業学習館のロゴ www.shinrin-ringyou.com/topics/satoyama.php.

「七十二候」、中国語スクリプト <http://chugokugo-script.net/koyomi/shichijuuni-kou.html>

橋爪大三郎（2014）「日本人にとって神（カミ）とは」Nippon.com.

www.nippon.com/ja/in-depth/a02902/.

第Ⅱ部 修了報告会 発表資料

日時：2020年8月3日 午後1時20分～午後2時50分

オンライン発表会

潜んでいる無意識の優越感と同情 — 『鼻』を中心に —

1990070
朴加琳
韓国-啓明大学
2020.08.03

研究課題及び研究方法

RQ1: 『鼻』の登場人物は他人の不幸に対して優越感を感じて笑っているのか。

⇒文献調査(本作の表現分析:笑ったり、同情する表現を探す。)

RQ2: 同情と優越感を同時に持つことはできるのか。

⇒アンケート(Google Forms 韓国人、日本人 20代~50代 100人 程度)

作品内にとどまらず、現実の人々が同情と優越感を同時に抱くことができるのか
検証するため、RQ1とRQ2を設定

研究結果 RQ1

同情の表現は 少なく、笑いの表現は 多い

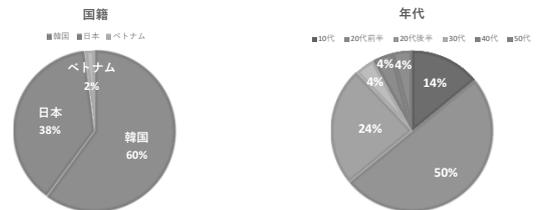
パニョル(1953 p.166)

「笑いはわれわれが他人にたいして忽如として瞬間的な優越感を抱いたときに発生する」= 「池の尾の町の者」が内供に優越感を感じ、笑った。

近藤良樹(2013 p.14)

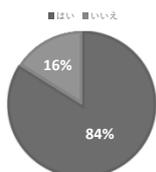
「同情は、優越し恵まれている立場の者が抱くものであり、自らは価値物の喪失はしていないし悲しんでもいない」= 「池の尾の町の者」が他者に対する優越感を持った立場で、内供を同情していた。

研究結果 RQ2

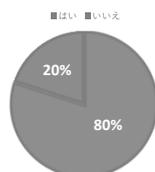


研究結果 RQ2

他人の不幸を見たり、経験したとき、
同情したことがありますか？



他人より自分が何かの点で優れていると
思ったことがありますか？



研究結果 RQ2



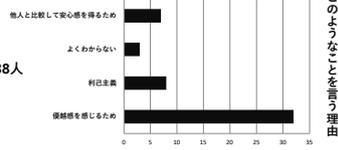
研究結果 RQ2

アフリカの飢餓と比べ

Aさん：「あなたはこの国で生まれてよかったね」

Bさん：「あの子どもよりいい環境で生まれたことに感謝しなくてはいけなくていい」という会話を耳にしたと仮定

- 「同感する」など肯定的な回答は12人
- 「比較は正しくない」など否定的な回答は38人



「はい」「いいえ」を言う理由

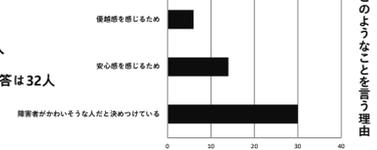
研究結果 RQ2

障害者に関して

Aさん：「かわいそうに…」

Bさん：「あなたは丈夫な身体であることに感謝しなさい」という会話を耳にしたと仮定

- 「同感する」など肯定的な回答は8人
- 「比較は正しくない」など否定的な回答は32人



「はい」「いいえ」を言う理由

考察

- 年齢を問わず、全員が他人の不幸を見たことがある
- 多数の人が他人の不幸に同情をする
- 過半数以上の人々が、他人より自分が何かの点で優れていると思った
- 他人の境遇(不幸)と自分を比較し、安心感を得たことがある人が過半数を超える

考察

- 飢餓は生まれた環境による違いで、その環境は変えられない
「比較は正しくない」という道徳的な回答が多い
- 障害者は生まれつきだけではなく、不意の事故などによる可能性あり(当事者になる可能性)
「障害者は同情的ではない」「不愉快」などのように感情的な回答が多い

考察

- 「はい」と「いいえ」の二択しか存在しなかったため、二分法的なアンケートとなった
= 中立的な選択があれば、より多くの意見をもらえたはず
- アンケートの回答を記述式ではなく、選択式の回答にしてもよかったはず

まとめ

- 「同情は、優越し恵まれている立場の者が抱くものであり、自らは価値物の喪失はしていないし悲しんでもいない」
= 同情は、上の立場の人間が抱くものであり、同情する、ということ自体が他人に対して優越感を感じる
- 『鼻』の登場人物は内供を見て、優越感を感じながら、笑い、同情した
- 同情する、ということが優越感を感じるためだという意見が多い
= 実際にも同情をしながら、優越感を感じる人がいる

参考文献リスト

芥川龍之介(2005)『羅生門・鼻』pp.19-30, 新潮文庫.

小野 隆(2008)「『鼻』論—かうなれば、もう誰も晒ふものはない—」pp.25-38,

専修大学日本語日本文学会 専修国文 第83号.

菅美燕(1994)「『鼻』論—孤立した人間への同情の虚実」pp.113-137, 高科大応用外語學報3民.

近藤良樹(2013)「同情における理解に仕方—「よくわかります」と同情する—」pp.13-28, [広島大学](#)

学術情報リポジトリ 17巻.

パニョル、マルセル(鈴木力衛訳)『笑いについて』, 1953(原著1947), 岩波書店

オンライン資料

同情, goo辞書, デジタル大辞泉, 小学館, [https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E5%90%8C%E6%83%85/#jn-156039\(2019年12月14日アクセス\)](https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E5%90%8C%E6%83%85/#jn-156039(2019年12月14日アクセス))

優越感, goo辞書, デジタル大辞泉, 小学館, [https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E5%84%AA%E8%B6%BA%E6%84%9F/#jn-223809\(2019年12月14日アクセス\)](https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E5%84%AA%E8%B6%BA%E6%84%9F/#jn-223809(2019年12月14日アクセス))

日本語・日本文化研修留学生修了レポート報告会

日本のスポーツ・アニメの中の女性キャラクターの地位

—2000年代に放送されたアニメの分析を通して—

チョ・ソネ
韓国
同徳女子大学
2020.08.03

- 研究課題 1

1. 現在、日本のスポーツ・アニメで女性キャラクターの描写において、どんな問題点があるのかを明らかにする。
2. スポーツ・アニメに登場する女性キャラクターの位置づけに対して視聴者が思うことを明らかにする。

- 調査方法 2

アニメの視聴 & 分析
①『黒子のバスケ』『ハイキュー!!』『ベイブレードバースト』『FREE!』の初期の一部を視聴
②女性キャラクターの特徴を分析

質問リストの作成
インタビューの準備

インタビューを実施
電話でインタビュー

インタビューの内容を文字化
まとめ

- 研究結果：スポーツ・アニメの問題点 3

- 問題点① 女性キャラクターの身体が浮き彫りに描写されていること
- 問題点② 女性キャラクターが男性キャラクターにとって、性的対象あるいは異性愛の対象（恋愛の対象）として捉えられていること
- 問題点③ 性に関するステレオタイプの考えが作用していること
- 問題点④ 会話の中でセクハラ的な冗談が行われていること

- 研究結果：インタビューの回答分析 3

- 問題点① 女性キャラクターの身体が浮き彫りに描写されていること → インタビューの結果① 否定的に思った人 → 誤った性的観念を浮き彫りにしている → この影響で、日常の中で女性が性的な眼差しを受けることもある → 不快感を覚えなかった人
- 問題点② 女性キャラクターが男性キャラクターにとって、性的対象あるいは異性愛の対象（恋愛の対象）として捉えられていること → インタビューの結果② 不快感を示した人は少なかった

- 研究結果：インタビューの回答分析 3

- 問題点③ 性に関するステレオタイプの考えが作用していること → インタビューの結果③ 男性マネージャー役に対するステレオタイプ把握 ✗ 「男性はプレー役」というステレオタイプが確認
- 問題点④ 会話の中でセクハラ的な冗談が行われていること → インタビューの結果④ 問題意識を持っている人、そこまで問題として捉えない人に分かれる (問題意識を持たない理由：アニメと現実世界を分けて考えているため)

▶ **アニメによって指摘できる要素は異なる**

『黒子のバスケ』：女性キャラクターの身体を露骨に描写

⇨特別なスキルを持ち、物語の展開上で活躍する女性キャラクター

『ハイキュー!!』：女性キャラクター → 男性キャラクターの性的な対象・異性愛の対象

『ベイブレード』：女性キャラクター → 恋愛の対象

『FREE!』：男性キャラクターの身体を強調⇨女性を性的な対象として描くことも確認

▶ **韓国人協力者：文化的な相違として把握している人も**

ジェンダーの観点で問題 ✕ → 韓国のメディアで放送されると問題になると回答

▶ **日本人回答者は主に日本のアニメの問題点を深く考えたことがない傾向**

今後、文化的な背景によってアニメの受け入れ方に影響があるのかを調べていきたい

- ・ 天野正子・木村涼子 (2003) 「女性キャラはなぜ一人?アニメや漫画におけるジェンダー」『ジェンダーで学ぶ教育』 pp.42-59, 世界思想社
- ・ 玉飛・高橋光輝 (2016) 「フェミニズムの視点からみる日本近代アニメ」『研究報告グループウェアとネットワークサービス』2016-GN-97巻, 第7号, pp.1-7
- ・ 熊野七絵・廣利正代 (2008) 「『アニメ・マンガ』調査研究—地域事情と日本語教材—」『国際交流基金日本語教育紀要』第4号, pp.55-69
- ・ 藤田由美子 (1996) 「テレビ・アニメ番組にあらわれた女性像・男性像の分析—ステレオタイプの描写の検討を中心に—」『子ども会研究』第2号, pp.33-46
- ・ 藤田由美子 (2017) 「大学生はいかにスポーツマンガを読むか—攪乱のジェンダー表象をめぐる解釈的インタビューの分析—」『福岡大学人文論叢』第49巻, 第1号, pp.275-306
- ・ 藤村久美子・伊藤めぐみ (2004) 「テレビアニメが子どものジェンダー意識の形成に及ぼす影響—内容分析と子どもへの聞き取り調査を中心として—」『人文・社会科学論集』第21号, pp.127-153

日本人とタイ人の若者における一人称の使用 —女性の使用傾向を中心に—

アサワヴェットウット・ジャイサイ

研究テーマの説明

- 日本語を勉強している外国人の多くは、自分のことを示すのに「わたし」に頼りがちな印象を受ける。
- 日本語学習者のタイ人と日本人の大学生の一人称の使用傾向を比較するという研究課題である。
- タイ人と日本人の人の関係に関する考え方がわかるようになるだろう。

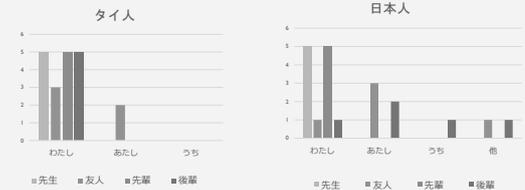
研究方法

- 対象
 - 女子大生の日本人 5人
 - 日本語学習者のタイ人の女性 5人
- インタビュー
- ロールプレイ (先生、友人、先輩、後輩)
- 3つの場面
 - 依頼場面
 - 謝罪場面
 - 断り場面

研究結果

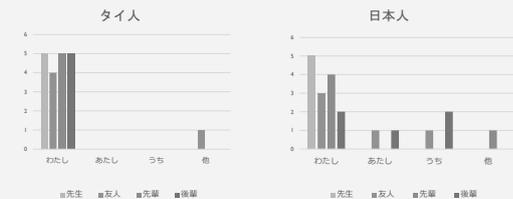
- 依頼場面のロールプレイ (先生、友人、先輩、後輩) が「誰か隣の部屋から本を持ってきてくれない?」と言いました。あなたが取ってきてあげようということを伝えたいとき、次の聞き手に対してどのような一人称を使いますか。

— () が取ってきます/取ってくる。



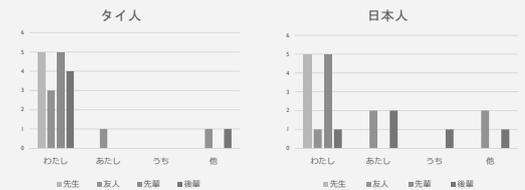
- 謝罪場面のロールプレイ あなたはあるミスをして、(先生、友人、先輩、後輩、親) を不快にさせてしまいました。次の聞き手に対してどのような一人称を使いますか。

— () が悪かったです/悪かった。



- 断り場面のロールプレイ (先生、友人、先輩、後輩) に様々な所に誘われました。しかしその日あなたの都合が悪くて、断らなければなりません。次の聞き手に対してどのような一人称を使いますか。

— () は行けなくなりました/行けなくなりました。



結果分析

タイ人

- 先生と先輩は必ず「わたし」を使う
- 友人に対して、「わたし」が最も使われているが、「あたし」と「一人称を使わない」を選んだ人もいる。
- 「うち」を選ぶ人は全くいない。

日本人

- 先生と先輩は必ず「わたし」を使う
- 友人と後輩はバリエーションがある。
- 先生 = 先輩
- 友人 = 後輩

女性語だけではなく、男性語の「俺」や「僕」の使用仕方についても今後の課題にしたい

参考文献

- 小島玲子、2017、「女子大学生の自称詞使用の変化—2001年と2011年を比較して—」、『桜花学園大学保育学部研究紀要』、第16号、pp.65-77
- 鈴木孝夫、1973、『ことばと文化』、岩波書店
- 西川由紀子、2011、「女子学生の自称詞の使い分け：わたし・うち・名前」、『研究紀要（華頂大学）』、第56号、pp.91-99
- 野原加奈子・松田勇一、2015、「大学生の一人称の使用についての研究」
- 村中淑子、2015、「関西方言の自称詞・対称詞に関する覚え書き」、『現象と秩序』、第3号、pp.69-80
- 山西正子・山田蘭子、2008、「「あたし」考」、『目白大学人文学研究』、第4号、pp.183-200
- スイリアチャー ロイクオ・上原 聡、2016、「対訳コーパスを使った日本語とタイ語における一人称表現使用の対照分析—漫画における一人称表現の出現数を中心に—」、『言語処理学会 第22回年次大会 発表論文集』、pp.1117-1120
- シンカーリン カノック、2002、「社会的な観点から見た日本語とタイ語におけるゼロ代名詞」、『藝文研究』、第82号、pp.186-201

日本の小説化

意義と分析

エロイーザ・カテーナ（イタリア）
日研生修了レポート最終報告会

小説化とは

- ▶ 映画又はシナリオの改作 映画 ➡ 本
- ▶ 「メディアミックス」に絡んでいる現象。
- ▶ 映画から生じた現象。

研究課題

- ▶ 小説化の要素や特徴を明らかにする。
- ▶ 映画と小説版との相違点から、文学と映画の関係性についてさらに理解を深める。
- ▶ 日本の小説化の特徴を明らかにする ➡ 日本アニメーション映画の小説化の分析

分析手続き

1. 作品を通読・視聴し、相違点と共通点をリスト化する。
2. 傾向や特徴を明らかにする。

言の葉の庭

	映画	小説化
語り手	主人公の秋月孝雄	章ごとに交代で 例) 第三話→秋月翔太 第十話→秋月伶美
時期	六月～九月	過去・現代・未来
最後	二人実際の再会 ➡ 不明	孝雄と雷野の再会

千と千尋の神隠し

映画	小説化（漫画化）
ロングショット	挿絵の一つだけ
音楽・人物の動きと表情	擬音語・擬声語・擬態語
長い物語	話の進度が速い

小説化の傾向

言の葉の庭

千と千尋の神隠し



拡大



擬態

- 映画の翻案（改作）
- 監督の創作を深める
- 映画の話の補充

- 映画の翻訳
- そのままに話を漫画化にする
- ファン向けの作品

分析からの考察

- 特定の種類、傾向がない。
- ある程度融通性がある作品である。
- 映画の話から独立できる。
- 昔の小説の種類と似ている可能性がある。

参考文献リスト

- > Boefers, Jan (2005). Novelization, a Contaminated Genre? *Critical Inquiry*, 32 (1), 43-60.
- > Boefers, Jan (2010). Expanding the Field of Constraint: Novelization as an Example of Multiply Constrained Writing. *Poetics Today*, 31 (1), 51-79.
- > Coudreau, André and Philippe Marion (2003). Dal filmico al letterario: I testi dei cataloghi della cinematografia-illustrazione. In: *Forum Edizioni, Il racconto del film, La novelizzazione: dal catalogo al trailer/Narrating the Film, Novelizations from the Catalogue to the Trailer*, 25-35.
- > Genow, Aaron (2000). The Word before the Image: Criticism, the Screenplay, and the Regulation of Meaning in Prewar Japanese Film Culture. *Word and Image in Japanese Cinema*, 3-35.
- > Van Parys, Thomas (2011). The study of novelization: A typology and secondary bibliography. *Belphegor: Littérature Populaire et Culture*, 10(2).
- > 宮崎駿 (2019). 『千と千尋の神隠し』. 文春シブリ文庫, シネマ・コミック12, 544p.
- > 新海誠 (2016) 『言の葉の庭』. 角川文庫, 396p.
- > 西田谷洋 (2017). 『物語のサンプリング-村上春樹と新海誠』 『人間発達科学部紀要』 11(3), pp.59-66.
- > 藤元直樹 (2012). 『紙に描かれた映画たち-大正期連続活劇映画のノベライゼーション』 『国立国会図書館』 420, pp.2-3.
- > 波戸勇樹太 (2020). 『映画ノベライゼーションの世界: スクリーンから小説へ』. 小島遊書房, 200p.
- > 文春シブリ文庫 (2016). 『千と千尋の神隠し』. 文春シブリ文庫, シブリの教科書12, 256p.
- > 野口光一 (2017). 『メディア変革期における「メディアミックス」の展開——『妖怪ウォッチ』を事例に——』 『The Japanese Journal of Animation Studies』 19(1), pp.31-44.

日本語の形容詞の敬語表現： ベトナム人日本語学習者の使用状況

ダオ ティ トウエツト
ベトナム・ハノイ大学
日研修了レポート報告会

1

1. 形容詞の敬語

- 「お/ご～です」: 尊敬語、謙讓語 (相手に対する感情)
- 「～て/でいらっしやる」: 尊敬語 (人の主語)
- 「音便形+ございます」: 謙讓語、丁寧語

2

2. 研究の目的

- 形容詞の敬語表現に対してベトナム人の使用傾向を考察する
- 誤用の例文に対する学習者の判別力を明らかにする

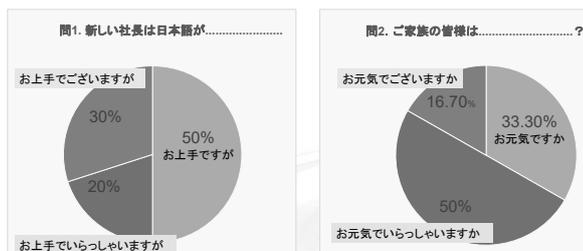
3

3. 研究方法

- 方法: アンケート調査 - インターネット上(グーグルフォーム使用)
- 対象者: ベトナム人日本語学習者(大学3・4年生) - 30人

4

4. 調査結果 「選択肢問題」の集計結果



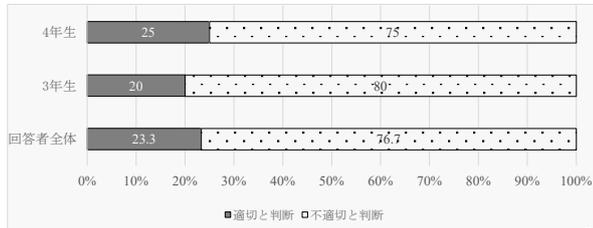
5

「○×問題」の集計結果(%)

	適切と判断	不適切と判断
1.先生は、今週末忙しいゅうございますか。	23.3	76.7
2.先生の部屋の花はきれいでいらっしやいますね	43.3	56.7
3.僕たちの活動に興味を持ってくださっただけで嬉しいです.	46.7	53.3
4.A: あちら様、今度バリへご転勤ですって... B: まあ、おうらやましていらっしやるね!	46.7	53.3
5.お求めやすい金額になっていますので、この機会に是非どうぞ	80.0	20.0

6

例文1:先生は、今週末忙しゅうございますか。



5. 考察

- ・ 回答者が「お/ご～です」の型を使う頻度は最も高いが、謙譲語として用いられる際の注意点を把握していない学習者が多い。
- ・ 「～ていらっしゃる」と「音便形+ございます」に訂正した人がいない。
- ・ 誤用の例文に対する判別力に学年による違いがない。

参考文献

- ・ 菊地康人(1994)「敬語」東京:角川書店
- ・ 国際交流基金(2019)「2018年度海外日本語教育機関調査結果」
- ・ 柴田武(1957)「おの付く語 付かない語」言語生活 70号 40-49 東京:筑摩書房
- ・ 文化審議会答申(2007)「敬語の指針」文化庁
- ・ 細川英雄(1995)「形容詞・副詞の敬語法」國文學解釈と教材の研究 40巻 14号 学燈社
- ・ 村田志保(2012)「形容詞の敬語表現と接頭辞『お/ご』の関連性について」人間

四季の国における季節文化

—日本の季節文化の起源と現状—

サフタ アナマリア カロリナ

日研生修了レポート発表会

2020年8月3日

研究テーマの説明

1. 現代の日本人が季節のことについてどの程度の知識及び関心を持っているのか
2. 四季の国であるルーマニアでは豊かな季節文化が成立しなかった要因

日本人と季節

- 森林面率: 66%
- **アニミズム**的な自然観
- 自然現象を人格化させた神
- 自然との共生

ルーマニア人と季節

- 森林面率: 26%
- **正教**である国
- 人間、自然界、すべてのものが神様の意思に従う
- 季節が宗教的なお祝いや儀式行事の「枠」

研究方法

RQ.1 現代の日本人が季節のことについてどの程度の知識及び関心を持っているのか

データ収集: アンケート調査

対象者: 日本人 23名; 20代~50代

RQ.2 四季の国であるルーマニアでは豊かな季節文化が成立しなかった要因

データ収集: インタビュー

対象者: ルーマニア人 10名; 20代~60代

アンケート調査の結果

各季節の風物詩

秋	冬	春	夏
紅葉 54%	雪・雪だるま 48%	桜 70%	海 35%
芋	鍋	花・お花見	花火
お月見	クリスマス	花粉症	かき氷
食べ物の味	こたつ	気分が明るくなる	お祭り

→ 俳諧に用いた季語: (秋)紅葉・お月見、(冬)雪、(春)桜、(夏)ほととぎす

インタビュー結果

I. 「季節に感じる出来事、イベント、活動などを教えてください」

1. 正教会暦の聖別
2. 伝統的な慣習
3. 食べ物や農業に関すること

II. 「月の異名を教えてください(4月、8月、10月)」

ルーマニア人回答者の正答率 | 20%

日本人回答者の正答率 | 60%

インタビュー結果

III.「四季の中で一つの季節を選び、その季節から連想する思い出を教えてください」

日本人

- ⇒春(47.3%):「入学・卒業式」、「花見、花の景色」
- ⇒夏(30.1%):「お祭り」、「スイカ割り」、「家族や友達と過ごした時間」、「スポーツ大会やサークルでの練習」

ルーマニア人

- ⇒夏:暑苦しさ、海
- ⇒冬:「腕の骨折」、「オレンジの匂い」、「凍った鉄棒に舌が張り付いた」
- ⇒ない(30%)

考察

- ⇒季節感 ⇒ 風土や宗教に影響される
- ⇒季節文化の大衆化が続いている
- ⇒ルーマニアでは宗教が季節に先立つ ⇒ 季節の意識が弱い
- ⇒季節に関して
 - ⇒日本人 | 肯定的な態度
 - ⇒ルーマニア人 | 否定的な態度

参考文献

- > 國谷純一郎(1984)『ギリシャの自然観と日本の自然観—比較思想的考察』
- > 自撰 治夫(2012)*Japan and the Culture of the Four Seasons: Columbia University Press*
- > 岩槻邦男(2008)*Harmonious co-existence between nature and mankind: An ideal lifestyle for sustainability carried out in the traditional Japanese spirit.*
- > 吉田美苗(2001)『日本の文様における季節感の表現に関する研究—春を中心として』 広島女学院大学人間生活学研究科生活文化学専攻
- > 阿部一(2011) *The View Of Nature In Japanese Literature.*

オンライン資料

- > Danalache Teodor (2009) Dumnezeu nu isi ia inapoi darurile
<https://www.crestinortodox.ro/editoriale/dumnezeu-isi-inapoi-darurile-142629.html>
- > Arhitectură Tradițională (2016) Case naturale in România
<http://casenaturale.ro/arhitectura-traditionala/>
- > 橋爪 大三郎 (2014)「日本人にとって神(カミ)とは」*Nippon.com.*
www.nippon.com/ja/in-depth/a02902/

お疲れ様、そしていつかまた

森山 新

今回は韓国、ベトナム、タイ、イタリア、ルーマニアから6名の日本語・日本文化研修生がここ、お茶の水女子大学に集い、1年間の留学生生活の集大成として、この修了レポートを作成しました。どのレポートも力作ぞろいで、みなさんの興味・関心と意気込みが伝わってきます。これを完成させるため、みなさんほんとうによくがんばったと思います。

この修了レポートは、研究計画に始まり、先行研究を日本語でも読み、課題を見出し、それにあつた方法論を定め、文献やインタビュー、アンケートなどを用いながらデータを集め、プレゼンテーションを行い、文章としてまとめるという一連のプロセスを考えると、単なるレポートではなく、論文に近い位置付けになると思います。しかもそれを日本語という第二言語で書いたということは、皆さんの日本語と専門性、そして皆さんの研究スキルを大いに高めてくれたと思います。

お茶の水女子大学は、これまで日本の第二言語としての日本語教育を牽引してきました。毎年、優秀な学生が本学で集中的に日本語・日本文化を学び、その成果を修了レポートとして作成し、お茶大を巣立ってゆきます。今回、本学で学んだ6名の皆さんも、ぜひまた、その専門性を深めて、本学の大学院に帰って来ていただけたらと思っています。

今回みなさんは、コロナのパンデミックの影響で、後半は思うようにキャンパスライフを楽しんだり、日本のあちこちに行ってその文化を体験したりすることが困難になってしまい、非常に残念に思っています。しかし戦後最大の危機とも言われるこの時期を海外にて過ごした経験は、これまでの日研生とは別の意味で様々な学びが得られたことと思います。

また現在、世界は国家と国家を分断する様々な対立が引き起こされています。しかしたとえ国家間、政治レベルでは対立を抱えていたとしても、我々の努力次第で友好的な関係を維持、増進することも決して不可能なことではないと思っています。最近、私は複言語・複文化主義に基づいた言語教育に関心を持っています。これは現在、統合ヨーロッパが地域共同体建設のために用いている考え方で、他の言語や文化を学ぶことを通し、異なる言語、文化を学ぶだけでなく、様々な考え方、価値観などを理解し、そのようなプロセスを通じて共に生きる人間性を育み、国、文化を超えたアイデンティティやシティズンシップを築こうとするものです。本学で学んだ皆さんが、日本まで来て、生活、交流し、日本語を用い、それぞれの関心に基づいて、日本の様々なことについて研究し、理解を深めたわけですが、それは必ずや、皆さんの人間としての幅や深みを育て、世界市民として成長させてくれたと信じています。さらに、そのような経験をもとに、これから皆さんが日本とみなさんの国をつなぐ人材として活躍してくれることを心から祈ってやみません。

皆さんが、お茶大で学んだ経験を糧に、今後さらなる飛躍をされることを心から願っています。お疲れ様、そしていつかまた。

修了おめでとうございます

西川 朋美

1年間のお茶大での留学生活はいかがでしたか。と言っても、2020年度前期はコロナウイルスのために、大学が閉鎖された期間もあり、授業開始が約1か月遅れた上に、多くの授業が1学期間オンラインでの授業を余儀なくされました。授業自体は行われていたので、勉強することはできたとしても、せっかく日本に留学に来たのに、大学のキャンパスには入れない、友達にも先生にも会えないのは、寂しかったのではないかと思います。さらには、休みの日に出かけたくても外出自粛などと言われて、本当につまらなかったのではないかと思います。そして、本当なら今頃、東京はオリンピック一色だったはずですよ。

これまでとは全く勝手の違う1学期間でしたが、私個人としては、普段の学期から日研生のみなさんと授業などで顔を合わせる機会があまりなく、通常の学期と同じように、特設日本語の先生方用のメーリングリストに送られてくる授業報告を読みながら、みなさんの様子を見守っていました。日研指導をご担当の櫻井先生からは、「みなさん、レポートをがんばっています」という報告があり、他のクラスの先生方からは「日研生のみなさん、レポートでお疲れのようです」との報告があり、どちらを読んでも、日研生のみなさんのがんばりが伝わってきました。きっと櫻井先生のことですから、ITを駆使して、私なんかよりもずっと効率的にオンライン授業をなさっていたのでしょよね。その証拠に、今年度もいつもの年に負けない、良いレポートがたくさん仕上がってきたと思います。

この挨拶文を書くにあたって、みなさんのレポートの初校を送っていただきました。1月の中間発表の時に聞かせてもらった、みなさんの研究テーマがきちんとした形になっていて、興味深く拝見させていただきました。朴さんの『鼻』に関する論考、チョさんの女性キャラクターに注目したアニメの分析、エロイーザさんの日本のアニメ映画の小説化の話、カロリナさんの季節文化に関するレポートの4本は、伝統文化から現代文化まで幅広く日本文化を扱っていて、世界中から集まってくる日研生たちのみなさんの視点から見た日本がとても新鮮でした。ジャイサイさんの日本語一人称の調査、ダオさんの形容詞の敬語表現の調査の2本は、どちらも私の専門分野でもある日本語教育に関する研究ですが、目の付け所がとても面白いと思いました。それぞれ自分なりに満足の得る答えが見つかりましたか。見つかった人も、見つからなかった人も、是非これからも何らかの形で、日本、そして母国の文化や言語について、視野を広げていってくださいね。

留学生活はもうすぐ終わりを迎えますが、勉強も遊びも、もっともっと日本でやりたかったことがあるのではないかと思います。是非また戻ってきてください。お茶大に、東京に。またお会いできるのを楽しみにしています。

日研生レポート集の完成に際して

萩原 章子

日本語・日本文化研修留学生の皆さん、修了おめでとうございます。2020年の3月ごろから、コロナ感染が世界全体に広がり、私たちの生活も大きく変化しました。みなさんは日本での生活に慣れたあとに、今年3月から新しい生活様式への対応も迫られ、様々な苦労があったと思います。このような環境の中でレポートを完成させたことは、困難に直面しても乗り越えられるという自信につながったのではないのでしょうか。

みなさんのレポートを読ませていただき、一つのテーマを多角的に取り上げることの重要性に改めて気が付きました。自分の言いたいことを中心に書くだけでは、読み手の理解を得ることはできません。みなさんは、自分の主張を支えるためのデータを集め説明することによって、自分の主張には根拠があることを証明することができました。このような努力は、ますます重要になってきています。今日では、スマホさえあればだれでも自分の言いたいことを色々な人に伝えることができるようになりました。しかし、自分の主張だけを伝える弊害は大きくなっているような気がします。何かを他者に伝えるときには、その情報が受け取る人に与える影響を考え、信頼できるデータや情報に基づいて発信する必要があります。みなさんには引き続き、このレポートを完成させる段階で学んだこと、つまり様々な資料を読んだりデータを集めたりして客観的な証拠を得ることを続けていただきたいと願っています。

最後に、「正解がない問題」についても面倒だと思わずに考え続けることの大切さを伝えたいと思います。皆さんのレポートの中には、文化に関する話題も含まれていました。文化には絶対的な答えがありません。そして言語のように、正しい・正しくないという基準で判断できそうなものでさえ、正しい基準が変わる可能性もあります。現在は「全然OK」のような表現を様々な場面で聞くようになりましたが、「全然～ない」でなければ間違えて、このような「いい加減な」日本語は使うべきではないという考えもあります。このように、人によって見方が変わることや、基準が変わっていく話題を扱うのはエネルギーを必要とします。皆さんはこれからも「正解がない問題」について考えなければならないことがあるでしょう。でも、そのような面倒なことから逃げずに、多くの意見に接し、自分なりの答えを探してほしいと思います。様々な意見に触れ、時には自分とは全く異なる意見や考えに触れることが、皆さんの人間力を育ててくれるはずです。

今回のお茶大での留学を通じ学んだことは、皆さんの家族や日本のことをあまり知らない友人や知り合いともぜひ共有してください。皆さんの言葉を通じ、日本国外で生活している人々が一人でも多く日本について興味を持ってくれれば、世界はもっと共通の目標に向かって問題を解決できるようになると私は思っています。そして最後になりますが、みなさんが自分の夢を追求し、いつか実現することを心から願っています。

修了おめでとうございます

松田 デレク

日研生の皆さん、修了おめでとうございます。

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、いつも以上に大変な1年間だったと思いますが、皆さんの学習・研究目的は達成できましたでしょうか。日本の文化や日本に関する研究を進めてこられて、また日本社会をご自分の目で見てこられて、来日前とはどのように日本の印象が変わったのでしょうか。今回は残念ながら皆さんのご発表を聞くことができませんでしたが、報告書を読んでいると非常によく研究され、知識を蓄積されてこられたのがよくわかります。お疲れ様でした。しかし、これで終わらずに今後ご研究の幅を広げ、より深く掘り下げてみるなど、今回の来日で得た知識や経験を十分にこれからも活かしてください。

さて、私から日本で暮らす同じ外国人として最後に皆さんへのメッセージです。私は10歳の時に自らの意思で来日をしたわけではありません。しかし、私はこれまでに20年近く、異文化な環境である日本の中で生活をし、日本の良いところ、そして未だに少し戸惑ってしまうところも含めて大好きです。日研生の皆さんはこの1年で日本が（もっと）好きになりましたか。良いところもそうでないと思うところも全て現代の日本社会そして日本文化を構成しております。学問として学んできた日本だけでなく、書物や映像を通して理解し得ないものを是非本国で紹介していただきたいと思います。また、良くないと思うところを批判するだけでなく、何故そのように思うのか、あるいはどうして日本がそのようになっているのかについてしっかりと学び、理解した上で伝えるようにしてください。

今後、皆さんがそれぞれの国でご活躍し、いつかは日本に戻ってきてくれることを願っております。その時は是非お声がけください。 **Buena suerte!!**

以前とは違う「あなた」になった「あなた」たちへ

櫻井 勇介

みなさんは私にとって2年目の日研究生でした。ですので、どう授業をしたらより効果的に、楽に、楽しく、意味のある学習機会を提供できるか、正直まだわからずにいます。しかも、途中からは完全にオンライン授業のみでのおつきあいになってしまいました。こんな状況にもかかわらず、面倒なことも起こさず（あ、早期帰国の方はいましたね…）勉強を進め、主体的に計画通り調査活動に取り組んでくださりまして、本当にありがとうございました。対面での授業も、オンラインでの授業も経験したみなさんは、これまでにない留学経験をした初めての日研究生として代々語り継がれていくでしょう（そんな大げさではないか…）。以前聞いたときは、ほとんどの方が母国に帰りたくないと言っていました、飛行機もあまり飛ばなくなってしまったので、帰りたくても思うように帰れなくなっていました（7月22日現在、まだ冗談としてご理解していただけたと思います）。

よく留学を経験した人は、留学前の自分と大きく変わったと感じるようになると言われていています。みなさんはどう感じているのでしょうか？実は私も留学をしたことがありますが、最初の留学でも変わったとあまり感じたことはありませんでした。ですが、帰国して周りの人に、以前とは変わったと言われることが何度かあったので、たぶん変わったんだろうと思っています。もしかしたら、みなさんも帰国してから、留学というもののインパクトを実感できるようになるのかもしれない。

そうは言っても、自分の中で何かが変わったからといって、それ自体が何か素晴らしいとか、優れたものであるという考え方はありません。国外での経験を踏まえて、無条件に日本的なものを取り立てて貶めて考えたり、自分とは違う行動をする人を敬意なく否定したりするような方をまれに目にすることはありますが残念だなと思います。このような他者との差異ばかりに注目してしまうような状態を、ベネットとハマーという研究者により確立された「異文化間感受性発達モデル」の考え方では、「防衛」の段階にあると理解されます（厳密には、この「防衛」段階の中の「反転」状態であると言えます）。このモデルの6つの発達段階において、「防衛」という段階は異文化間感受性の発達程度という点ではかなり初期の段階として理解されています。ですが、留学によって得られた新しい経験を、「無意識」に理想化してしまうことは、ままあることであると先行研究では言われています（もちろん誰もが多少はあると思います）。

さて、帰国してから、みなさんは周りの景色がどのように見えるでしょうか。周りの方々はみなさんのことをどう見るのでしょうか。もしかしたらITが発達した現在、母国とのつながりは留学中も続くことから、「留学前」と「留学後」の間にはこれら先行研究が前提としていたような「断絶」はなくなり、どこか繋がったものになっていて、自分の変化はさらに意識しづらいのになっているのかもしれない。みなさんのことですからそんなに心配はしていませんが、以前とは違う自分になったみなさんが、社会の架け橋として想像力をもって自分と異なる他者の中で協働し、活躍する将来を心から願っております。

2019—2020 年度
日本語・日本文化研修留学生修了レポート集

2020 年 9 月

発行 お茶の水女子大学国際教育センター
編集 棚橋 訓（お茶の水女子大学）
櫻井 勇介（お茶の水女子大学）
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
電話 03-5978-5965
URL <http://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/>
印刷・製本 よしみ工産 株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1

日本語・日本文化研修留学生
修了レポート集

お茶の水女子大学国際教育センター